
四日市市
在宅介護実態調査
報告書

令和5年3月

目次

1. 調査概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査の実施について	1
(3) 有効回答件数及び回答率	1
(4) 留意点	1
2. 回答者の属性	2
(1) 性年齢別、要介護度別	2
はじめに 調査対象者ご本人について	2
問1 介護サービスなどについて	5
問2 今後の介護について	14
問3 介護保険制度やサービスについて	21
問4 相談などについて	24
問5 ご家族などからの介護について	29
問6 主な介護者の方について【介護者への質問】	30
問7 主な介護者の方の就労について【介護者への質問】	39
問8 認知症について【介護者への質問】	42
問9 これからの高齢者介護について【介護者への質問】	47
5. その他	50
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討	50
① 施設等への入所・入居の検討状況	50
② 介護者が不安に感じる介護	51
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討	58
① 就労状況	58
② 就労継続見込み	60
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討	62
① 保険外の支援・サービスの利用状況	62
② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス	65
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討	68
① 世帯類型	68
② サービス利用の組み合わせ	69
③ 施設等への入所・入居の検討状況	70
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討	71
① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）	71
② 訪問診療の有無	72

(6) その他.....	74
① サービス未利用理由.....	74
② 主な介護者の年齢.....	75

1. 調査概要

(1) 調査目的

本市では、高齢者福祉の一層の充実と介護保険制度の円滑な実施に向け、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画の見直しを行うにあたり、介護保険事業者の現状等について把握し、今後の四日市市の介護保険事業及び高齢者福祉施策のための基礎的な資料を作成するために実施しました。

(2) 調査の実施について

対象	施設入所者を除く要介護認定を受けている市民
実施期間	令和4年12月8日（木）～令和4年12月28日（水）
実施方法	郵送調査

(3) 有効回答件数及び回答率

対象数	有効回答数	有効回答率
1,500 件	877 件	58.5%

(4) 留意点

分析結果を見る際の留意点は以下の通りとなっている。

1. 「n」は「number」の略で、比率算出の母数。
2. 単数回答の場合、本文および図表の数字に関しては、すべて小数点第2位以下を四捨五入し、小数点第1位までを表記。このため、百分率の合計が100.0%とならない場合がある。
3. 複数回答の場合、図中に MA (Multiple Answer = いくつでも)、3LA (3 Limited Answer = 3つまで) と記載している。また、不明（無回答）はグラフ・表から除いている。
4. クロス集計表において、各項目（表側）における **上位1位**、**上位2位** に色付けをしている。

2. 回答者の属性

(1) 性年齢別、要介護度別

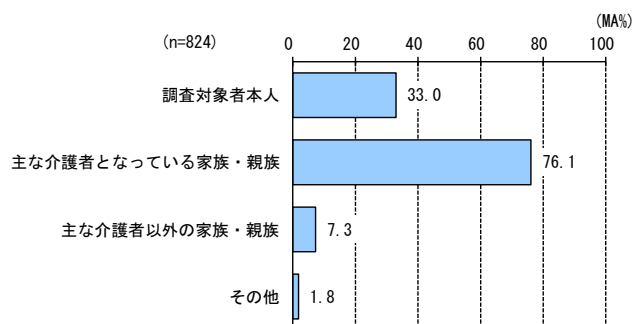
はじめに 調査対象者ご本人について

- 現在、この調査票にご回答を頂いているのは、どなたですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 回答者について、「主な介護者となっている家族・親族」が 76.1%で最も多く、次いで「調査対象者本人」が 33.0%、「主な介護者以外の家族・親族」が 7.3%となっています。

【回答者(MA)】



● ご本人の世帯類型について、ご回答ください。(○はひとつ)

【全体】

○ 世帯類型について、「単身世帯」が 33.2%、「夫婦のみ世帯」が 29.8%となっています。

【ブロック】

○ 「単身世帯」は南ブロックが 36.3%と他の区分に比べて多くなっています。

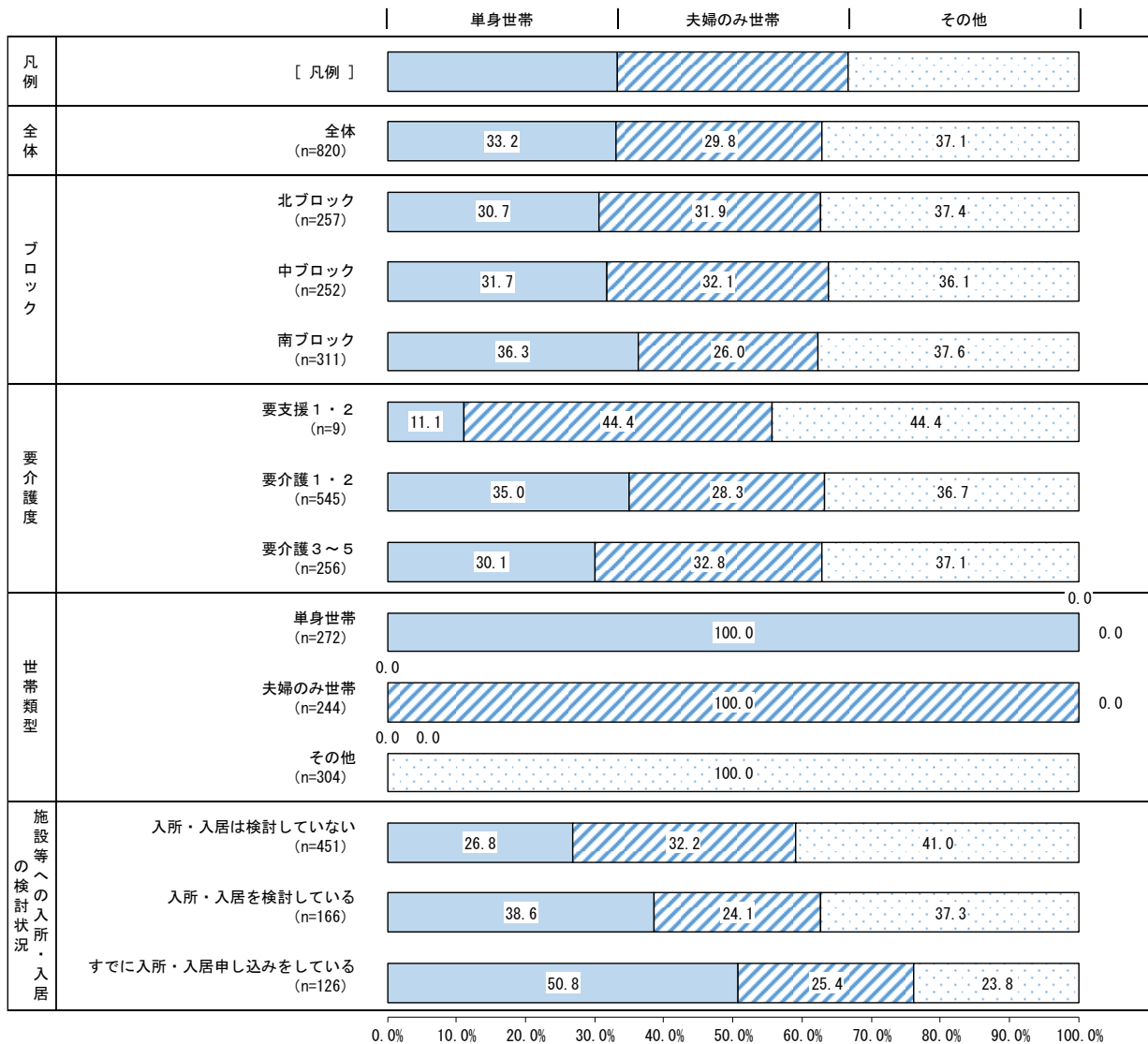
【要介護度】

○ 「単身世帯」は要支援 1・2 が 11.1%と他の区分に比べて少なくなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

○ 「単身世帯」はすでに入所・入居申し込みをしているが 50.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯類型】

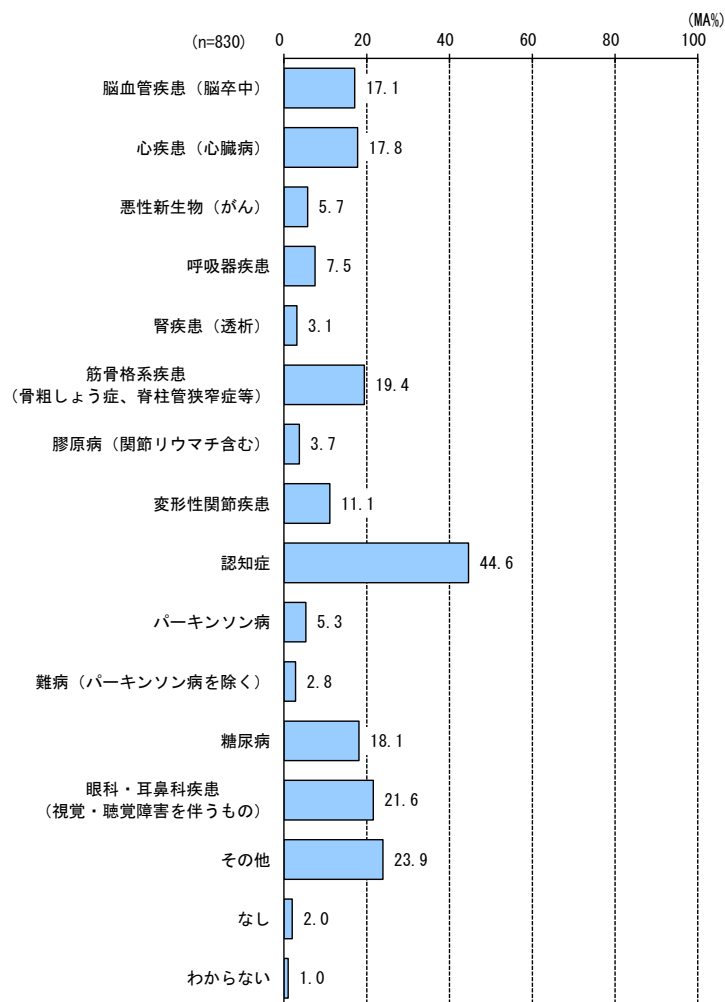


● ご本人が、現在抱えている傷病について、ご回答ください。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 現在抱えている傷病について、「認知症」が 44.6%で最も多く、次いで「眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの）」が 21.6%、「筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等）」が 19.4%となっています。

【現在抱えている傷病(MA)】

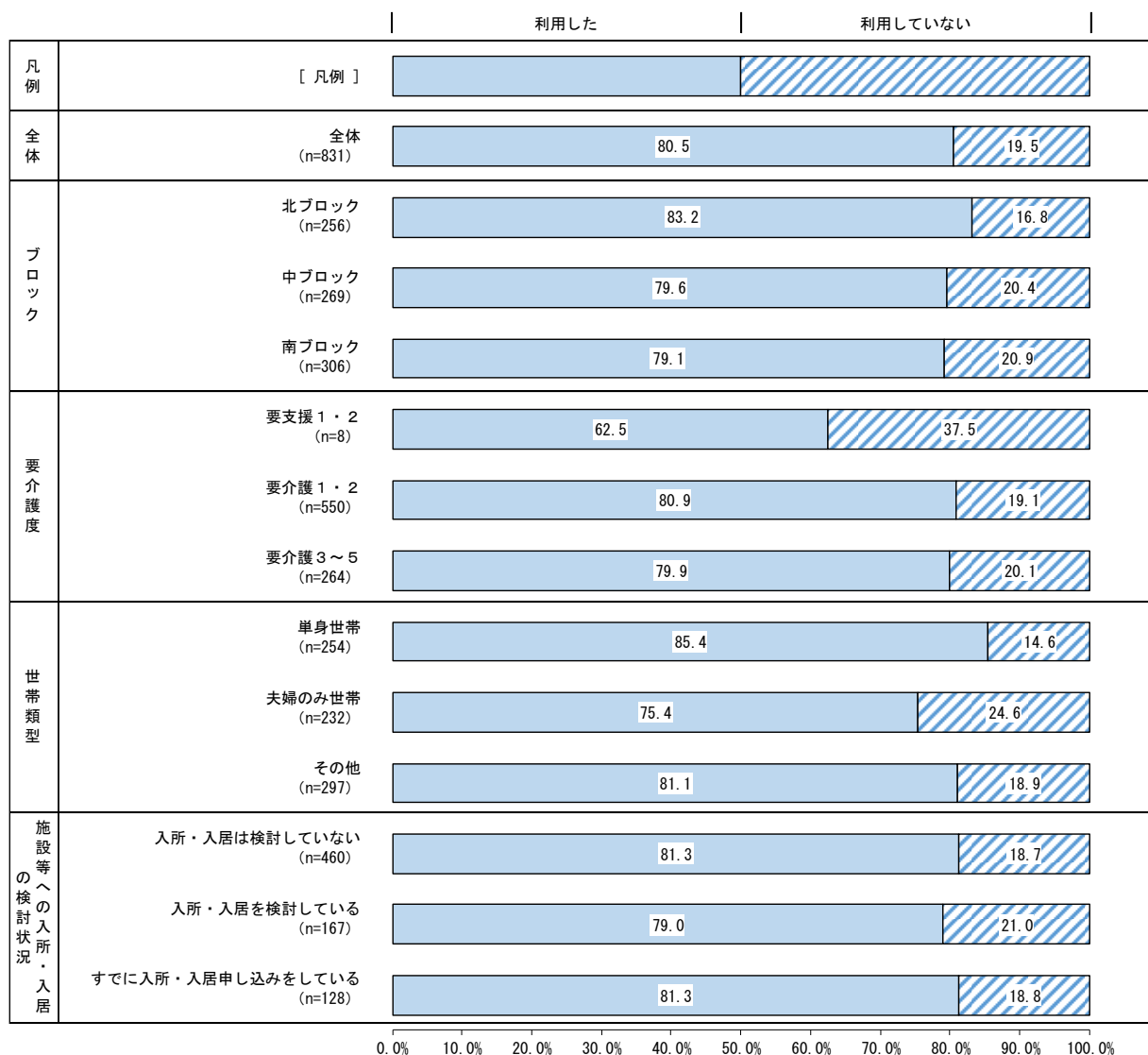


問1 介護サービスなどについて

●問1-1 最近1か月の間に、(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスを利用しましたか。(○はひとつ)

- 【全体】**
○ (住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスの利用状況について、「利用した」が80.5%、「利用していない」が19.5%となっています。
- 【ブロック】**
○ 「利用した」は北ブロックが83.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
○ 「利用した」は要支援1・2が62.5%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【世帯類型】**
○ 「利用した」は単身世帯が85.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【(住宅改修、福祉用具貸与・購入以外の)介護保険サービスの利用状況】



【問1-1で「1. 利用した」を選んだ人に伺います。】

●問1-2 次の①～⑪の介護保険サービスについて、不満があるとすれば何ですか。（当てはまるものすべてに○）

○ いずれのサービスについても、おおよそ不満はありませんでした。

【各介護保険サービスへの不満(MA)】

単位：%

	母数 (n)	各介護保険サービスへの不満(MA)										
		利用 しな い こ と	特 に 不 満 は な い	定 員 が 少 な い も ら え な い	未 熟 で あ る 仕 方 が	担 当 者 が よ く 変 わ る	も 希 望 を 聞 い て え な い	本 人 や 家 族 の 身 が 少 な い	時 間 の 割 に サ ー ビ ス が 中	利 用 時 間 が 短	事 業 者 が 選 べ ない	そ の 他
全体	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	340	57.1	38.2	0.3	-	0.3	0.6	0.9	2.1	0.6	2.4
	②訪問入浴介護	324	69.8	25.9	0.3	0.3	0.6	0.3	-	0.9	0.3	2.2
	③訪問看護	333	60.1	36.9	-	0.9	0.6	-	0.6	0.9	0.3	1.2
	④訪問リハビリテーション	326	65.6	28.8	0.3	0.3	0.6	-	1.2	2.5	-	1.5
	⑤通所介護（デイサービス）	451	14.6	73.2	0.2	1.8	2.0	0.4	3.3	2.4	0.9	4.9
	⑥通所リハビリテーション（デイケア）	340	51.5	39.7	0.3	0.3	0.6	-	0.9	1.8	1.5	4.1
	⑦小規模多機能型居宅介護	273	90.5	7.7	0.4	0.4	-	-	-	-	-	1.1
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	274	90.5	7.7	-	-	0.7	-	-	-	0.7	0.7
	⑨ショートステイ	335	53.1	35.5	1.2	1.5	0.6	0.6	1.5	0.9	0.9	6.6
	⑩居宅療養管理指導	281	85.4	12.8	-	-	-	-	-	-	-	1.8
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	283	84.8	14.5	-	-	-	-	-	-	-	0.7
北ブロック	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	103	61.2	33.0	-	1.0	-	-	1.0	1.9	-	3.9
	②訪問入浴介護	106	72.6	24.5	-	-	0.9	-	-	0.9	-	0.9
	③訪問看護	112	61.6	36.6	-	0.9	-	-	0.9	1.8	-	-
	④訪問リハビリテーション	101	68.3	26.7	-	-	1.0	-	1.0	2.0	-	2.0
	⑤通所介護（デイサービス）	146	14.4	71.9	-	0.7	2.1	-	4.8	4.8	1.4	3.4
	⑥通所リハビリテーション（デイケア）	109	54.1	37.6	-	0.9	0.9	-	0.9	1.8	1.8	3.7
	⑦小規模多機能型居宅介護	89	91.0	6.7	1.1	-	-	-	-	-	-	1.1
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	91	91.2	7.7	-	-	-	-	-	-	1.1	-
	⑨ショートステイ	108	61.1	32.4	0.9	0.9	-	0.9	0.9	2.8	-	1.9
	⑩居宅療養管理指導	90	90.0	8.9	-	-	-	-	-	-	-	1.1
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	92	87.0	13.0	-	-	-	-	-	-	-	-
中ブロック	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	118	46.6	46.6	0.8	0.8	0.8	1.7	0.8	1.7	1.7	3.4
	②訪問入浴介護	106	64.2	28.3	0.9	1.9	0.9	1.9	-	1.9	-	3.8
	③訪問看護	112	55.4	42.0	-	0.9	0.9	-	-	-	-	0.9
	④訪問リハビリテーション	112	61.6	33.0	0.9	-	-	-	-	2.7	-	1.8
	⑤通所介護（デイサービス）	150	14.7	74.7	-	2.0	1.3	1.3	2.7	1.3	-	5.3
	⑥通所リハビリテーション（デイケア）	117	43.6	43.6	0.9	-	0.9	-	0.9	3.4	-	6.8
	⑦小規模多機能型居宅介護	86	87.2	9.3	-	1.2	-	-	-	-	-	2.3
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	86	86.0	10.5	-	-	1.2	-	-	-	-	2.3
	⑨ショートステイ	106	48.1	39.6	1.9	0.9	-	-	0.9	-	0.9	8.5
	⑩居宅療養管理指導	87	83.9	13.8	-	-	-	-	-	-	-	2.3
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	89	82.0	15.7	-	-	-	-	-	-	-	2.2
南ブロック	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	136	63.2	33.8	-	-	-	-	0.7	2.2	-	1.5
	②訪問入浴介護	127	72.4	24.4	-	-	-	-	-	-	0.8	2.4
	③訪問看護	126	61.1	34.1	-	0.8	0.8	-	0.8	0.8	0.8	3.2
	④訪問リハビリテーション	131	64.1	28.2	-	0.8	0.8	-	2.3	3.8	-	2.3
	⑤通所介護（デイサービス）	170	17.1	71.2	0.6	2.4	2.4	-	2.4	1.2	1.2	5.9
	⑥通所リハビリテーション（デイケア）	131	52.7	42.7	-	-	-	-	0.8	-	2.3	1.5
	⑦小規模多機能型居宅介護	111	92.8	7.2	-	-	-	-	-	-	-	-
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	110	94.5	4.5	-	-	0.9	-	-	-	0.9	-
	⑨ショートステイ	134	53.0	33.6	0.7	2.2	1.5	0.7	2.2	-	1.5	8.2
	⑩居宅療養管理指導	117	84.6	13.7	-	-	-	-	-	-	-	1.7
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	115	86.1	13.9	-	-	-	-	-	-	-	-

【各介護保険サービスへの不満(件数)】

単位：件

	母数 (n)	てく も ら 受 け な い れ	定 員 が 少 な い	未 介 護 の 仕 方 が	変 当 者 が よ く	も 希 望 を 聞 い て	本 人 や 家 族 の	身 サ ー ビ ス の 割 に 中	い 利 用 時 間 が 短	な 事 業 者 が 選 べ	そ の 他
全体	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	24	1	-	1	2	3	7	2	8	
	②訪問入浴介護	16	1	1	2	1	-	3	1	7	
	③訪問看護	15	-	3	2	-	2	3	1	4	
	④訪問リハビリテーション	21	1	1	2	-	4	8	-	5	
	⑤通所介護（デイサービス）	72	1	8	9	2	15	11	4	22	
	⑥通所リハビリテーション(デイケア)	32	1	1	2	-	3	6	5	14	
	⑦小規模多機能型居宅介護	5	1	1	-	-	-	-	-	3	
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	6	-	-	2	-	-	-	-	2	2
	⑨ショートステイ	46	4	5	2	2	5	3	3	22	
	⑩居宅療養管理指導	5	-	-	-	-	-	-	-	5	
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	-	-	-	-	-	-	2	
北ブロック	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	8	-	1	-	-	1	2	-	4	
	②訪問入浴介護	3	-	-	1	-	-	1	-	1	
	③訪問看護	4	-	1	-	-	1	2	-	-	
	④訪問リハビリテーション	6	-	-	1	-	1	2	-	2	
	⑤通所介護（デイサービス）	25	-	1	3	-	7	7	2	5	
	⑥通所リハビリテーション(デイケア)	11	-	1	1	-	1	2	2	4	
	⑦小規模多機能型居宅介護	2	1	-	-	-	-	-	-	1	
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	⑨ショートステイ	9	1	1	-	1	1	3	-	2	
	⑩居宅療養管理指導	1	-	-	-	-	-	-	-	1	
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
中ブロック	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	14	1	1	1	2	1	2	2	4	
	②訪問入浴介護	12	1	2	1	2	-	2	-	4	
	③訪問看護	3	-	1	1	-	-	-	-	1	
	④訪問リハビリテーション	6	1	-	-	-	-	3	-	2	
	⑤通所介護（デイサービス）	21	-	3	2	2	4	2	-	8	
	⑥通所リハビリテーション(デイケア)	15	1	-	1	-	1	4	-	8	
	⑦小規模多機能型居宅介護	3	-	1	-	-	-	-	-	2	
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	3	-	-	1	-	-	-	-	2	
	⑨ショートステイ	14	2	1	-	-	1	-	1	9	
	⑩居宅療養管理指導	2	-	-	-	-	-	-	-	2	
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	2	-	-	-	-	-	-	-	2	
南ブロック	①訪問介護（ホームヘルプサービス）	6	-	-	-	-	1	3	-	2	
	②訪問入浴介護	4	-	-	-	-	-	-	1	3	
	③訪問看護	9	-	1	1	-	1	1	1	4	
	④訪問リハビリテーション	13	-	1	1	-	3	5	-	3	
	⑤通所介護（デイサービス）	27	1	4	4	-	4	2	2	10	
	⑥通所リハビリテーション(デイケア)	6	-	-	-	-	1	-	3	2	
	⑦小規模多機能型居宅介護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	⑧看護小規模多機能型居宅介護	2	-	-	1	-	-	-	1	-	
	⑨ショートステイ	23	1	3	2	1	3	-	2	11	
	⑩居宅療養管理指導	2	-	-	-	-	-	-	-	2	
	⑪定期巡回・随時対応型訪問介護看護	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

【問1-1で「2. 利用していない」を選んだ人に伺います。】

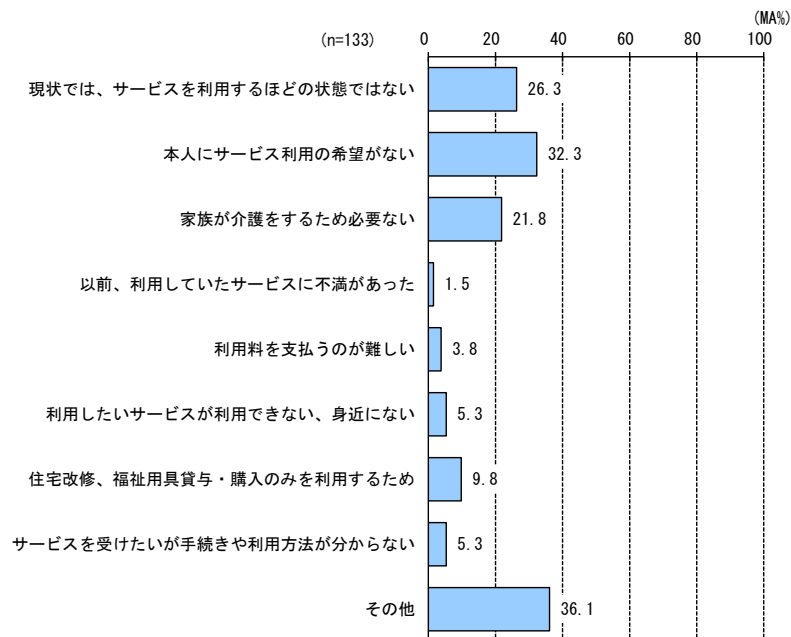
●問1-3 介護保険サービスを利用していない理由は何ですか。

(当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 介護保険サービスを利用していない理由について、「本人にサービス利用の希望がない」が32.3%で最も多く、次いで「現状では、サービスを利用するほどの状態ではない」が26.3%、「家族が介護をするため必要ない」が21.8%となっています。

【介護保険サービスを利用していない理由(MA)】

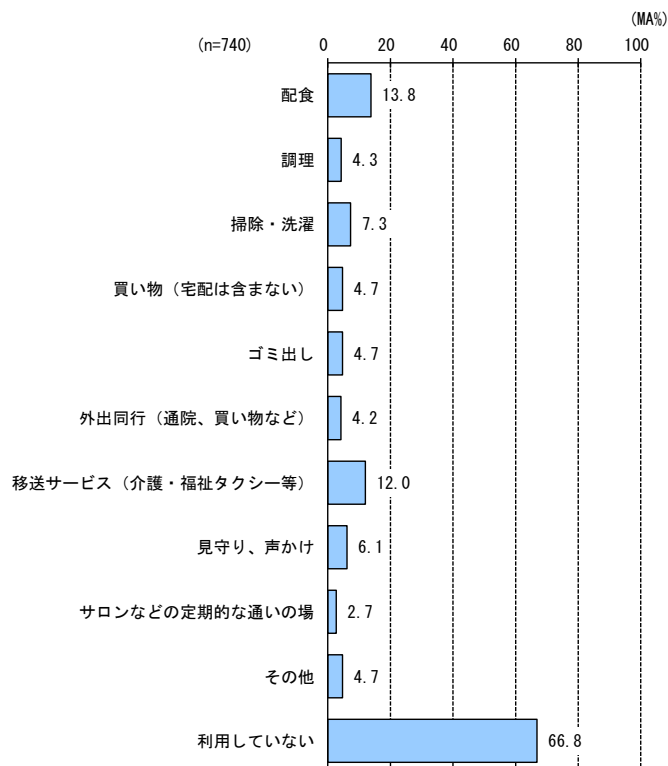


- 問1-4 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 利用している介護保険サービス以外の支援・サービスについて、「利用していない」が66.8%で最も多く、次いで「配食」が13.8%、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が12.0%となっています。

【利用している介護保険サービス以外の支援・サービス (MA)】

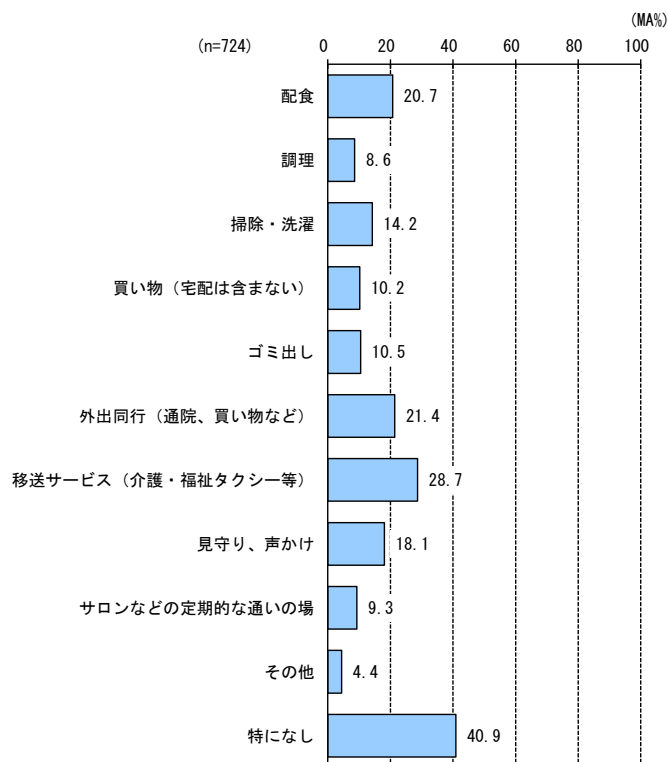


- 問1-5 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください。（当てはまるものすべてに○）

【全体】

- 在宅生活の継続に必要な支援・サービスについて、「特になし」が 40.9%で最も多く、次いで「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が 28.7%、「外出同行（通院、買い物など）」が 21.4%となっています。

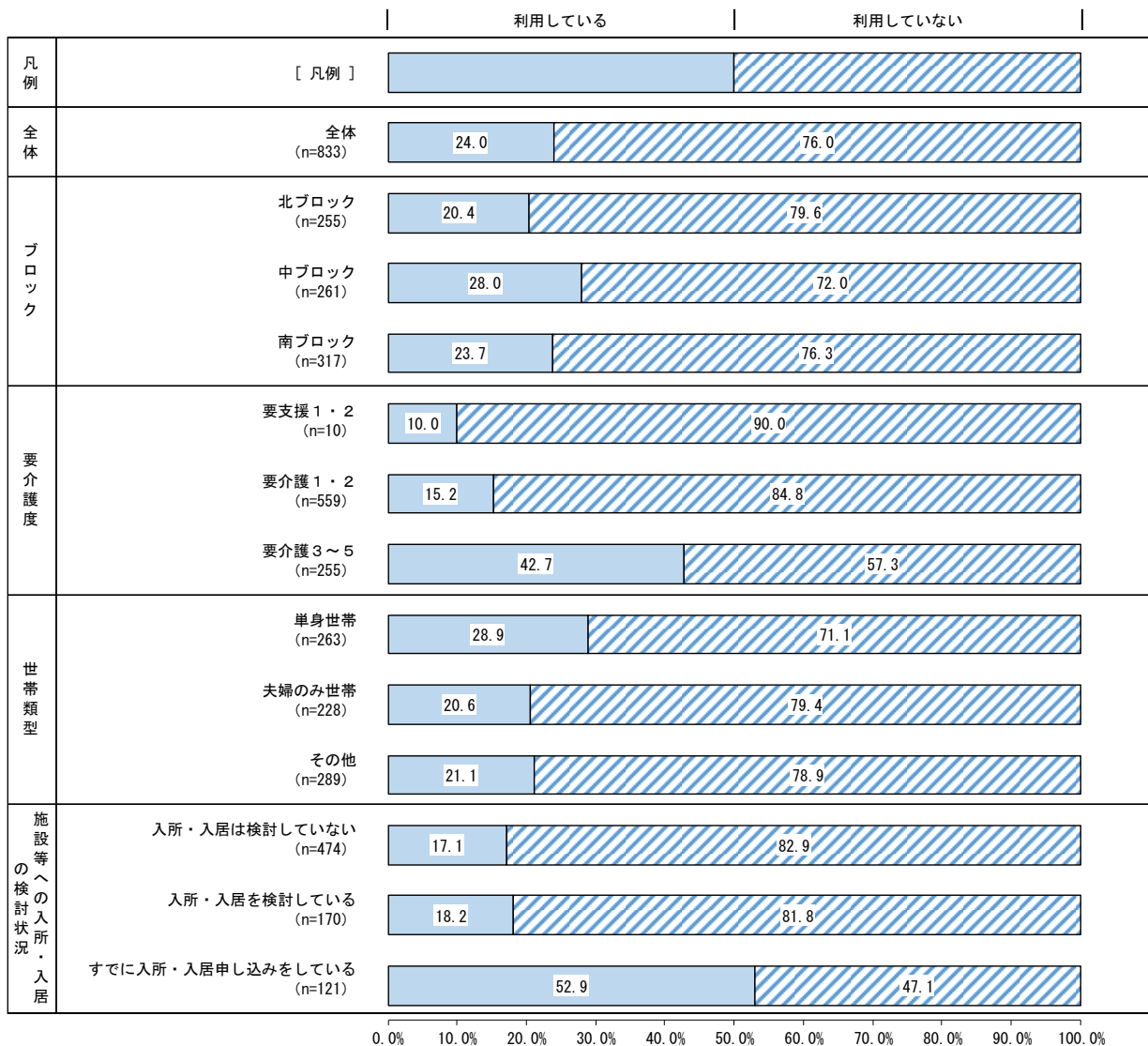
【在宅生活の継続に必要な支援・サービス(MA)】



●問1-6 ご本人は、現在、医師による訪問診療を利用していますか。(○はひとつ)

【全体】
○ 訪問診療の利用有無について、「利用している」が24.0%、「利用していない」が76.0%となっています。
【ブロック】
○ 「利用している」は中ブロックが28.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 「利用している」は要介護3～5が42.7%と他の区分に比べて多くなっています。
【世帯類型】
○ 「利用している」は単身世帯が28.9%と他の区分に比べて多くなっています。
【施設等への入所・入居の検討状況】
○ 「利用している」はすでに入所・入居申し込みをしているが52.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【訪問診療の利用有無】



●問1-7 あなたは、現在、日常生活の中で不安に思っていることがありますか。

(○はひとつ)

【全体】

○ 不安の有無について、「特にない」が27.1%、「ある」が72.9%となっています。

【ブロック】

○ 「特にない」は中ブロックが25.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

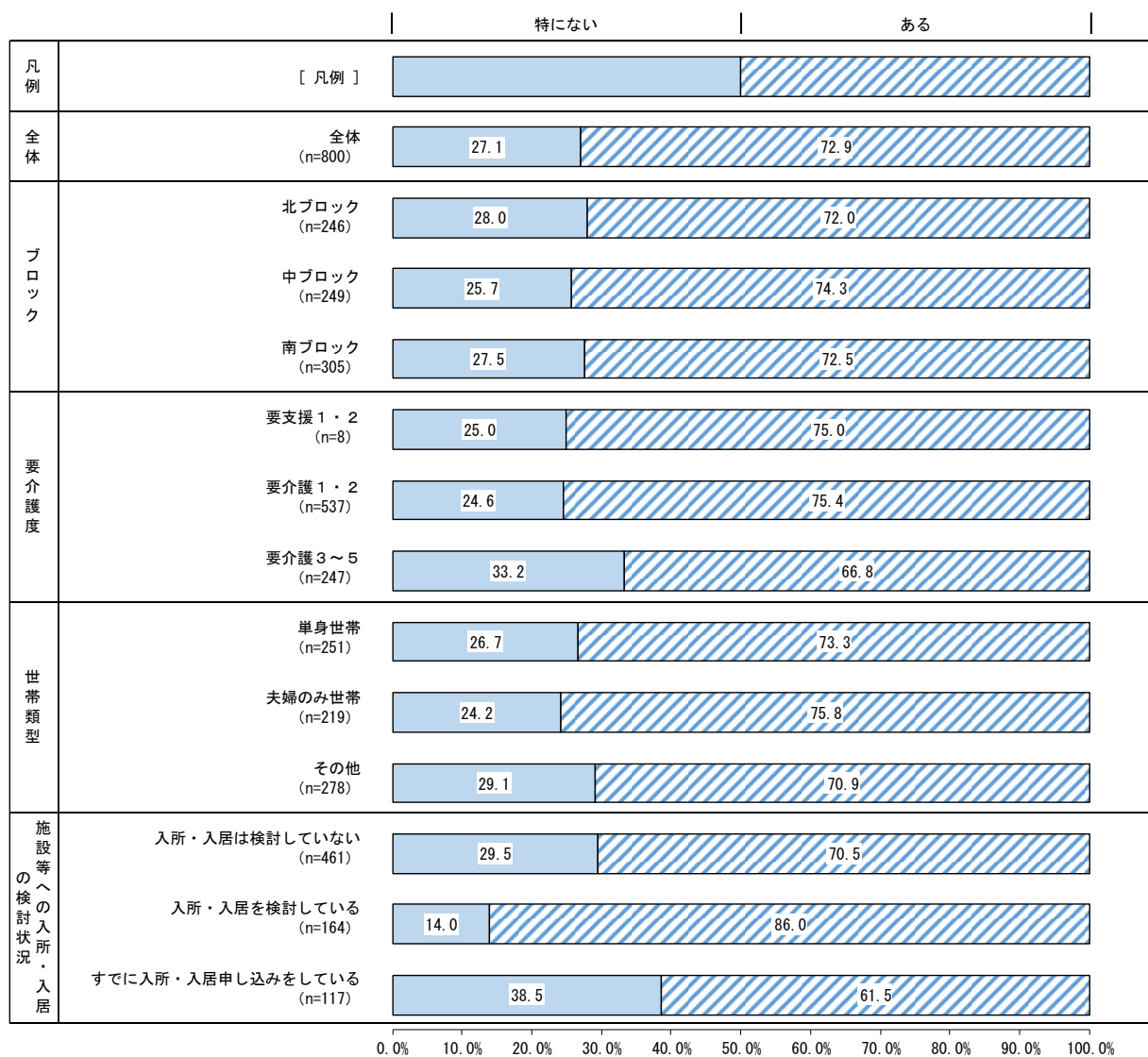
【要介護度】

○ 「特にない」は要介護3～5が33.2%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

○ 「ある」は入所・入居を検討しているが86.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【不安の有無】



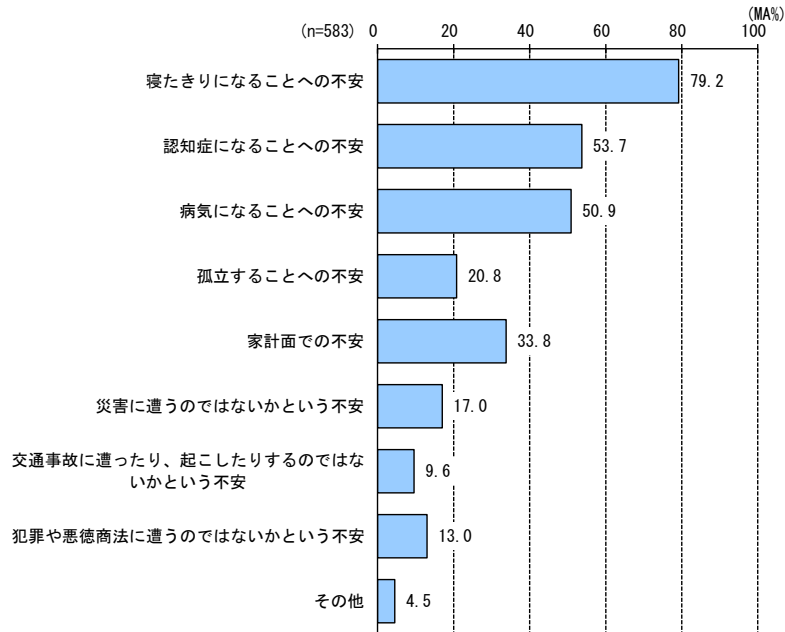
【問1-7で「2. ある」を選んだ人に伺います。】

●問1-7-① どのようなことが不安ですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 不安に思うことについて、「寝たきりになることへの不安」が 79.2%で最も多く、次いで「認知症になることへの不安」が 53.7%、「病気になることへの不安」が 50.9%となっています。

【不安に思うこと (MA)】



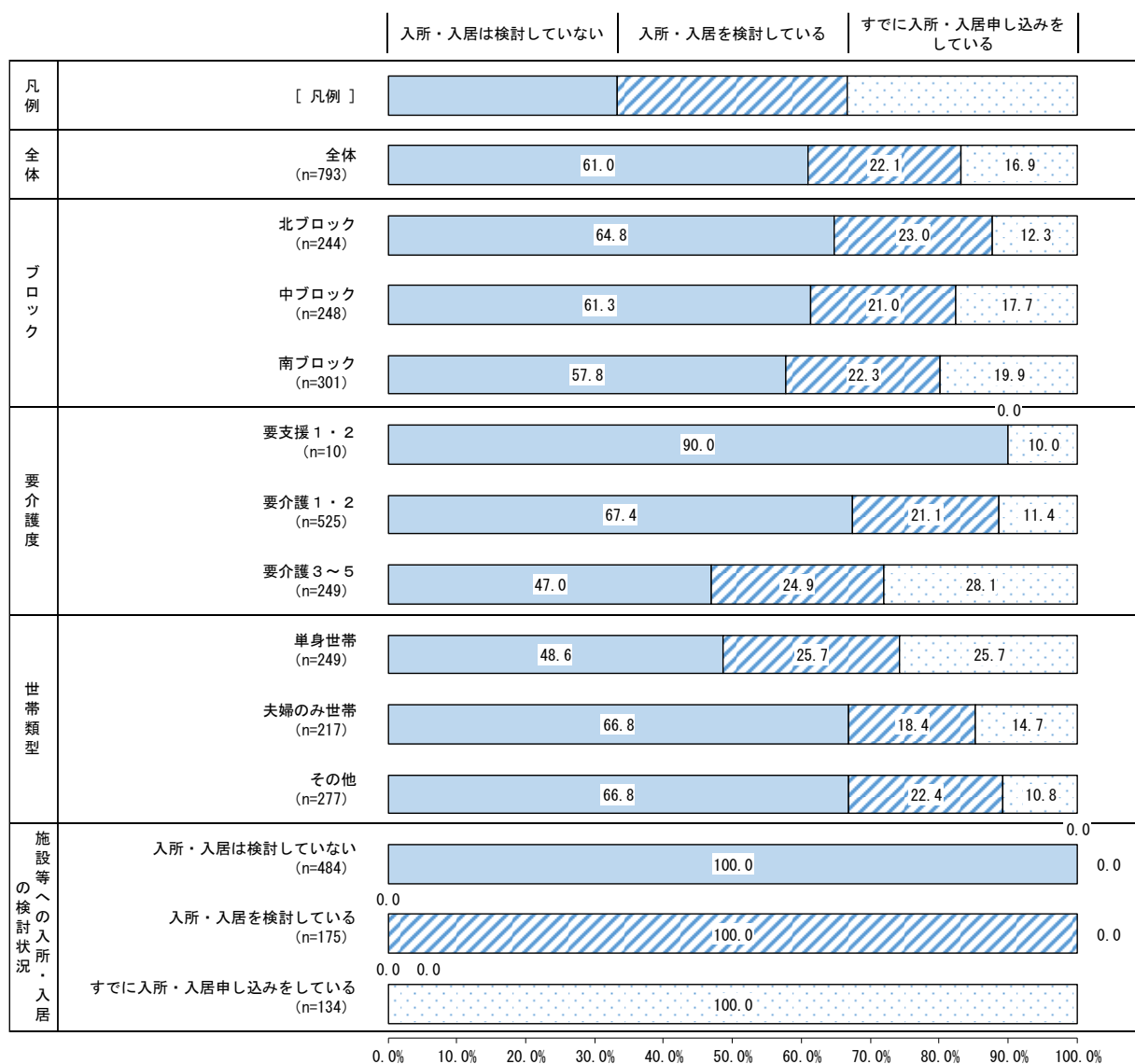
問2 今後の介護について

●問2-1 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください。

(○はひとつ)

【全体】
○ 施設等への入所・入居の検討状況について、「入所・入居は検討していない」が 61.0%で最も多く、次いで「入所・入居を検討している」が 22.1%、「すでに入所・入居申し込みをしている」が 16.9%となっています。
【ブロック】
○ 「入所・入居を検討していない」は北ブロックが 64.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 「すでに入所・入居申し込みをしている」は要介護3～5が 28.1%と他の区分に比べて多くなっています。
【世帯類型】
○ 「入所・入居は検討していない」は単身世帯が 48.6%と他の区分に比べて少なくなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】



●問2-2 現在のお住まいは次のどれですか。(〇はひとつ)

【全体】

○ 現在のお住まいについて、「持家（一戸建て）」が 77.7%で最も多く、次いで「サービス付き高齢者向け住宅」が 5.2%、「有料老人ホーム」が 3.8%となっています。

【ブロック】

○ 「持家（一戸建て）」は南ブロックが 75.0%と他の区分に比べて少なくなっています。
 ○ 「サービス付き高齢者向け住宅」は南ブロックが 5.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】

○ 「サービス付き高齢者向け住宅」は要介護3～5が 8.4%と他の区分に比べて多くなっています。

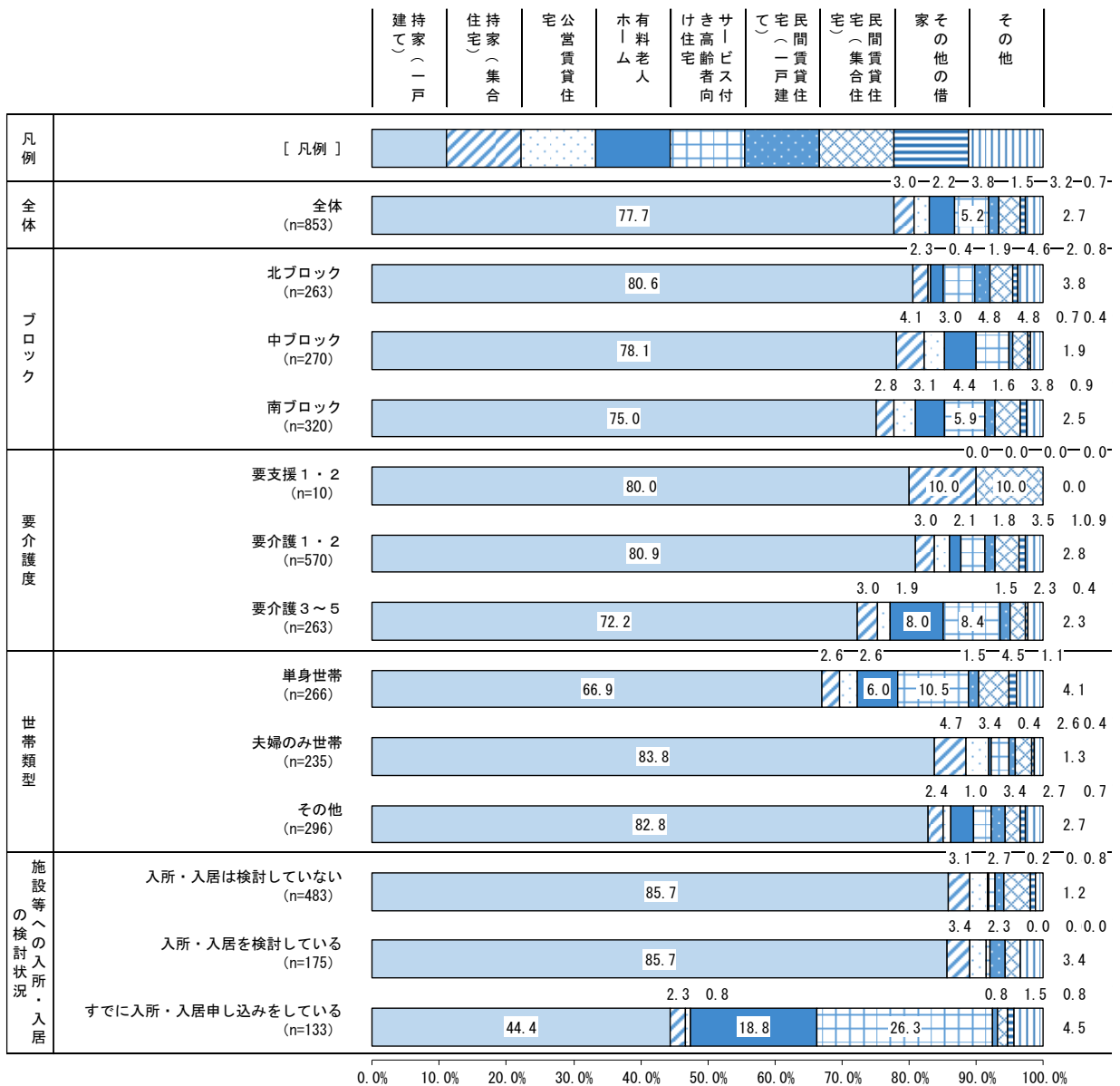
【世帯類型】

○ 「サービス付き高齢者向け住宅」は単身世帯が 10.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

○ 「持家（一戸建て）」はすでに入所・入居申し込みをしているが 44.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【現在のお住まい】



●問2-3 ご本人は、今後、どのように介護してほしいとお考えですか。(〇はひとつ)

【全体】

- 本人の介護に対する意向について、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」が 51.8%で最も多く、次いで「わからない」が 18.2%、「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」が 11.5%となっています。

【ブロック】

- 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」は南ブロックが 46.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「見守りや食事サービスを受けられる住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅）で生活したい」は南ブロックが 8.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】

- 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅で生活したい」は要介護3～5が 43.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

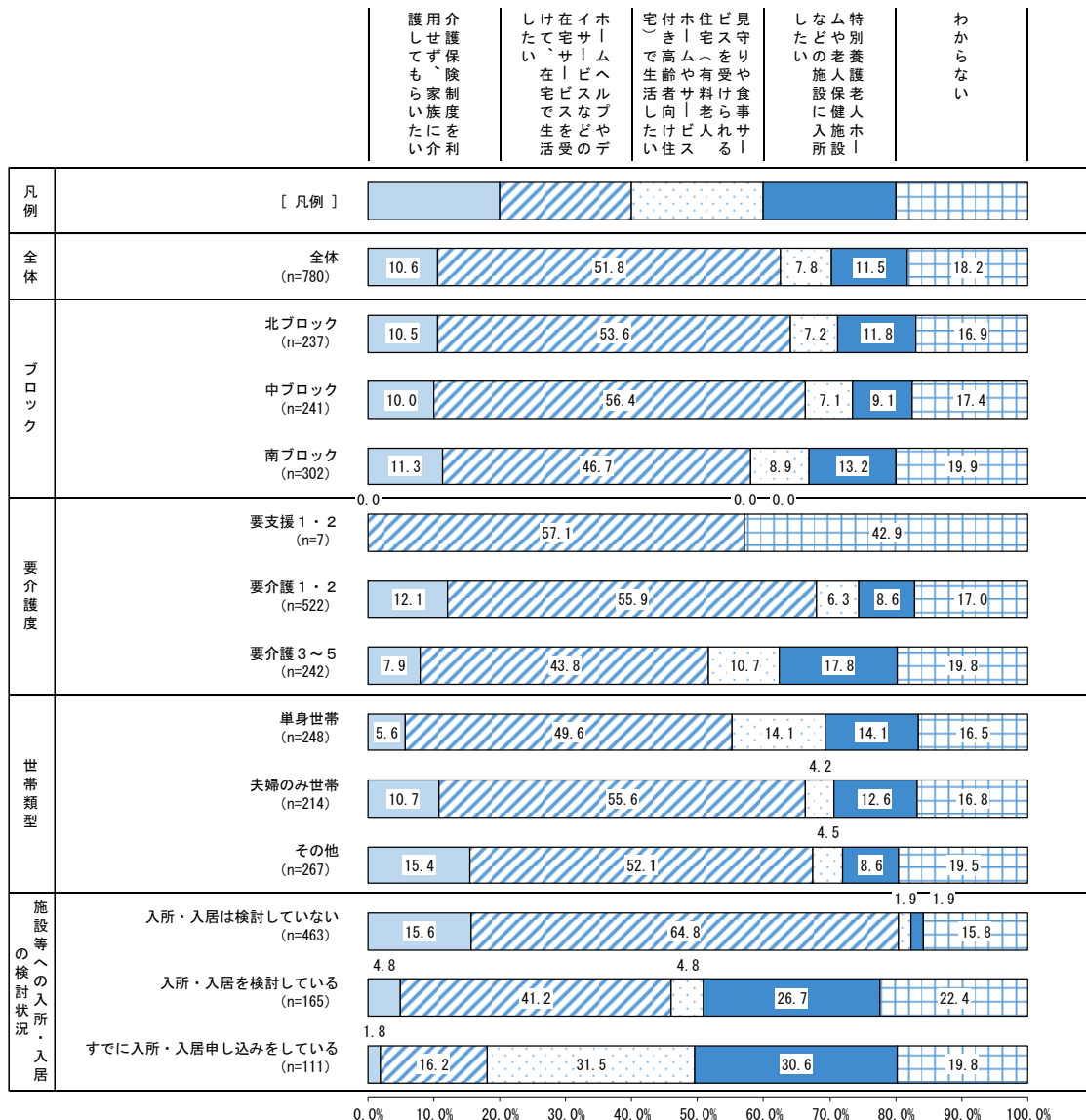
【世帯類型】

- 「見守りや食事サービスを受けられる住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅）で生活したい」は単身世帯が 14.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

- 「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所したい」は入所・入居は検討していないが 1.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【本人の介護に対する意向】



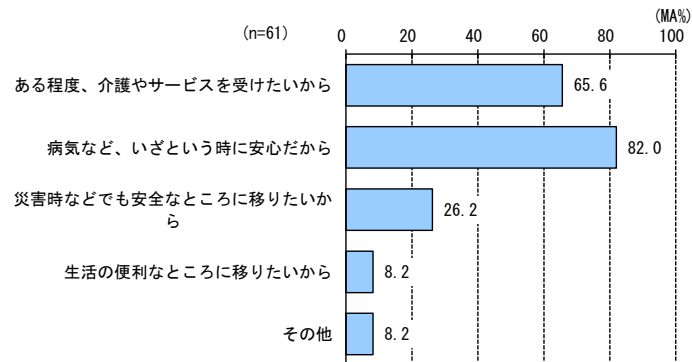
【問2-3で「3. 見守りや食事サービスを受けられる住宅（有料老人ホームやサービス付き高齢者向け住宅）で生活したい」を選んだ人に伺います。】

●問2-3-① その理由は何ですか。（当てはまるものすべてに○）

【全体】

○ 施設等に入居したい理由について、「病気など、いざという時に安心だから」が 82.0%で最も多く、次いで「ある程度、介護やサービスを受けたいから」が 65.6%、「災害時などでも安全なところに移りたいから」が 26.2%となっています。

【施設等に入居したい理由 (MA)】



- 問2-4 もしものときのために、ご本人が望む医療やケアについて、前もって考え、繰り返し話し合い、共有する取り組みのことを「人生会議（ACP：アドバンス・ケア・プランニング）」といいます。あなたは、「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」のことを知っていますか。（○はひとつ）

【全体】

- 人生会議（ACP）の認知度について、「知らない」が 81.1%で最も多く、次いで「聞いたことはあるがあまり知らない」が 9.7%、「ある程度知っている」が 7.7%となっています。

【ブロック】

- 「よく知っている」は南ブロックが 0.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「ある程度知っている」は中ブロックが 9.1%と他の区分に比べて多くなっています。

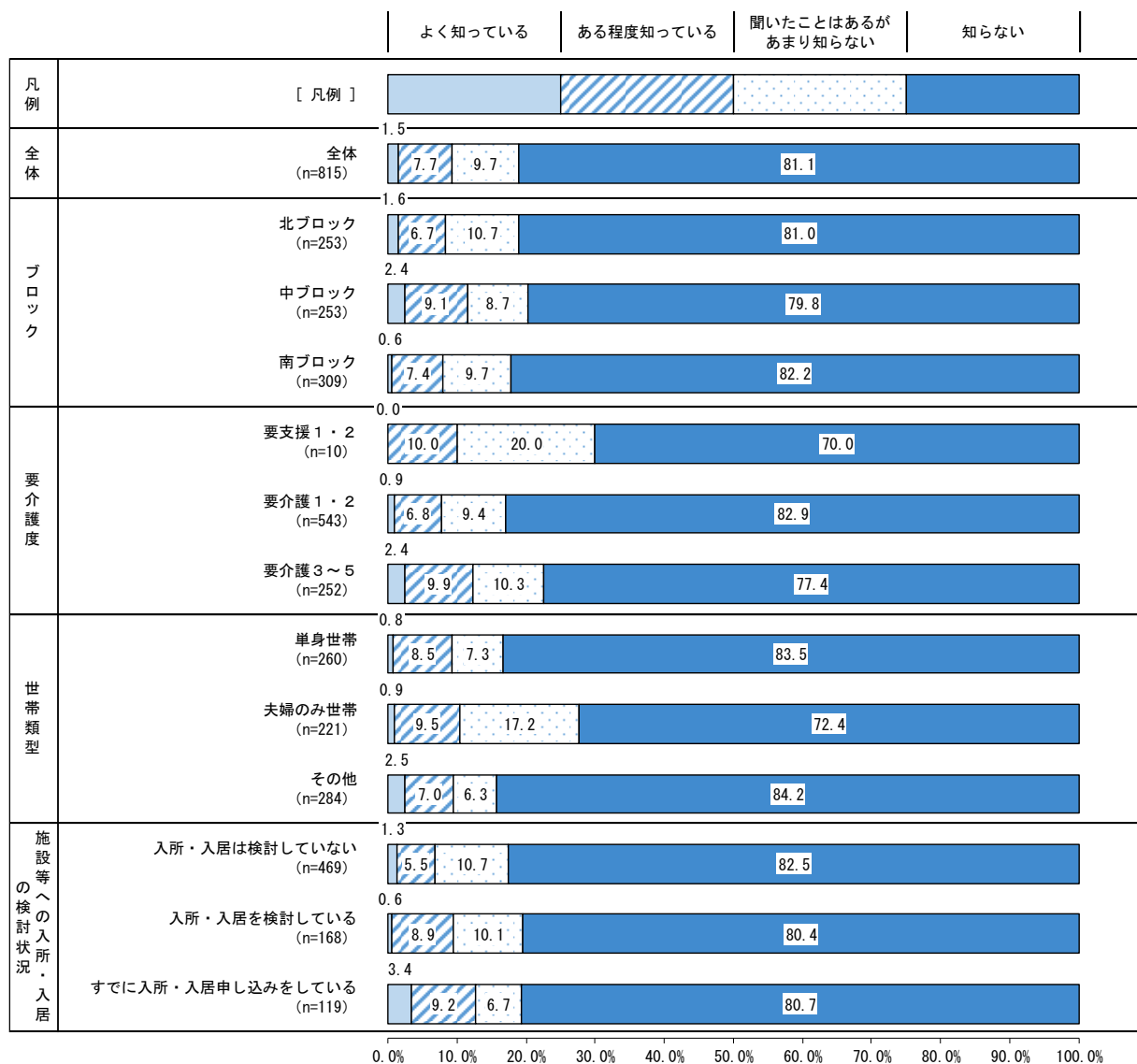
【要介護度】

- 「ある程度知っている」は要介護 1・2 が 6.8%と他の区分に比べて少なくなっています。
○ 「聞いたことはあるがあまり知らない」は要支援 1・2 が 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

- 「よく知っている」はすでに入所・入居申し込みをしているが 3.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【人生会議（ACP）の認知度】



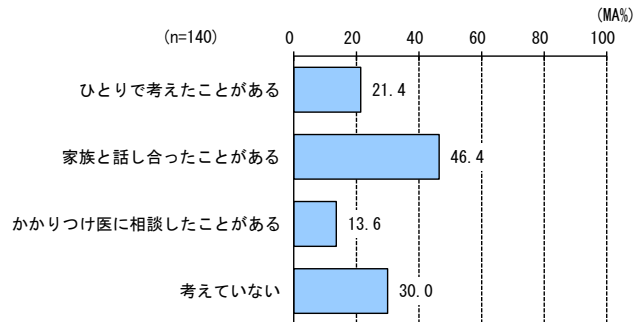
【問2-4で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」「3. 聞いたことはあるがあまり知らない」を選んだ人に伺います。】

- 問2-4-① 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング」の実施状況はいかがですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 人生会議（ACP）の検討度合について、「家族と話し合ったことがある」が 46.4%で最も多く、次いで「考えていない」が 30.0%、「ひとりで考えたことがある」が 21.4%となっています。

【人生会議（ACP）の検討度合 (MA)】



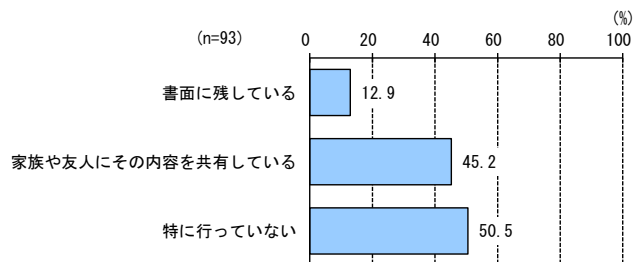
【問2-4-①で「1. ひとりで考えたことがある」「2. 家族と話し合ったことがある」「3. かかりつけ医に相談したことがある」を選んだ人に伺います。】

- 問2-4-② 「人生会議」または「アドバンス・ケア・プランニング」での内容について以下のことを行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 人生会議（ACP）の実施状況について、「特に行っていない」が 50.5%で最も多く、次いで「家族や友人にその内容を共有している」が 45.2%、「書面に残している」が 12.9%となっています。

【人生会議（ACP）の実施状況 (MA)】



●問2-5 人生の最期を迎えるとき、あなたはどこでの看取りを希望しますか。(○はひとつ)

【全体】

○ 人生の最期を迎えるときに希望する場所について、「自宅」が 49.9%で最も多く、次いで「分からない」が 24.1%、「病院」が 14.7%となっています。

【ブロック】

- 「自宅」は北ブロックが 53.7%と他の区分に比べて多くなっています。
- 「特別養護老人ホームなどの介護施設」は北ブロックが 5.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 「病院」は南ブロックが 15.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】

○ 「病院」は要介護 1・2 が 16.0%と他の区分に比べて多くなっています。

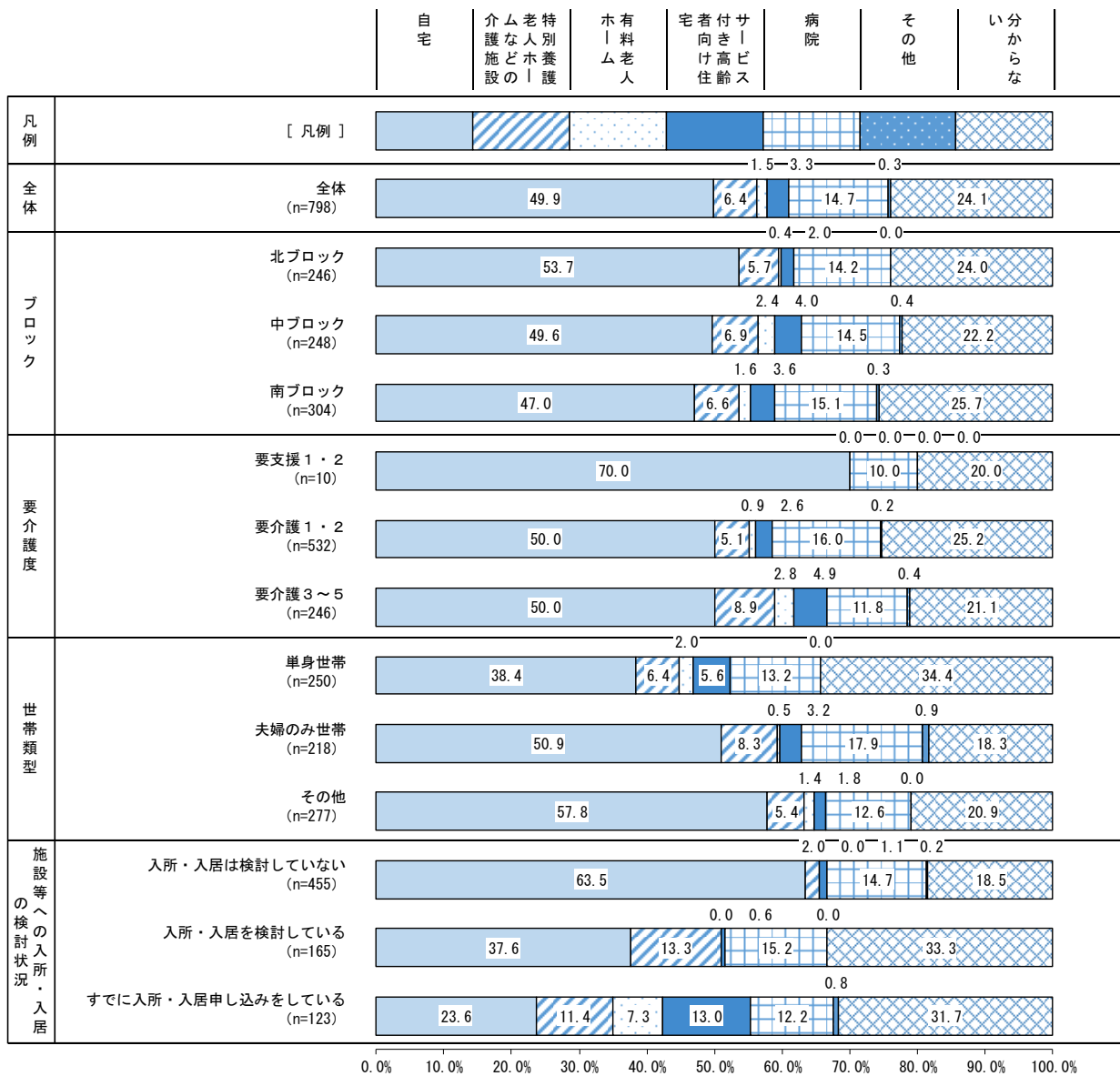
【世帯類型】

○ 「自宅」は単身世帯が 38.4%と他の区分に比べて少なくなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

○ 「サービス付き高齢者向け住宅」はすでに入所・入居申し込みをしているが 13.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【人生の最期を迎えるときに希望する場所】

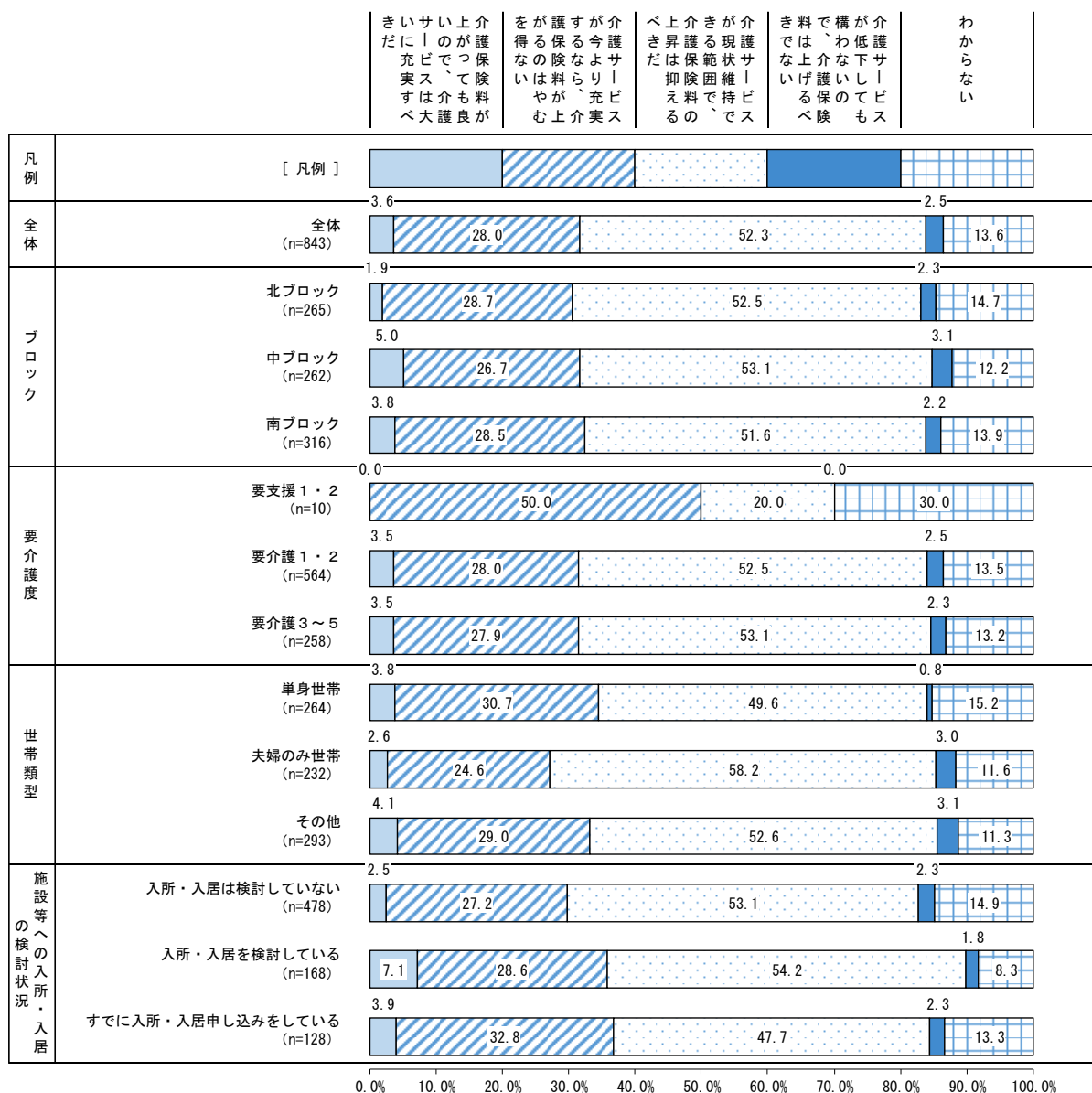


問3 介護保険制度やサービスについて

- 問3-1 介護保険は急速に利用が増え、現状のまま伸びていくと、将来の介護保険料は現在よりもかなり上昇することが予測されています。介護サービスと介護保険料とのバランスについてどう思いますか。(○はひとつ)

【全体】
○ 介護保険サービスと保険料のバランスについてについて、「介護サービスが現状維持できる範囲で、介護保険料の上昇は抑えるべきだ」が 52.3%で最も多く、次いで「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」が 28.0%、「わからない」が 13.6%となっています。
【要介護度】
○ 「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」は要支援1・2が 50.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【施設等への入所・入居の検討状況】
○ 「介護保険料が上がっても良いので、介護サービスは大いに充実すべきだ」は入所・入居を検討しているが 7.1%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「介護サービスが今より充実するなら、介護保険料が上がるのはやむを得ない」はすでに入所・入居申し込みをしているが 32.8%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護保険サービスと保険料のバランスについて】



●問3-2 介護保険サービスは十分利用できていますか。(○はひとつ)

【全体】

○ 介護保険サービスの利用状況について、「まあまあ利用できている」が 48.1%で最も多く、次いで「十分利用できている」が 25.8%、「わからない」が 15.3%となっています。

【ブロック】

○ 「十分利用できている」は中ブロックが 24.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【要介護度】

○ 「十分利用できている」は要介護 1・2 が 23.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

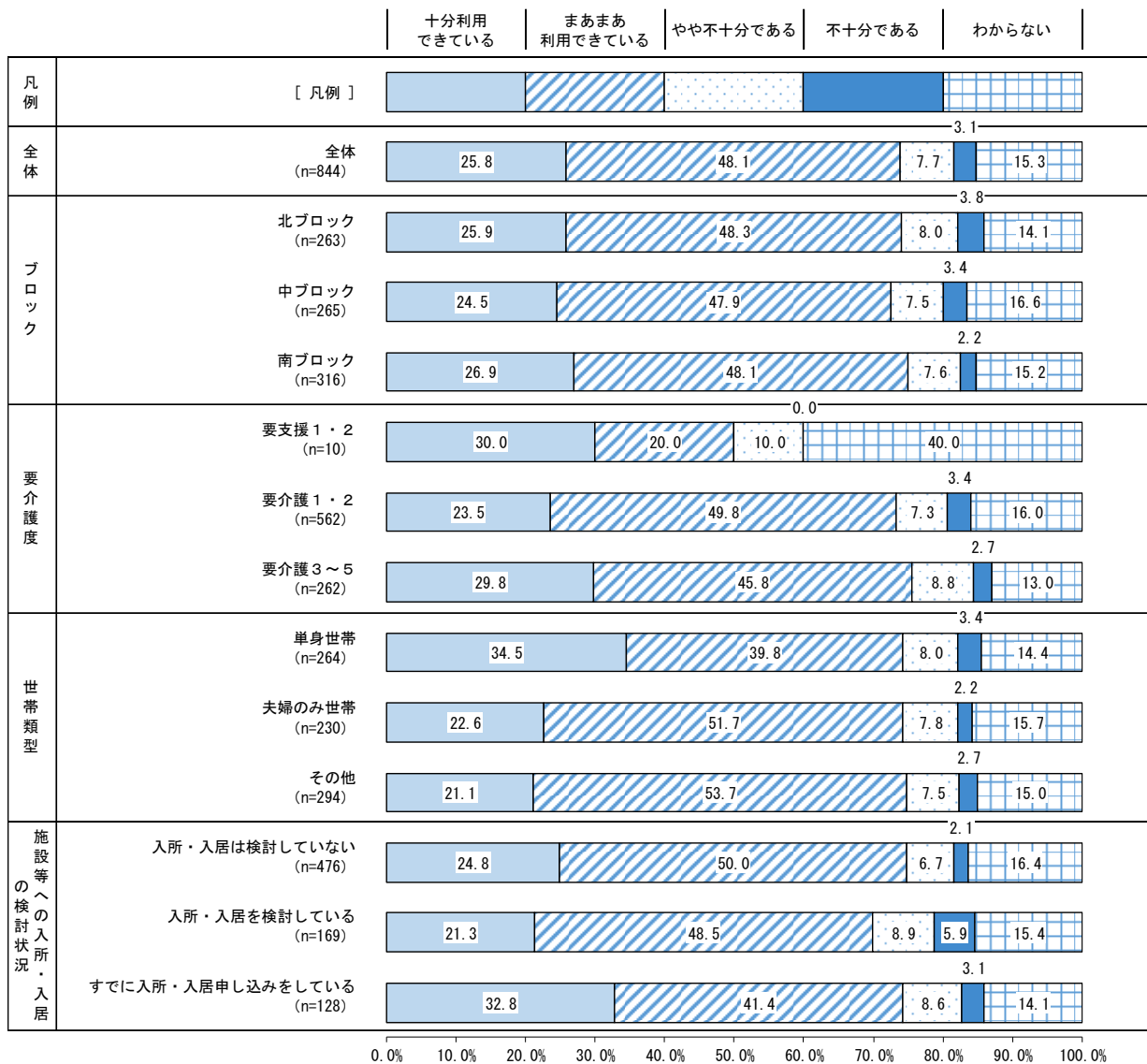
【世帯類型】

○ 「十分利用できている」は単身世帯が 34.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】

○ 「やや不十分である」は入所・入居を検討しているが 8.9%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護保険サービスの利用状況】



●問3-3 ケアマネジャーによるケアマネジメント（介護サービス計画）については満足されていますか。（○はひとつ）

【全体】
 ○ ケアマネジメントの満足度について、「満足している」が46.3%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」が38.0%、「わからない」が9.2%となっています。

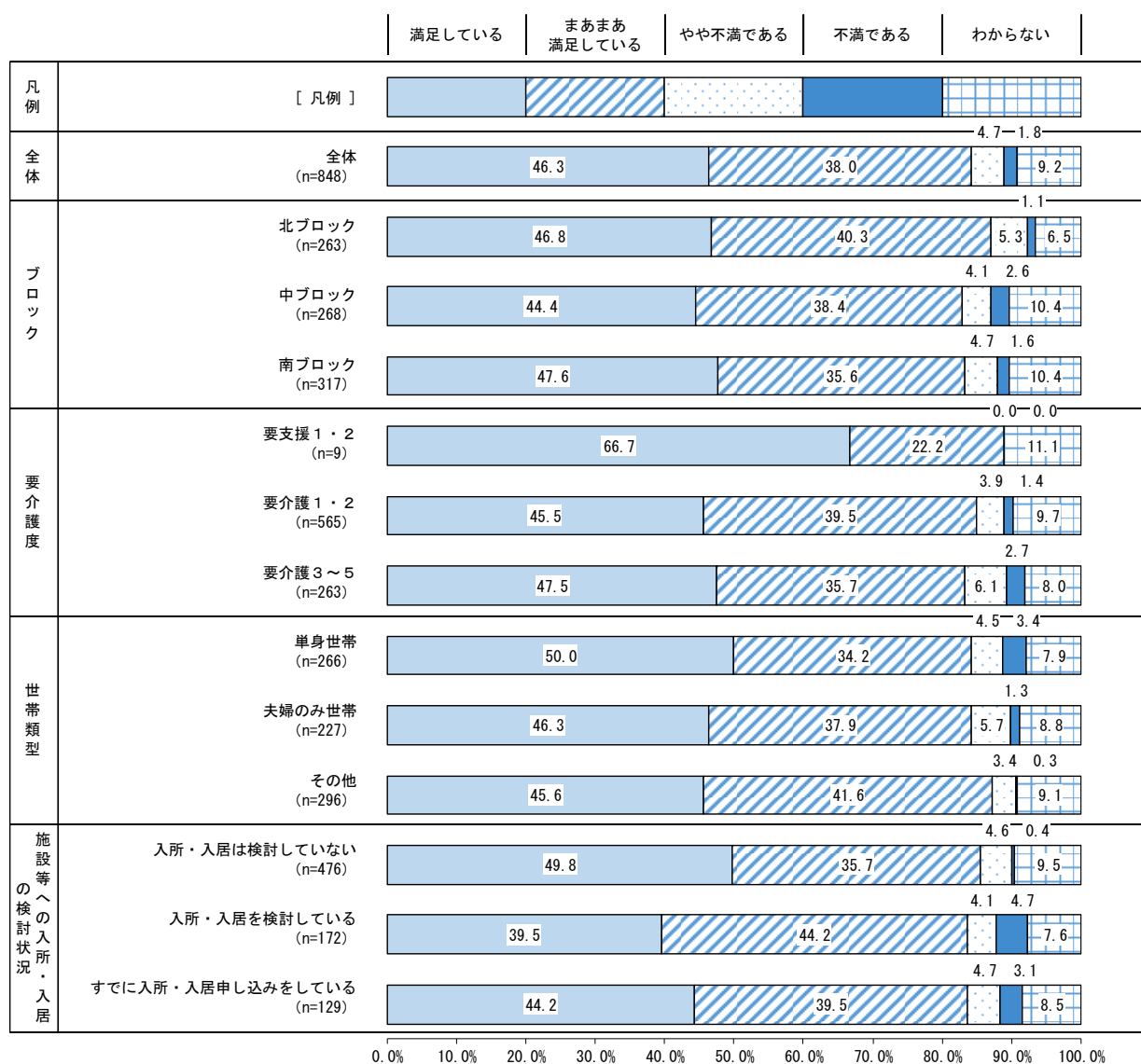
【ブロック】
 ○ 「やや不満である」は北ブロックが5.3%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】
 ○ 「満足している」は要支援1・2が66.7%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯類型】
 ○ 「満足している」は単身世帯が50.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】
 ○ 「満足している」は入所・入居を検討しているが39.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【ケアマネジメントの満足度】

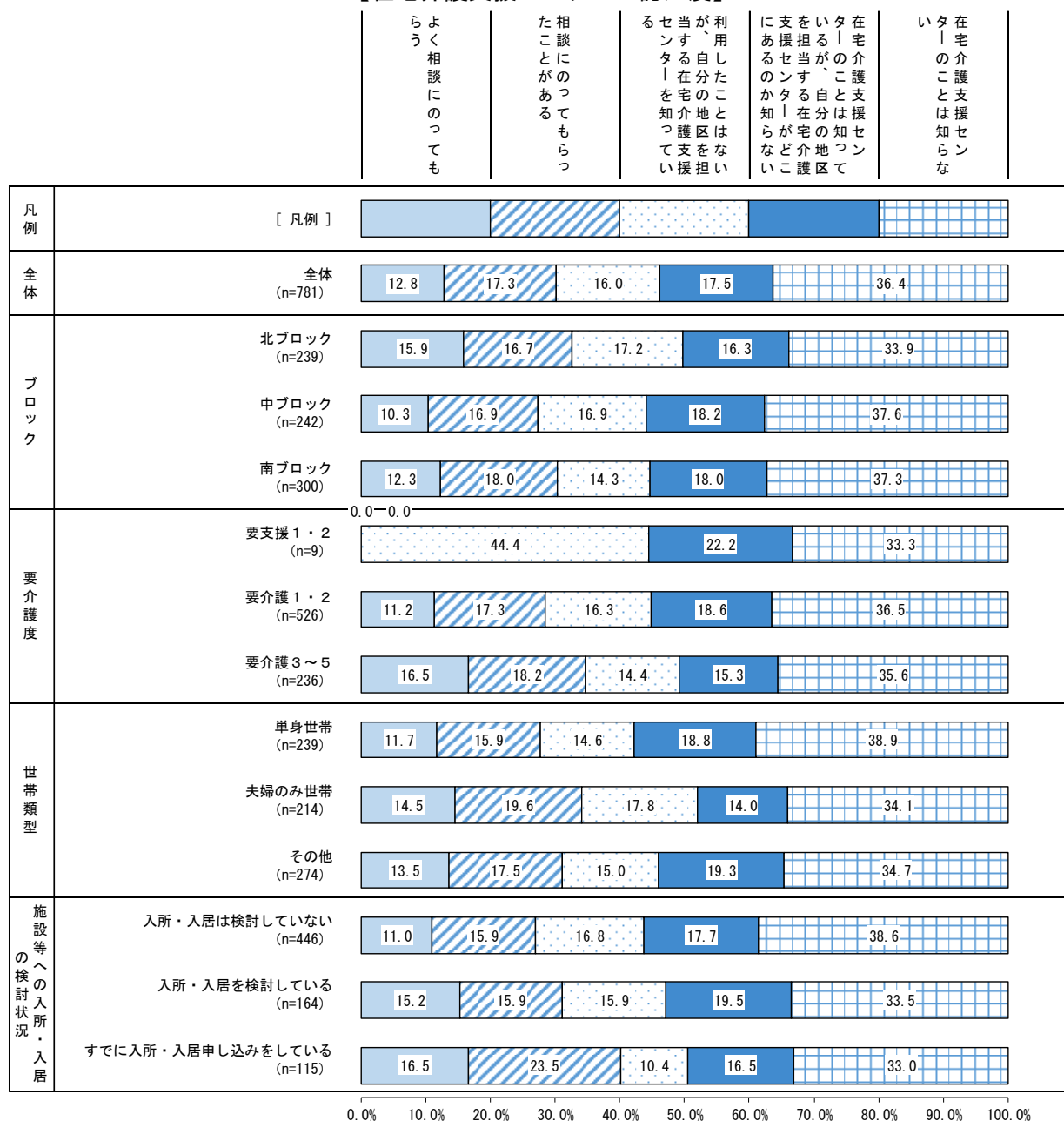


問4 相談などについて

●問4-1 在宅介護支援センターを知っていますか。(○はひとつ)

- 【全体】**
 ○ 在宅介護支援センターの認知度について、「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」が 17.5%、「相談にのってもらったことがある」が 17.3%となっています。
- 【ブロック】**
 ○ 「よく相談にのってもらう」は北ブロックが 15.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
 ○ 「在宅介護支援センターのことは知っているが、自分の地区を担当する在宅介護支援センターがどこにあるのか知らない」は要支援1・2が 22.2%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【施設等への入所・入居の検討状況】**
 ○ 「相談にのってもらったことがある」はすでに入所・入居申し込みをしているが 23.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【在宅介護支援センターの認知度】



●問4-2 地域包括支援センターを知っていますか。(○はひとつ)

【全体】

○ 地域包括支援センターの認知度について、「利用したことはないが、自分の地区を担当する地域包括支援センターを知っている」が 20.6%、「相談にのってもらったことがある」が 19.3%となっています。

【ブロック】

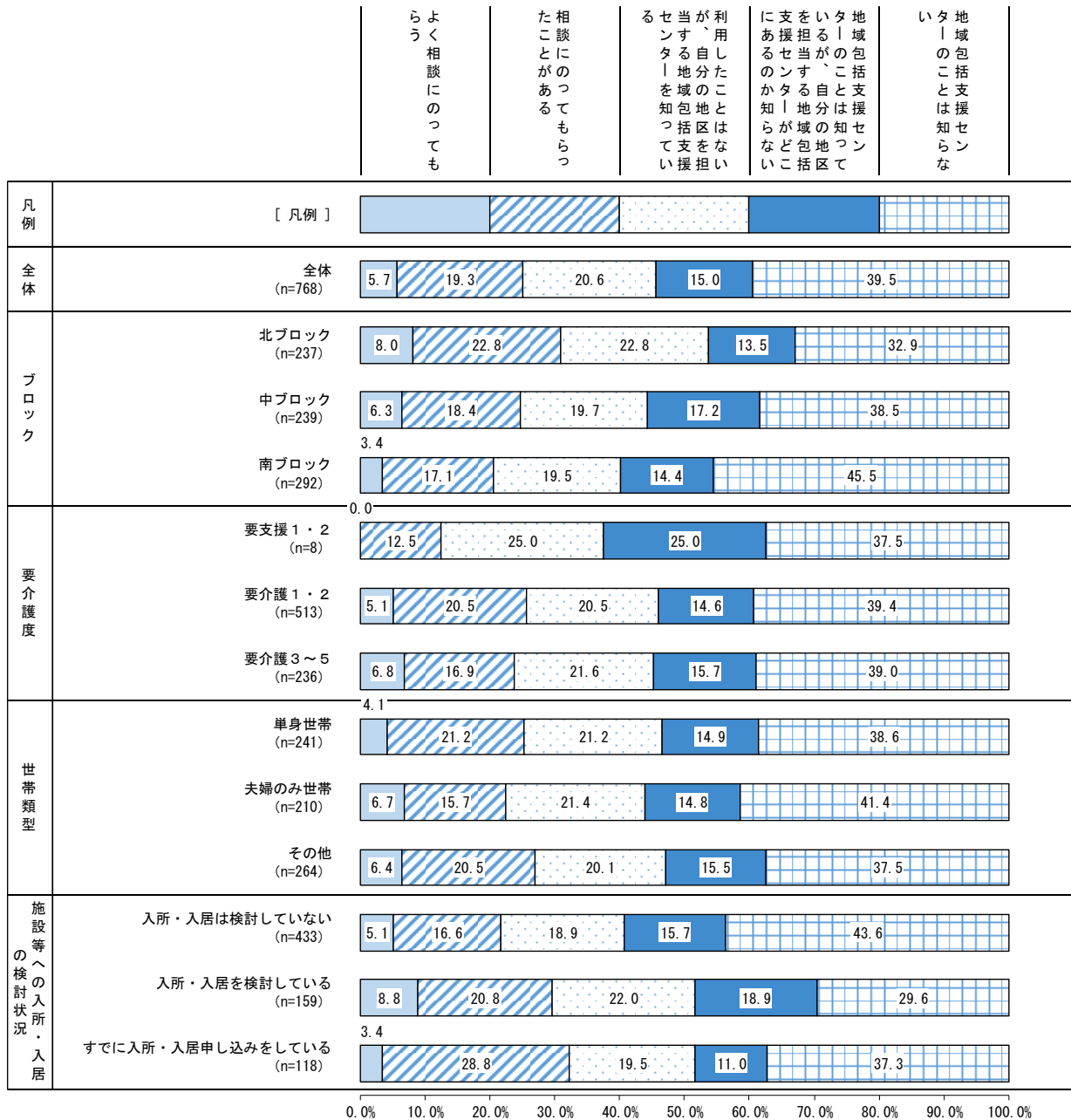
○ 「よく相談にのってもらう」は北ブロックが 8.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】

○ 「相談にのってもらったことがある」は要支援1・2が 12.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

○ 「地域包括支援センターのことは知らない」は要支援1・2が 37.5%と他の区分に比べて少なくなっています。

【地域包括支援センターの認知度】

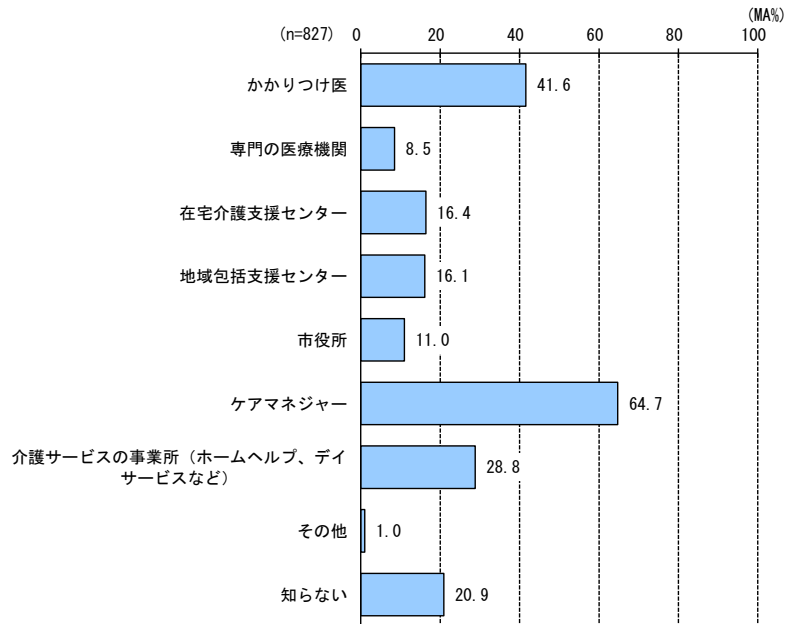


- 問4-3 訪問診療や看取りのことなど、在宅医療に関する以下の相談窓口をご存じですか。
(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 在宅医療の相談窓口で知っているものについて、「ケアマネジャー」が 64.7%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が 41.6%、「介護サービスの事業所（ホームヘルプ、デイサービスなど）」が 28.8%となっています。

【在宅医療の相談窓口で知っているもの(MA)】



- 問4-4 ご本人（封筒のあて名の方）は、過去3年ぐらいの間に、病院に入院した経験がありましたか。（○はひとつ）

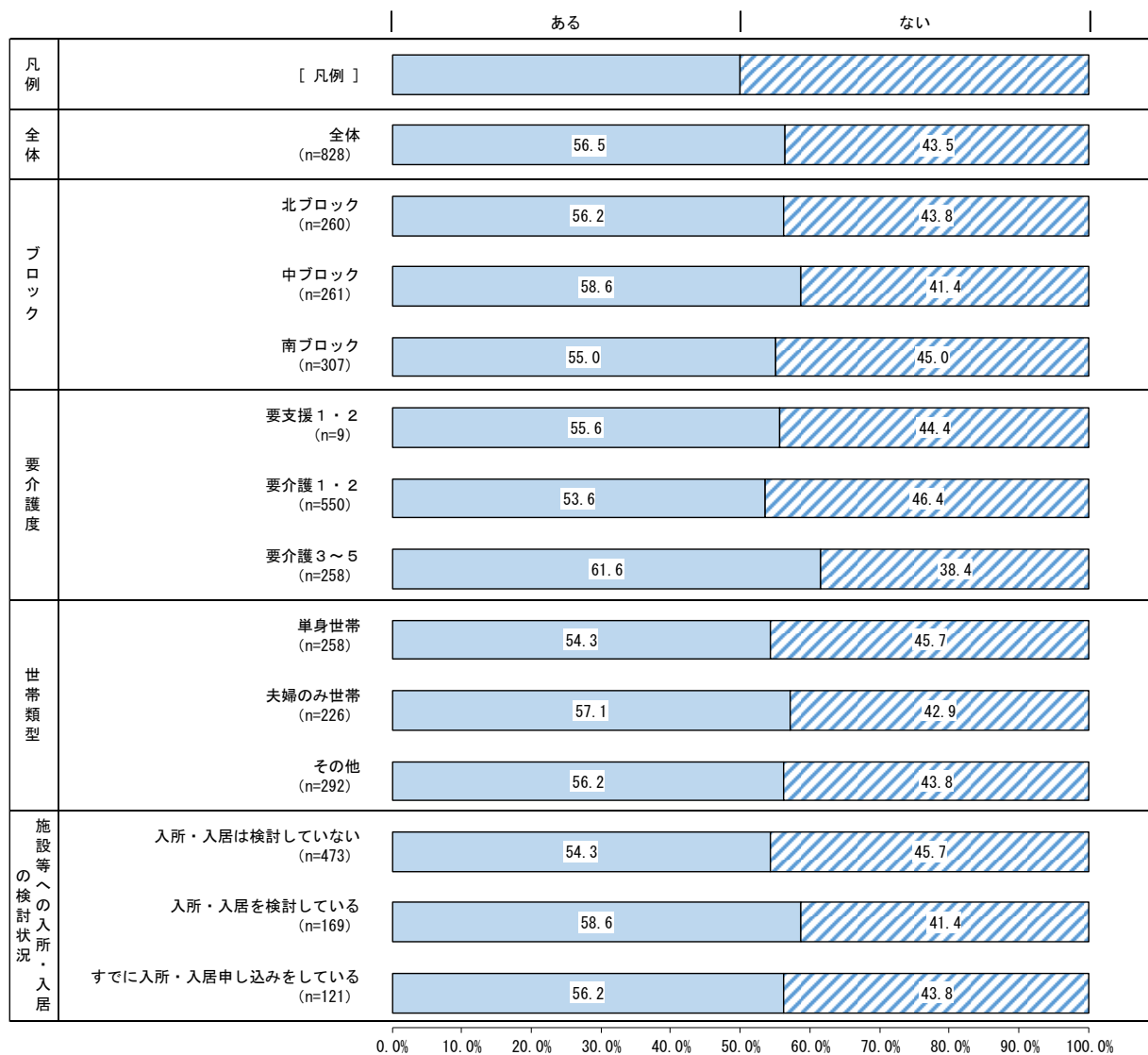
【全体】
○ 入院の有無について、「ある」が56.5%、「ない」が43.5%となっています。

【ブロック】
○ 「ある」は中ブロックが58.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】
○ 「ある」は要介護3～5が61.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】
○ 「ある」は入所・入居を検討しているが58.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【入院の有無】



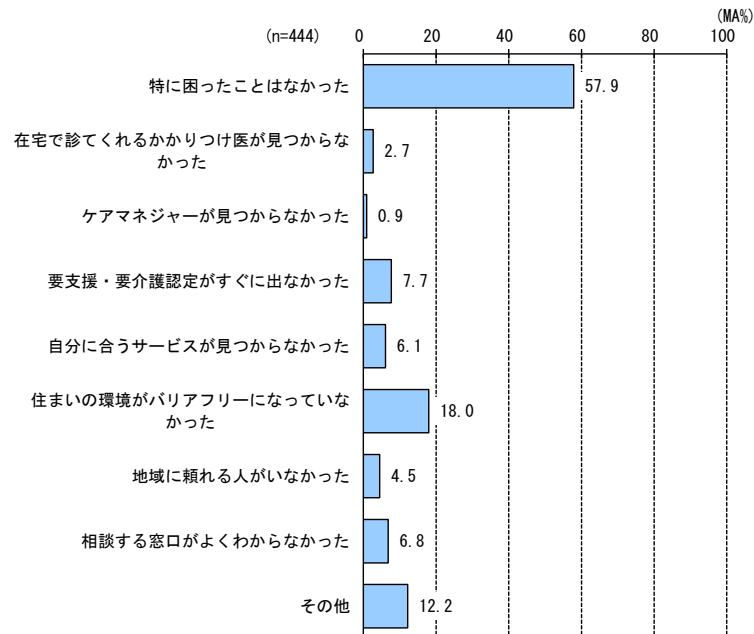
【問4-4で「1. ある」を選んだ人に伺います。】

- 問4-4-① 退院して自宅に戻る時にどんなことが困りましたか。
(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 退院時に困ったことについて、「特に困ったことはなかった」が 57.9%で最も多く、次いで「住まいの環境がバリアフリーになっていなかった」が 18.0%、「要支援・要介護認定がすぐに出なかった」が 7.7%となっています。

【退院時に困ったこと (MA)】

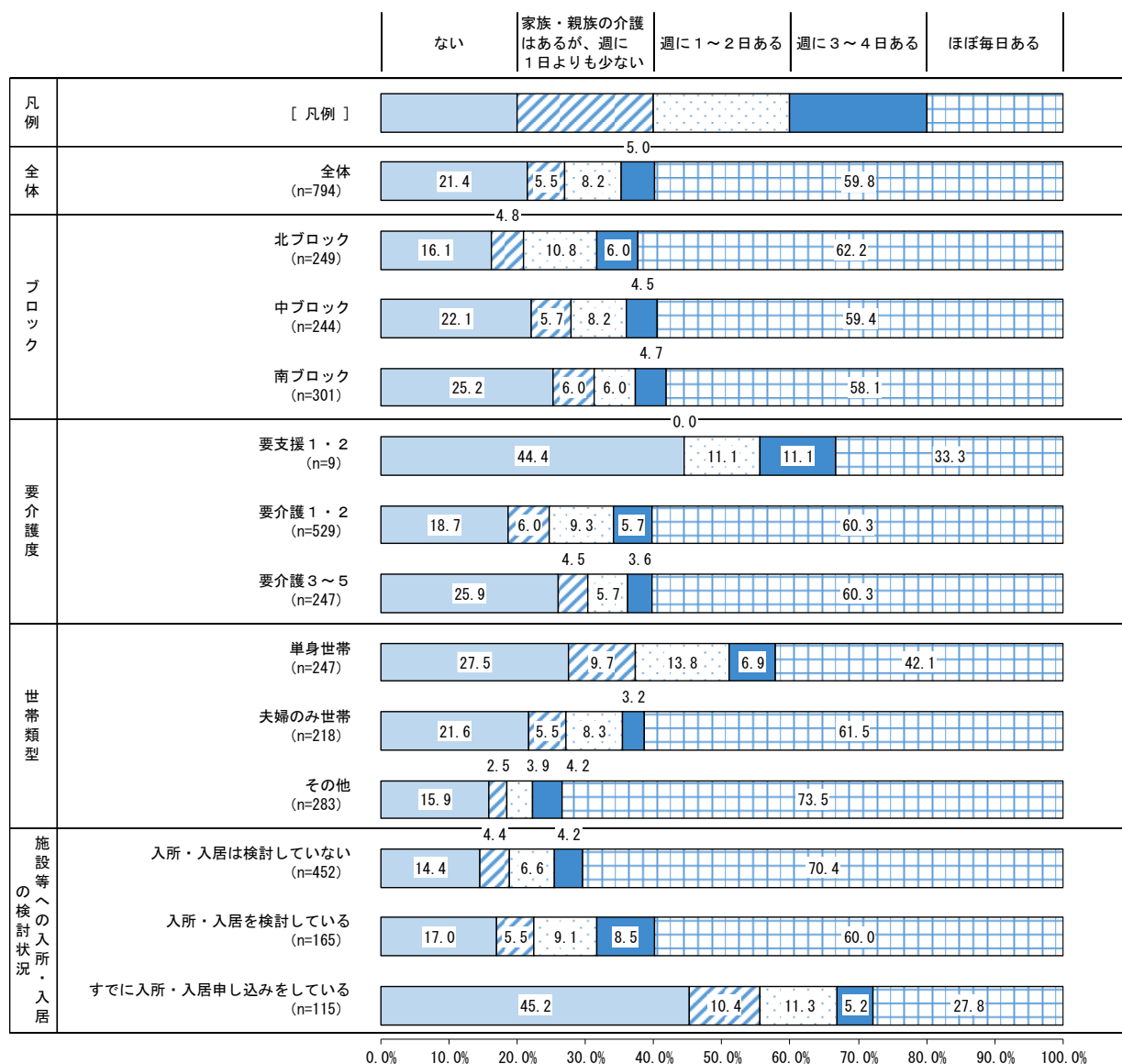


問5 ご家族などからの介護について

- 問5-1 ご家族やご親族の方からの介護は、週にどのくらいありますか（同居していない子どもや親族等からの介護を含む）。（○はひとつ）

【全体】
○ 介護の頻度について、「ほぼ毎日ある」が 59.8%で最も多く、次いで「ない」が 21.4%、「週に1～2日ある」が 8.2%となっています。
【ブロック】
○ 「ない」は北ブロックが 16.1%と他の区分に比べて少なくなっています。
【要介護度】
○ 「ない」は要介護1・2が 18.7%と他の区分に比べて少なくなっています。
【世帯類型】
○ 「ない」は単身世帯が 27.5%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護の頻度】



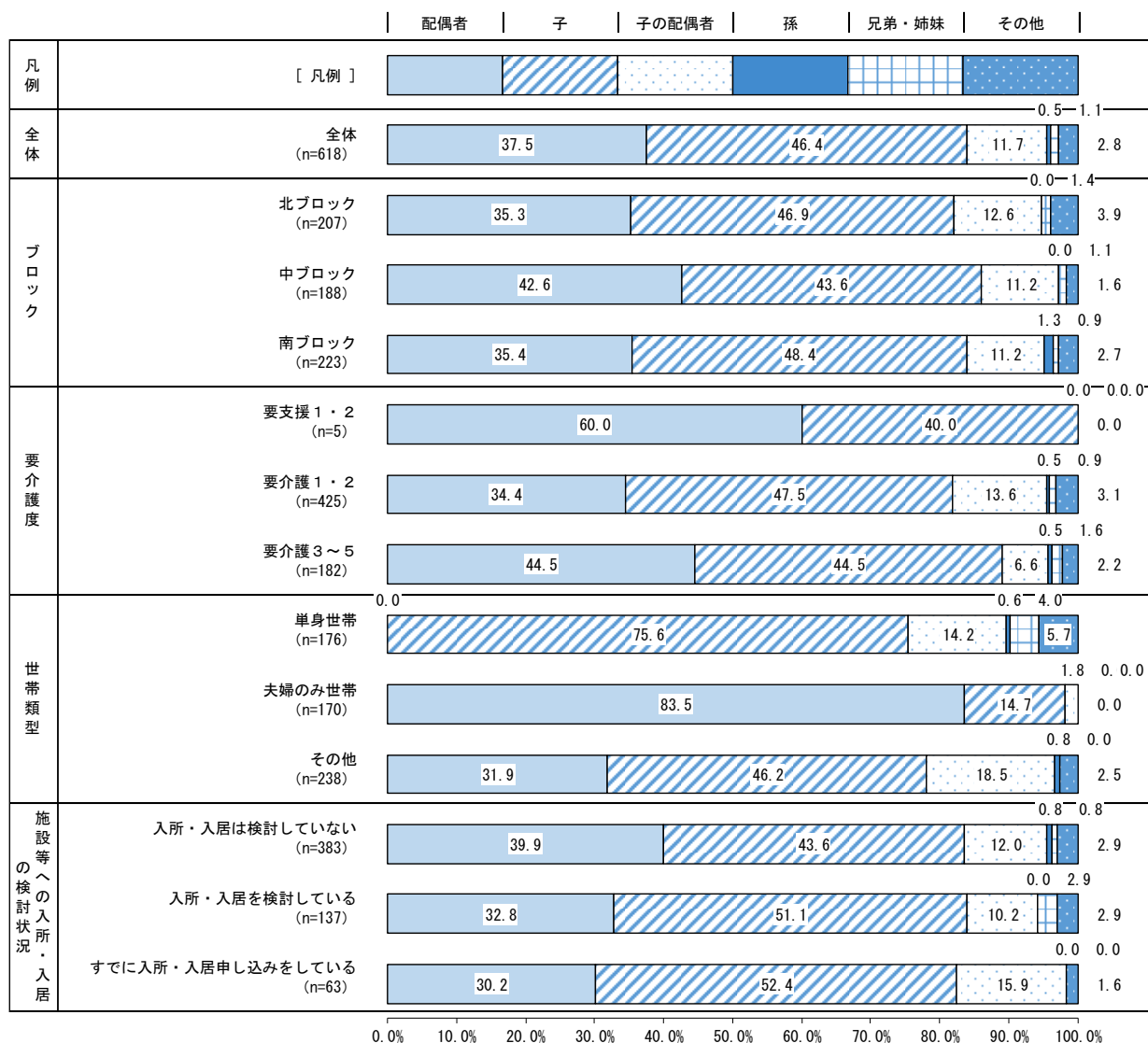
問6 主な介護者の方について【介護者への質問】

●問6-1 主な介護者の方は、どなたですか。ご本人からみた続柄でお答えください。

(○はひとつ)

【全体】
○ 主な介護者について、「子」が46.4%で最も多く、次いで「配偶者」が37.5%、「子の配偶者」が11.7%となっています。
【ブロック】
○ 「配偶者」は中ブロックが42.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 「配偶者」は要介護1・2が34.4%と他の区分に比べて少なくなっています。
【世帯類型】
○ 「子」は単身世帯が75.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者】



●問6-2 主な介護者の方の性別について、ご回答ください。(○はひとつ)

【全体】

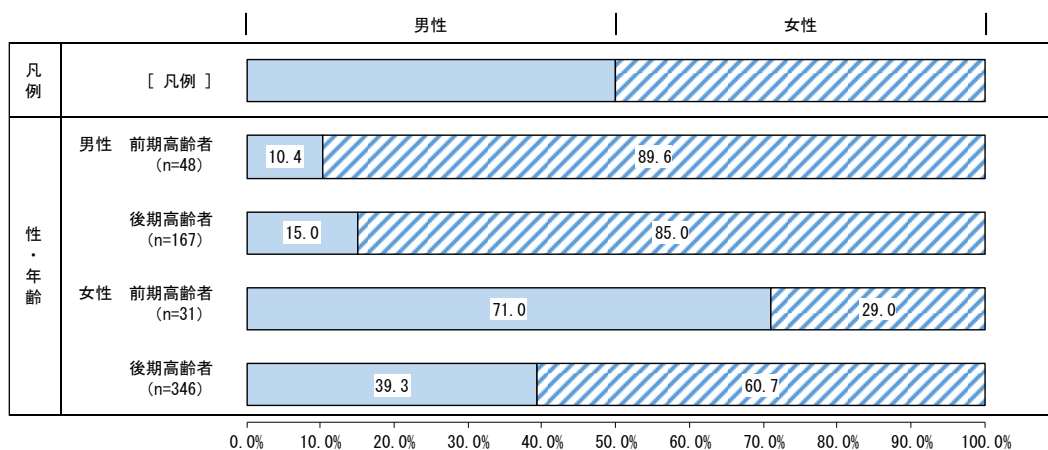
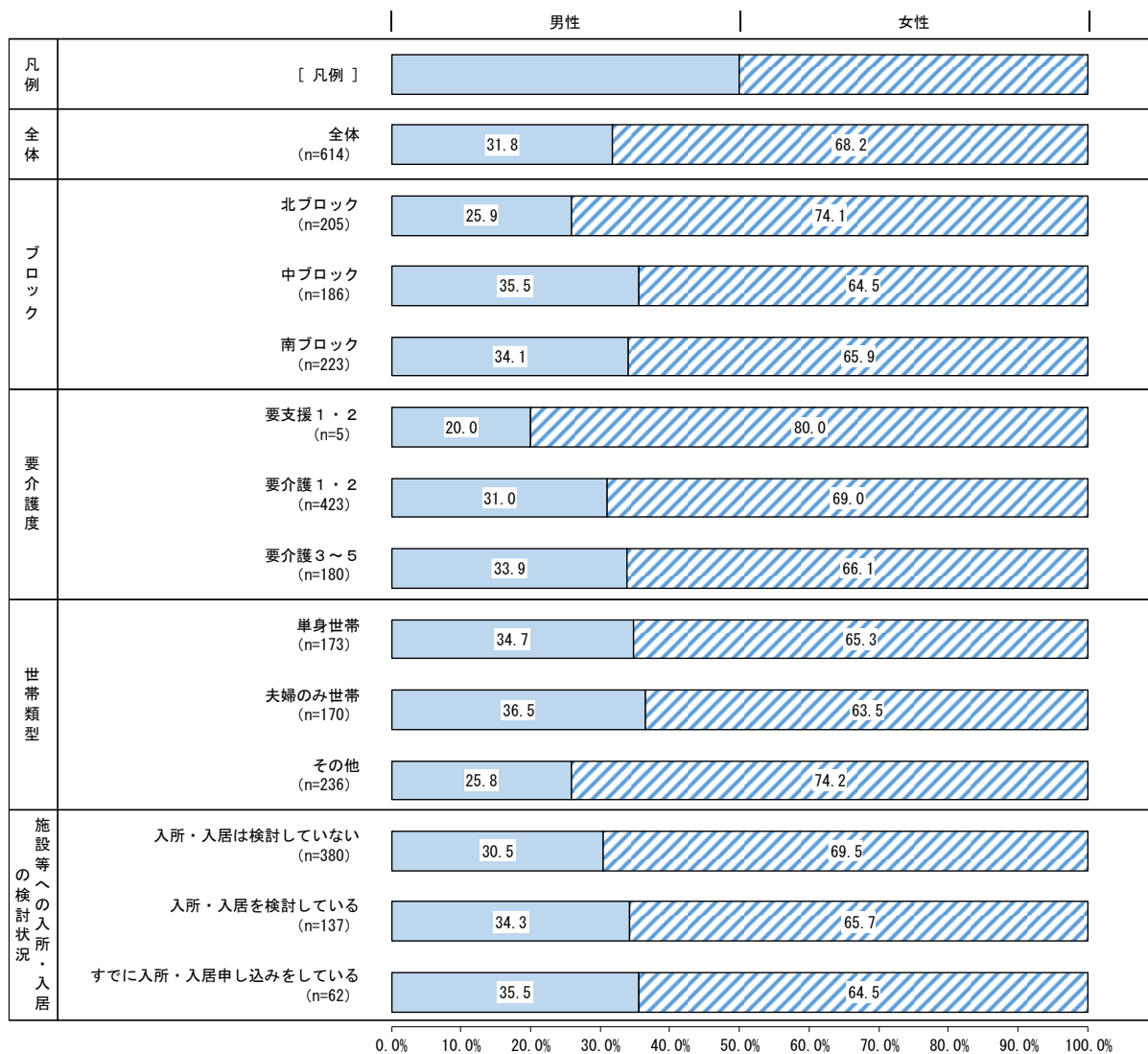
○ 主な介護者の性別について、「男性」が31.8%、「女性」が68.2%となっています。

【性・年齢】

○ 前期・後期高齢者ともに女性では男性に比べて「男性」が多くなっています。

○ 前期・後期高齢者ともに男性では女性に比べて「女性」が多くなっています。

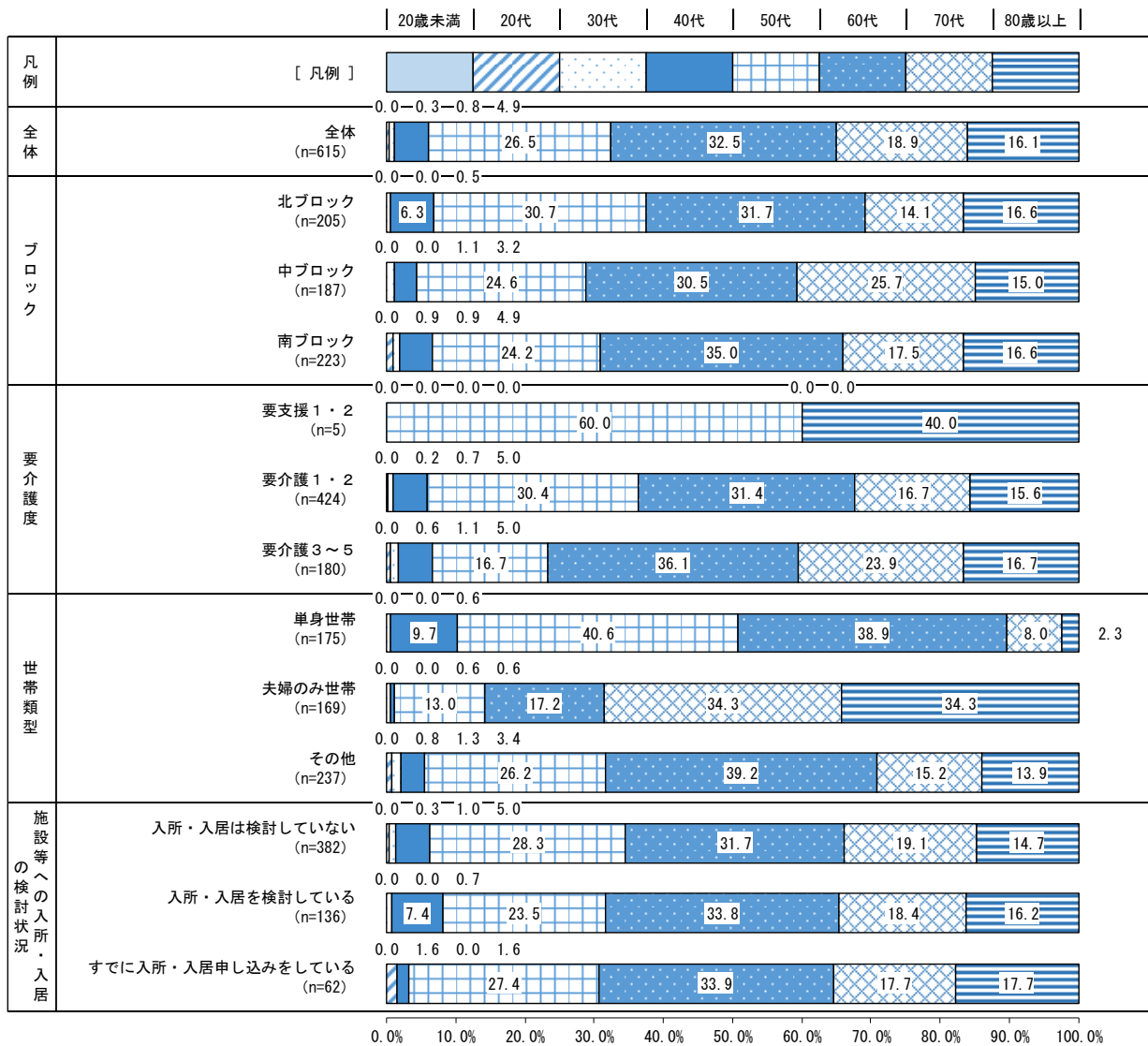
【主な介護者の性別】

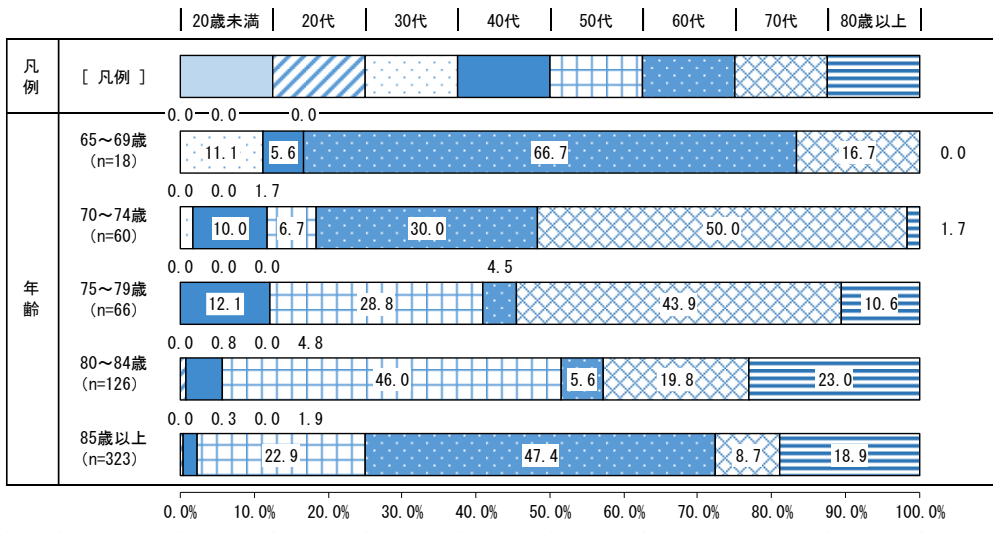


●問6-3 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください。(○はひとつ)

- 【全体】**
 ○ 主な介護者の年齢について、「60代」が32.5%で最も多く、次いで「50代」が26.5%、「70代」が18.9%となっています。
- 【年齢】**
 ○ 「60代」は75～79歳が4.5%、80～84歳が5.6%と他の区分に比べて少なくなっています。
 ○ 「70代」は70～74歳が50.0%、75～79歳が43.9%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【世帯類型】**
 ○ 「40代」は単身世帯が9.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「50代」は単身世帯が40.6%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者の年齢】



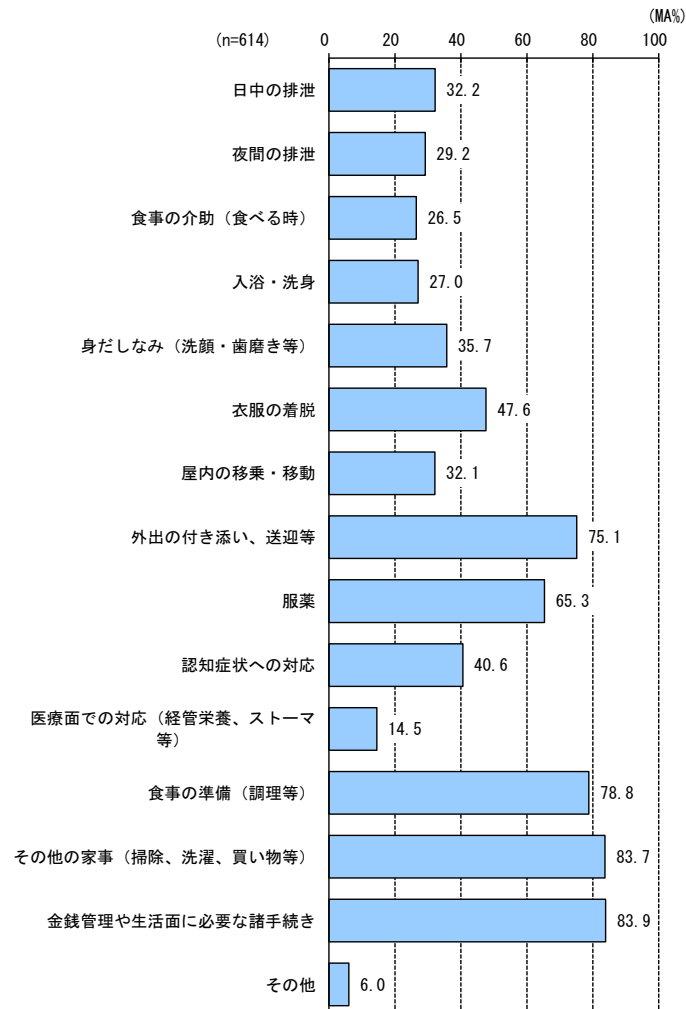


- 問6-4 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください。
(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 主な介護者が行う介護について、「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が 83.9%で最も多く、次いで「その他の家事（掃除、洗濯、買い物等）」が 83.7%、「食事の準備（調理等）」が 78.8%となっています。

【主な介護者が行う介護(MA)】

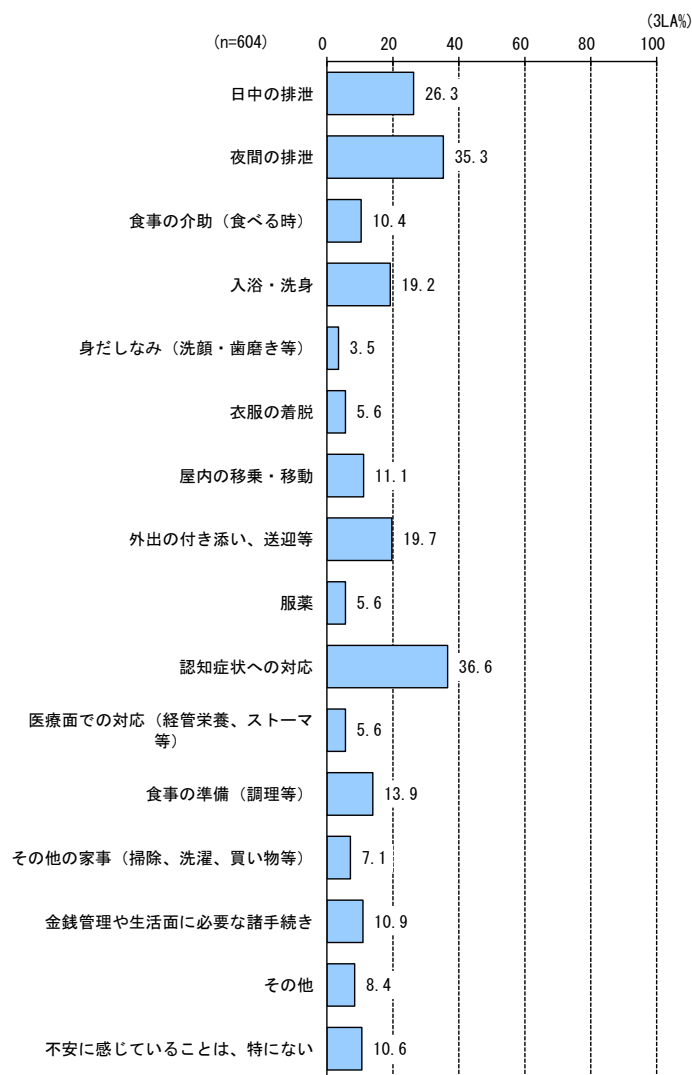


- 問6-5 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が不安を感じる介護等について、ご回答ください（現状で行っているか否かは問いません）。（○は3つまで）

【全体】

- 不安を感じる介護について、「認知症状への対応」が 36.6%で最も多く、次いで「夜間の排泄」が 35.3%、「日中の排泄」が 26.3%となっています。

【不安を感じる介護(3LA)】

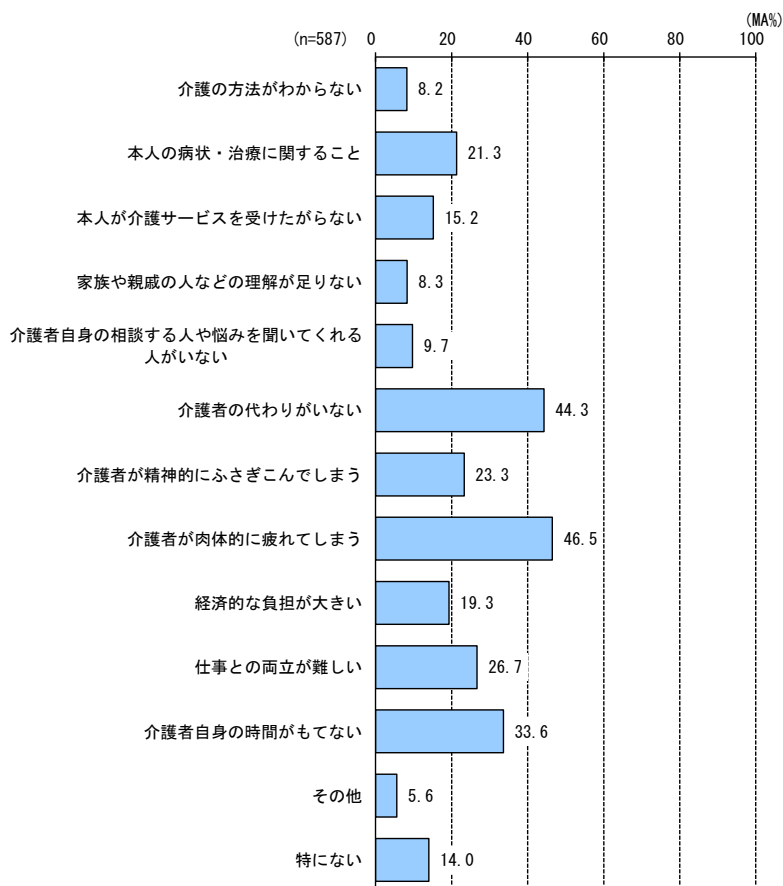


- 問6-6 主な介護者の方が、介護を行う上で困っていることについて教えてください。
 (当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 介護を行う上で困っていることについて、「介護者が肉体的に疲れてしまう」が 46.5%で最も多く、次いで「介護者の代わりがない」が 44.3%、「介護者自身の時間がもてない」が 33.6%となっています。

【介護を行う上で困っていること (MA)】



- 問6-7 主な介護者の方は、介護者どうしが集まり、日頃、介護をしながら抱えている悩みを相談し合ったり、介護法の工夫を紹介し合ったり、情報交換する場があれば、参加したいと思いますか。(○はひとつ)

【全体】
 ○ 介護者どうしの情報交換の場への参加意向について、「あまり参加したくない」が 39.5%で最も多く、次いで「できれば参加したい」が 22.5%、「参加したくない」が 20.3%となっています。

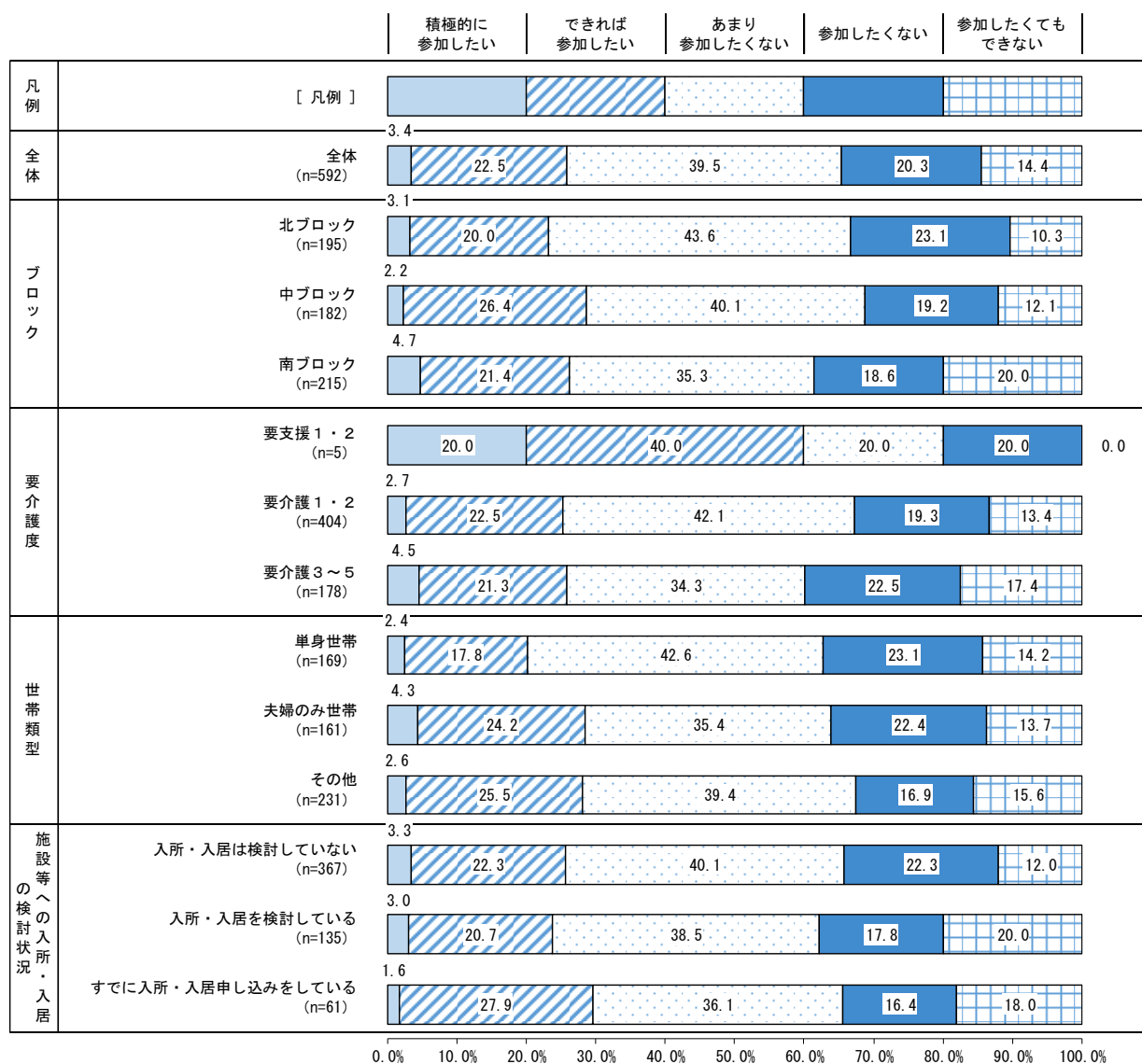
【ブロック】
 ○ 「積極的に参加したい」は南ブロックが 4.7%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「できれば参加したい」は中ブロックが 26.4%と他の区分に比べて多くなっています。

【要介護度】
 ○ 「積極的に参加したい」は要支援 1・2 が 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「できれば参加したい」は要支援 1・2 が 40.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【世帯類型】
 ○ 「できれば参加したい」は単身世帯が 17.8%と他の区分に比べて少なくなっています。

【施設等への入所・入居の検討状況】
 ○ 「参加したくてもできない」は入所・入居を検討しているが 20.0%と他の区分に比べて多くなっています。

【介護者どうしの情報交換の場への参加意向】

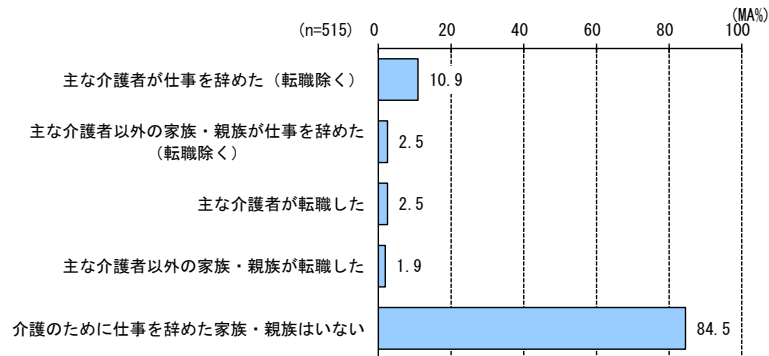


- 問6-8 ご家族やご親族の中で、ご本人の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事を辞めた方はいますか（現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません）。
（当てはまるものすべてに○）

【全体】

- 介護離職について、「介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない」が 84.5%で最も多く、次いで「主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）」が 10.9%、「主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）」「主な介護者が転職した」が 2.5%となっています。

【介護離職(MA)】

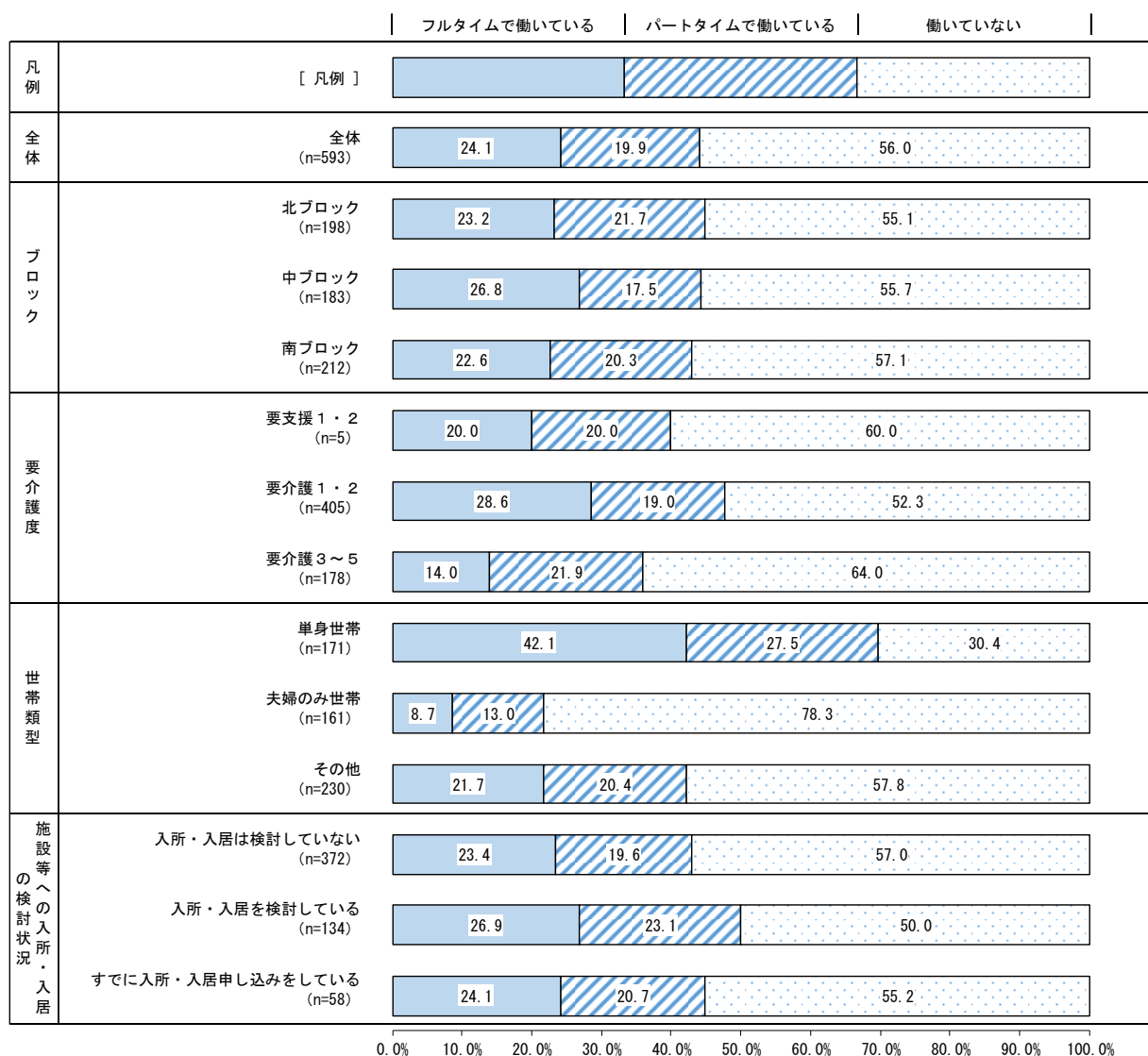


問7 主な介護者の方の就労について【介護者への質問】

●問7-1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください。(○はひとつ)

- 【全体】**
○ 主な介護者の勤務形態について、「働いていない」が 56.0%で最も多く、次いで「フルタイムで働いている」が 24.1%、「パートタイムで働いている」が 19.9%となっています。
- 【ブロック】**
○ 「フルタイムで働いている」は中ブロックが 26.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
○ 「フルタイムで働いている」は要介護 1・2 が 28.6%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【世帯類型】**
○ 「フルタイムで働いている」は単身世帯が 42.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【主な介護者の勤務形態】



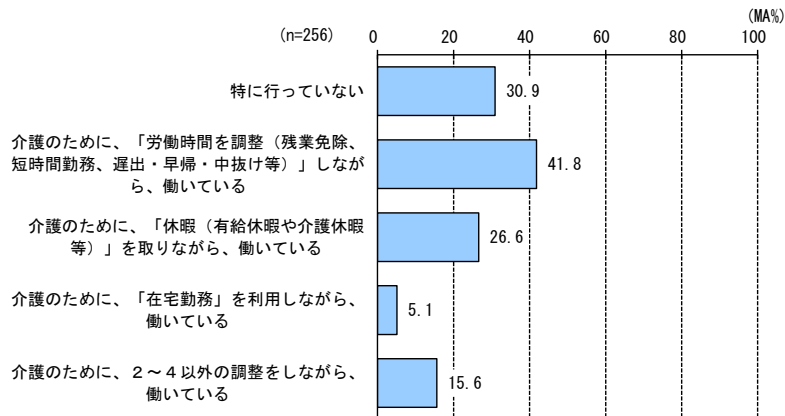
【問7-1で「1. フルタイムで働いている」「2. パートタイムで働いている」を選んだ人に伺います。下の①②③すべてお答えください。】

- 問7-1-① 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 働き方の調整について、「介護のために、「労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）」しながら、働いている」が 41.8%で最も多く、次いで「特に行っていない」が 30.9%、「介護のために、「休暇（有給休暇や介護休暇等）」を取りながら、働いている」が 26.6%となっています。

【働き方の調整(MA)】

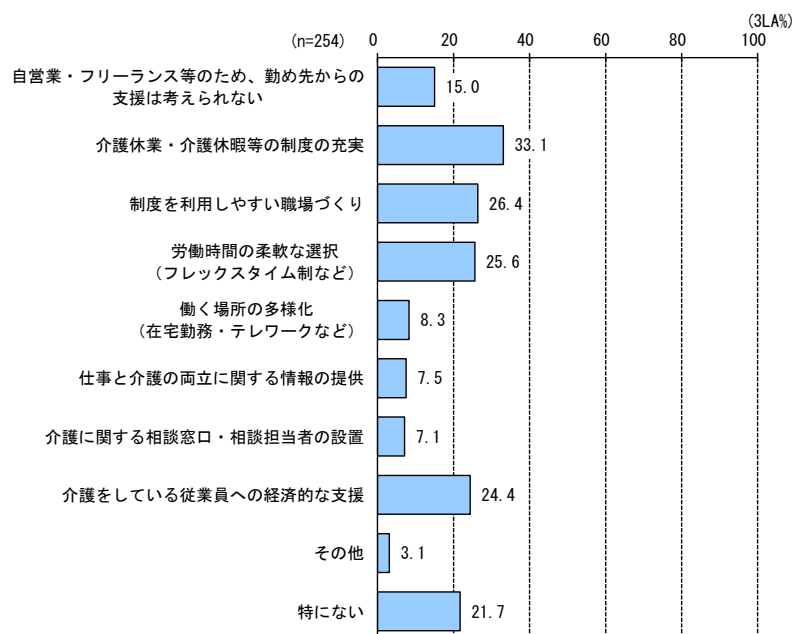


- 問7-1-② 主な介護者の方は、勤め先からどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか。(○は3つまで)

【全体】

- 仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援について、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」が 33.1%で最も多く、次いで「制度を利用しやすい職場づくり」が 26.4%、「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が 25.6%となっています。

【仕事と介護の両立に効果がある勤め先からの支援(3LA)】

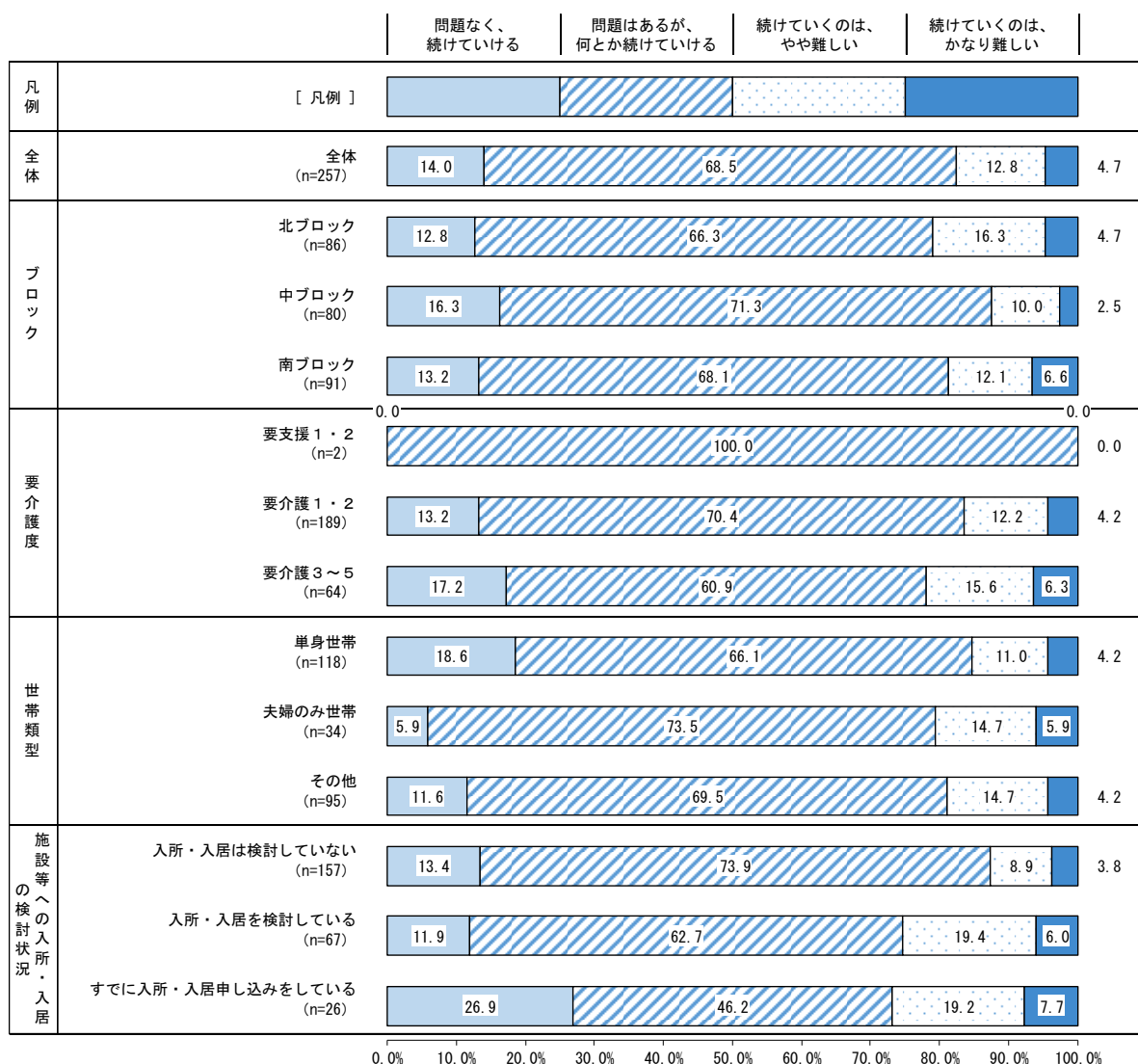


●問7-1-③ 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか。

(○はひとつ)

【全体】
○ 今後の仕事と介護の両立について、「問題はあるが、何とか続けていける」が 68.5%で最も多く、次いで「問題なく、続けていける」が 14.0%、「続けていくのは、やや難しい」が 12.8%となっています。
【ブロック】
○ 「問題はあるが、何とか続けていける」は中ブロックが 71.3%と他の区分に比べて多くなっています。
○ 「続けていくのは、やや難しい」は北ブロックが 16.3%と他の区分に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 「続けていくのは、やや難しい」は要介護3～5が 15.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【世帯類型】
○ 「続けていくのは、かなり難しい」は夫婦のみ世帯が 5.9%と他の区分に比べて多くなっています。
【施設等への入所・入居の検討状況】
○ 「問題はあるが、何とか続けていける」はすでに入所・入居申し込みをしているが 46.2%と他の区分に比べて少なくなっています。

【今後の仕事と介護の両立】



問8 認知症について【介護者への質問】

●問8-1 認知症に関する相談窓口を知っていますか（○はひとつ）

【全体】

○ 認知症に関する相談窓口の周知状況について、「はい」が 52.7%、「いいえ」が 47.3%となっています。

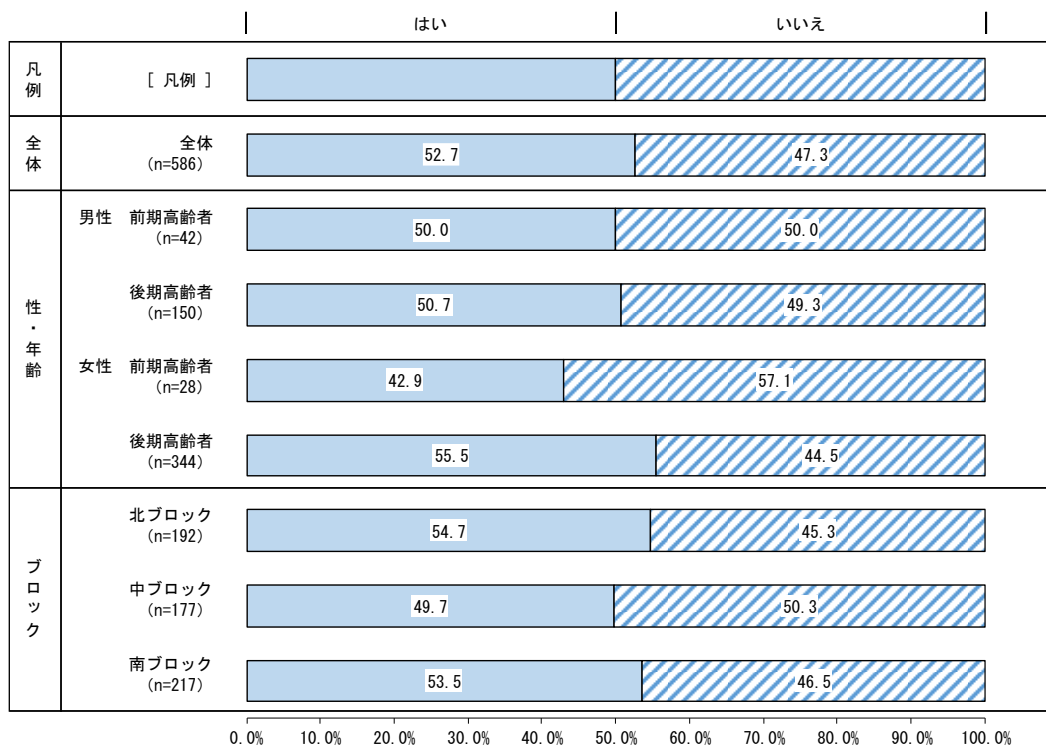
【性・年齢】

○ 「はい」は女性 前期高齢者が 42.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【ブロック】

○ 「はい」は中ブロックが 49.7%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認知症に関する相談窓口の周知状況】



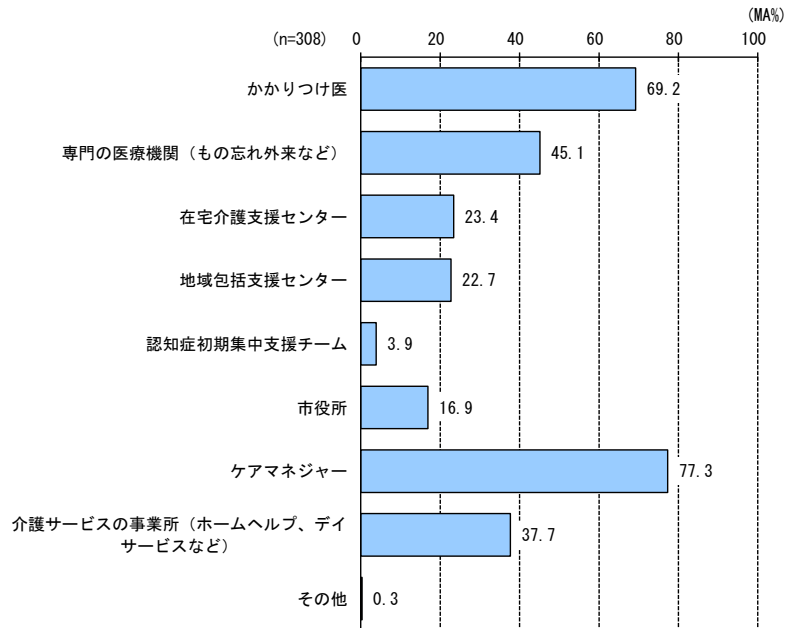
【問8-1で「1. はい」を選んだ人に伺います。】

●問8-1-① 認知症に関する以下の相談窓口をご存じですか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

○ 認知症に関する相談窓口で知っているものについて、「ケアマネジャー」が 77.3%で最も多く、次いで「かかりつけ医」が 69.2%、「専門の医療機関（もの忘れ外来など）」が 45.1%となっています。

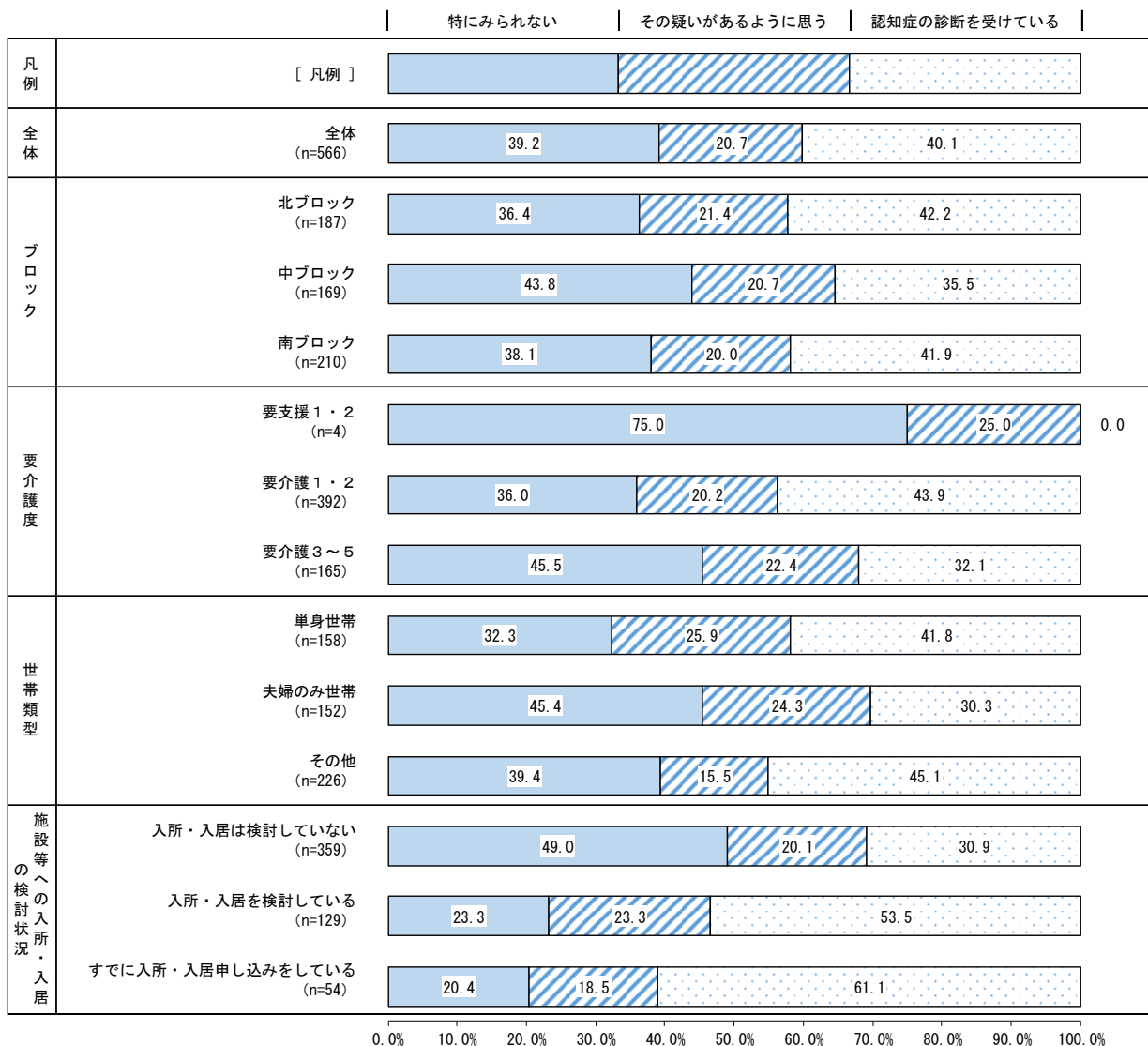
【認知症に関する相談窓口で知っているもの(MA)】



●問8-2 ご本人（封筒のあて名の方）には認知症の症状がみられますか。（○はひとつ）

- 【全体】**
 ○ 認知症の症状有無について、「認知症の診断を受けている」が 40.1%で最も多く、次いで「特にみられない」が 39.2%、「その疑いがあるように思う」が 20.7%となっています。
- 【ブロック】**
 ○ 「特にみられない」は中ブロックが 43.8%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【要介護度】**
 ○ 「その疑いがあるように思う」は要支援1・2が 25.0%と他の区分に比べて多くなっています。
- 【世帯類型】**
 ○ 「特にみられない」は単身世帯が 32.3%と他の区分に比べて少なくなっています。
- 【施設等への入所・入居の検討状況】**
 ○ 「その疑いがあるように思う」は入所・入居を検討しているが 23.3%と他の区分に比べて多くなっています。
 ○ 「認知症の診断を受けている」は入所・入居を検討していないが 30.9%と他の区分に比べて少なくなっています。

【認知症の症状有無】



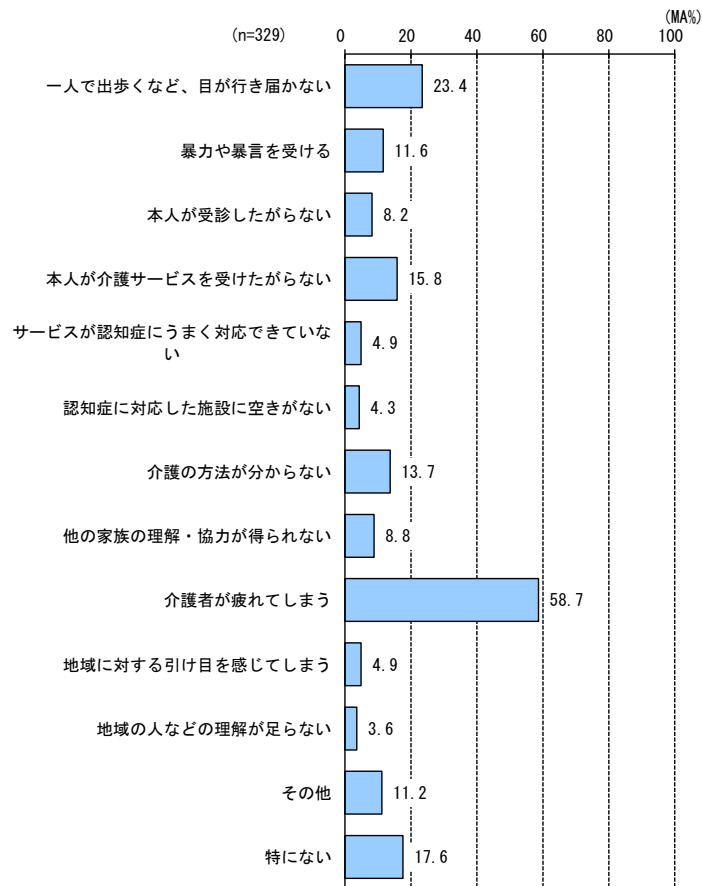
【問8-2で「2. その疑いがあるように思う」「3. 認知症の診断を受けている」を選んだ人に伺います。】

- 問8-2-① 認知症に対して、介護者（主に介護している人）が困っていることは何ですか。
（当てはまるものすべてに○）

【全体】

○ 認知症に対して困っている介護について、「介護者が疲れてしまう」が 58.7%で最も多く、次いで「一人で出歩くなど、目が行き届かない」が 23.4%、「特にない」が 17.6%となっています。

【認知症に対して困っている介護(MA)】

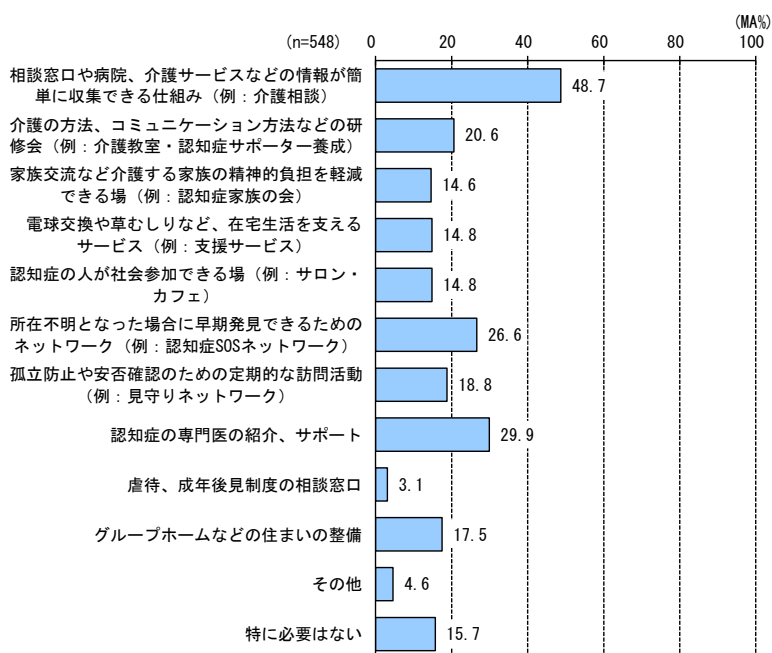


●問8-3 認知症について、どのような支援があればよいと思いますか。(当てはまるものすべてに○)

【全体】

- 認知症について必要と思う支援について、「相談窓口や病院、介護サービスなどの情報が簡単に収集できる仕組み（例：介護相談）」が 48.7%で最も多く、次いで「認知症の専門医の紹介、サポート」が 29.9%、「所在不明となった場合に早期発見できるためのネットワーク（例：認知症 SOS ネットワーク）」が 26.6%となっています。

【認知症について必要と思う支援(MA)】

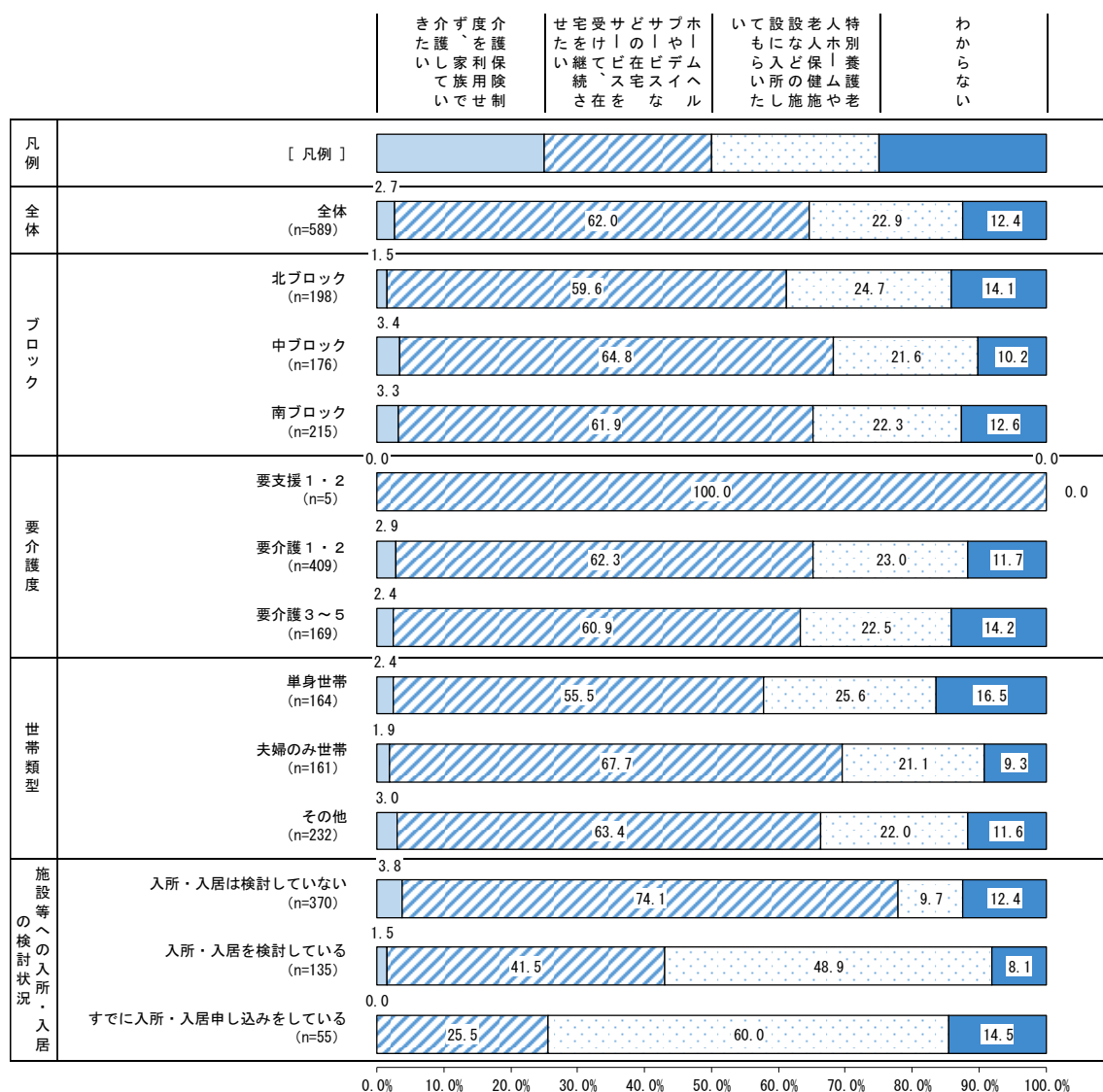


問9 これからの高齢者介護について【介護者への質問】

- 問9-1 主な介護者の方は、今後、どのように介護をしていきたいとお考えですか。(〇はひとつ)

【全体】
○ 今後の介護の方針について、「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」が 62.0%で最も多く、次いで「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい」が 22.9%、「わからない」が 12.4%となっています。
【ブロック】
○ 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」は中ブロックが 64.8%と他の区分に比べて多くなっています。
【要介護度】
○ 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」は要支援1・2が 100.0%と他の区分に比べて多くなっています。
【世帯類型】
○ 「特別養護老人ホームや老人保健施設などの施設に入所してもらいたい」は単身世帯が 25.6%と他の区分に比べて多くなっています。
【施設等への入所・入居の検討状況】
○ 「ホームヘルプやデイサービスなどの在宅サービスを受けて、在宅を継続させたい」は入所・入居は検討していないが 74.1%と他の区分に比べて多くなっています。

【今後の介護の方針】

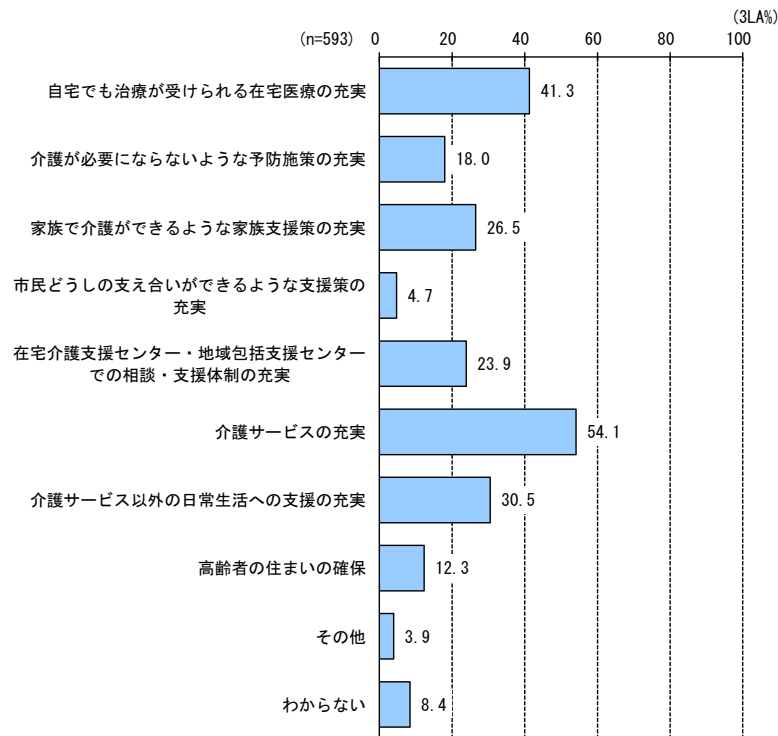


- 問9-2 高齢者への介護体制の充実のため、行政にどのようなことを希望しますか。
(○は3つまで)

【全体】

- 高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容について、「介護サービスの充実」が54.1%で最も多く、次いで「自宅でも治療が受けられる在宅医療の充実」が41.3%、「介護サービス以外の日常生活への支援の充実」が30.5%となっています。

【高齢者への介護体制充実のために行政に希望する内容(3LA)】

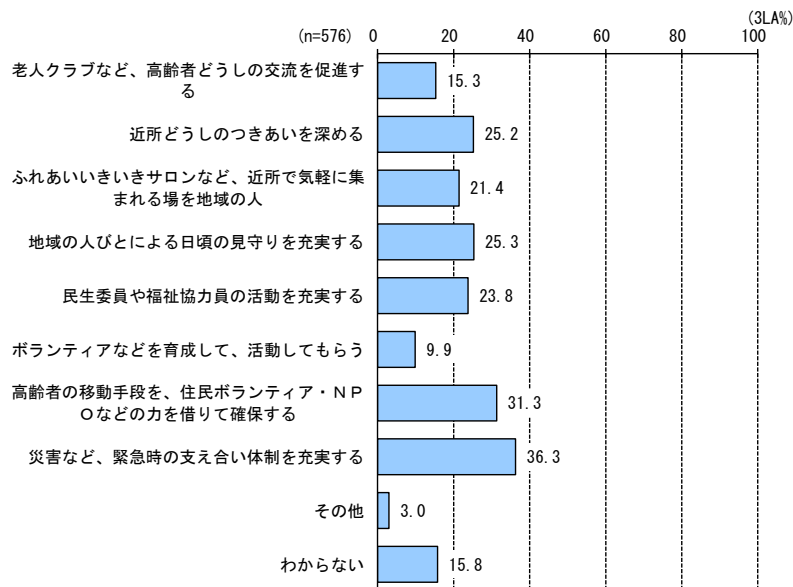


●問9-3 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるようにするため、地域でどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

【全体】

○ 高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うことについて、「災害など、緊急時の支え合い体制を充実する」が 36.3%で最も多く、次いで「高齢者の移動手段を、住民ボランティア・NPOなどの力を借りて確保する」が 31.3%、「地域の人びとによる日頃の見守りを充実する」が 25.3%となっています。

【高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるために地域にとって重要と思うこと(3LA)】



5. その他

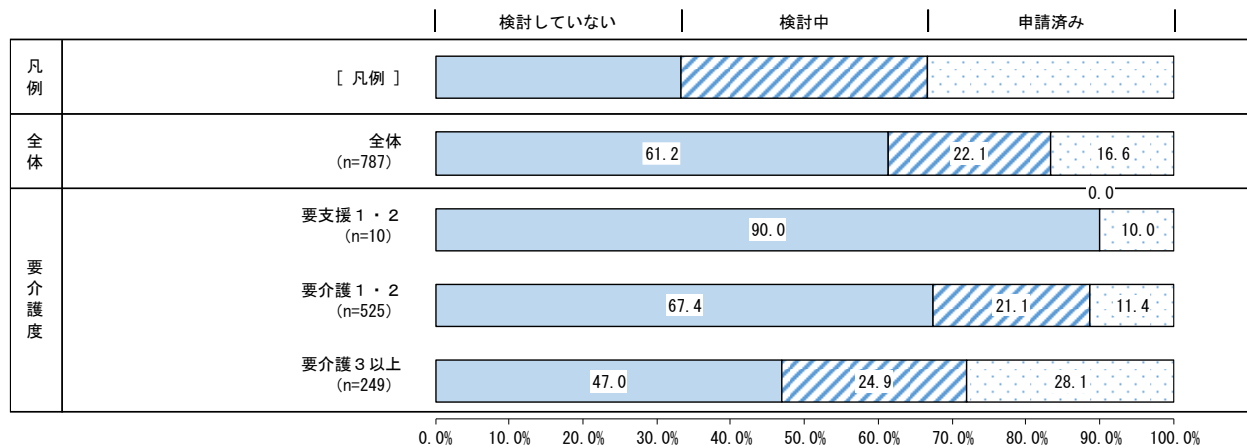
(1) 在宅限界点の向上のための支援・サービスの提供体制の検討

① 施設等への入所・入居の検討状況

● 要介護度

- 要介護度が高くなるにつれて、「検討中」または「申請済み」の割合が高くなっています。
- 要介護1・2の時点から3割程度の人が施設等への入所・入居について「検討中」または「申請済み」となっています。

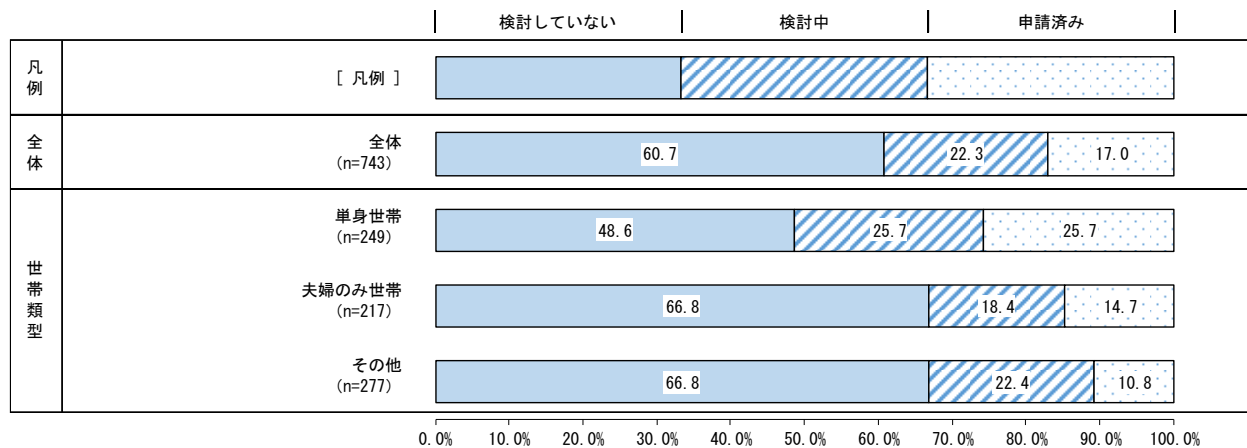
【要介護度別・施設等検討の状況】



● 世帯類型

- 単身世帯では約5割の人が施設等への入所・入居について「検討中」または「申請済み」となっています。

【世帯類型別・施設等検討の状況】

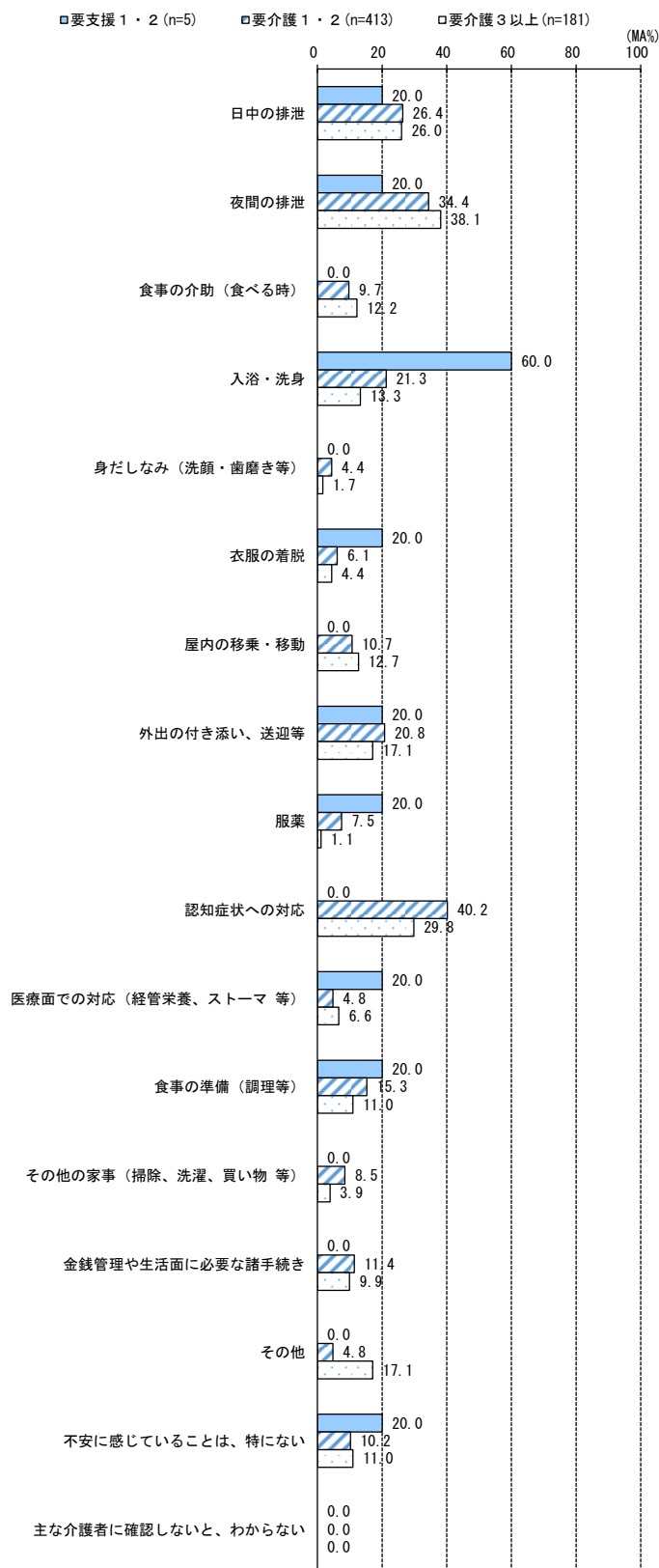


② 介護者が不安に感じる介護

● 要介護度

○ 要介護度が高いほど、「日中の排泄」「夜間の排泄」を不安に感じる割合が高くなる傾向が見られます。

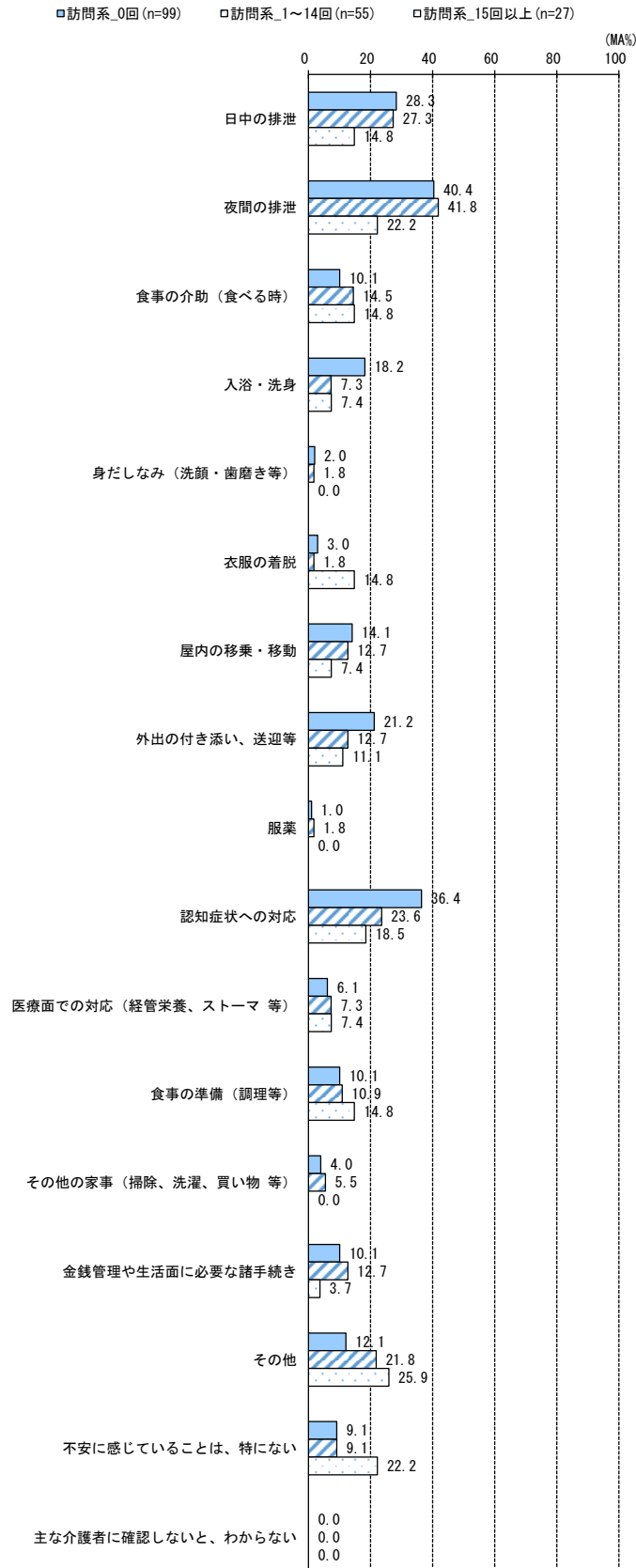
【要介護度別・介護者が不安に感じる介護】



●訪問系サービスの利用回数

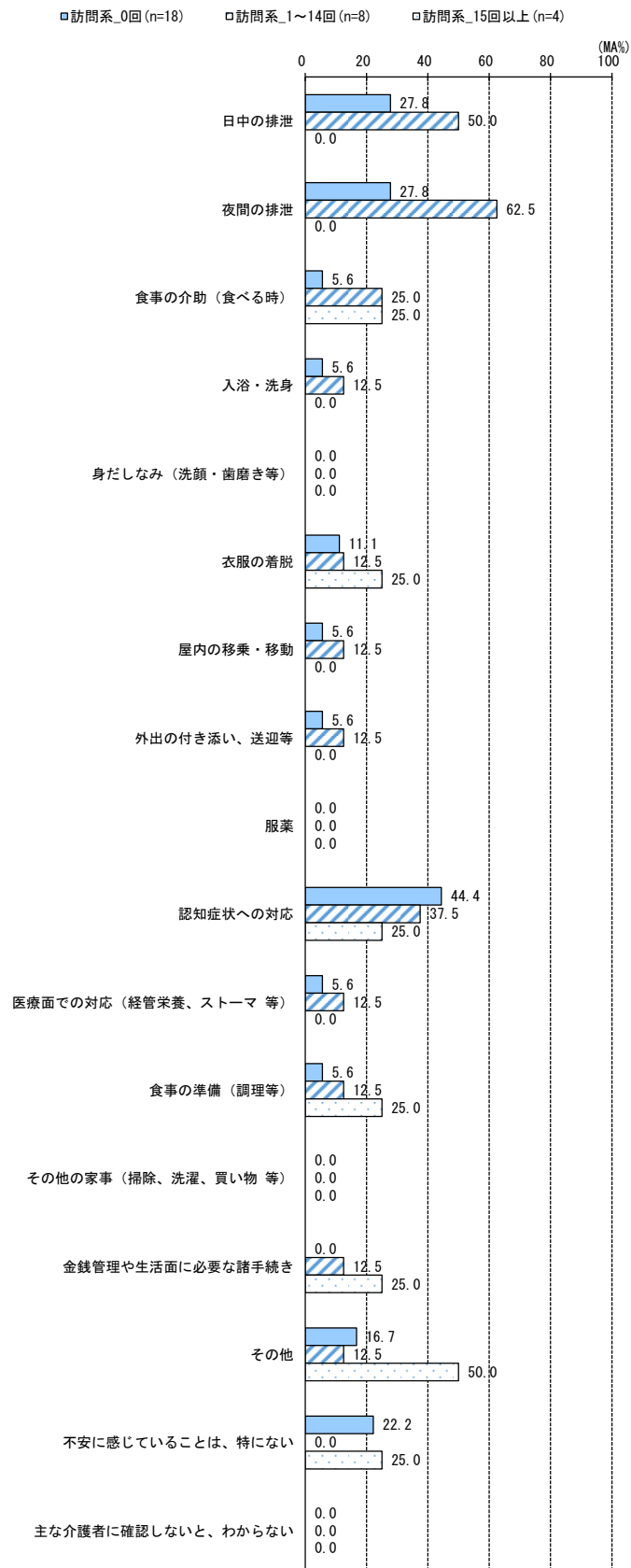
○ 要介護3以上では、訪問系のサービス利用回数が多いほど、「日中の排泄」「夜間の排泄」「屋内の移乗・移動」「認知症への対応」などに対して不安を感じる割合が低くなっています。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、要介護3以上）】



○ 認知症自立度Ⅲ以上では、訪問系のサービスを月に15回以上利用することで、不安を感じる介護の割合が低くなっていると考えられます。

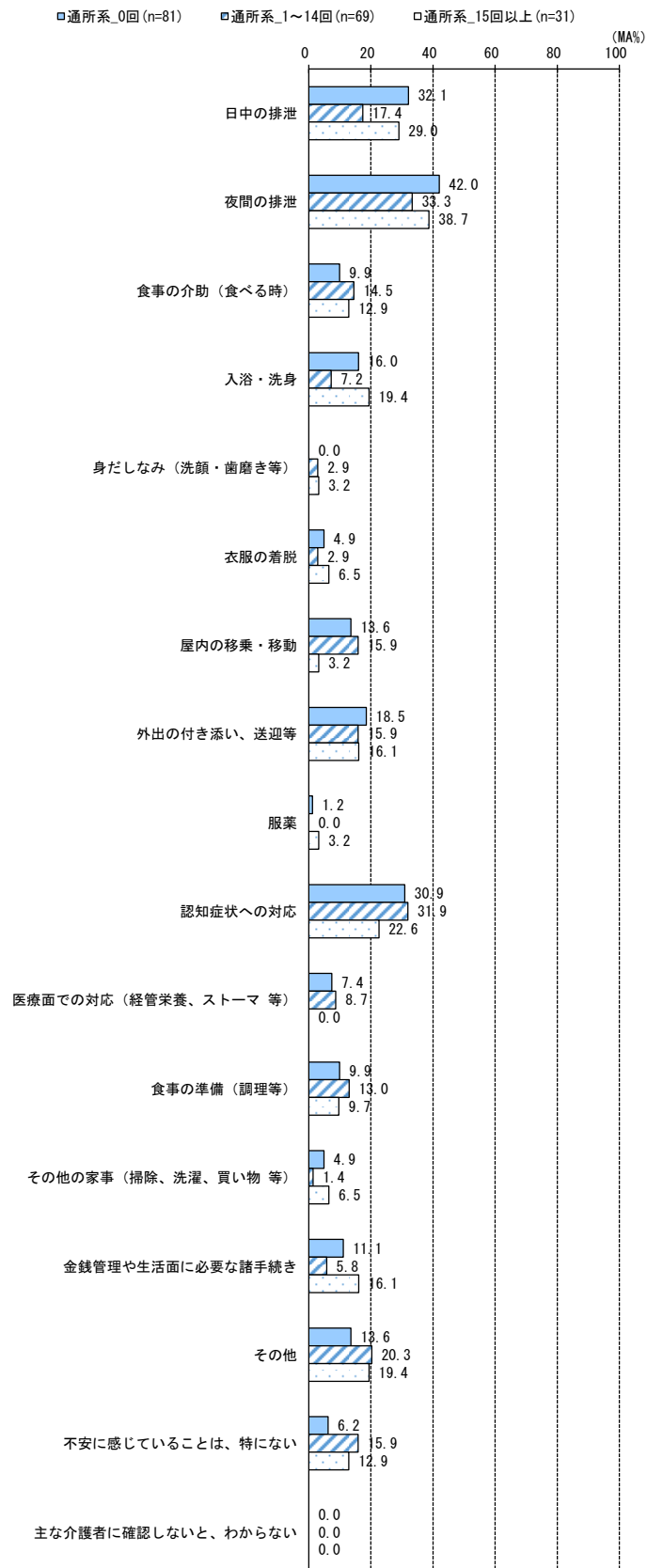
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（訪問系、認知症Ⅲ以上）】



●通所系サービスの利用回数

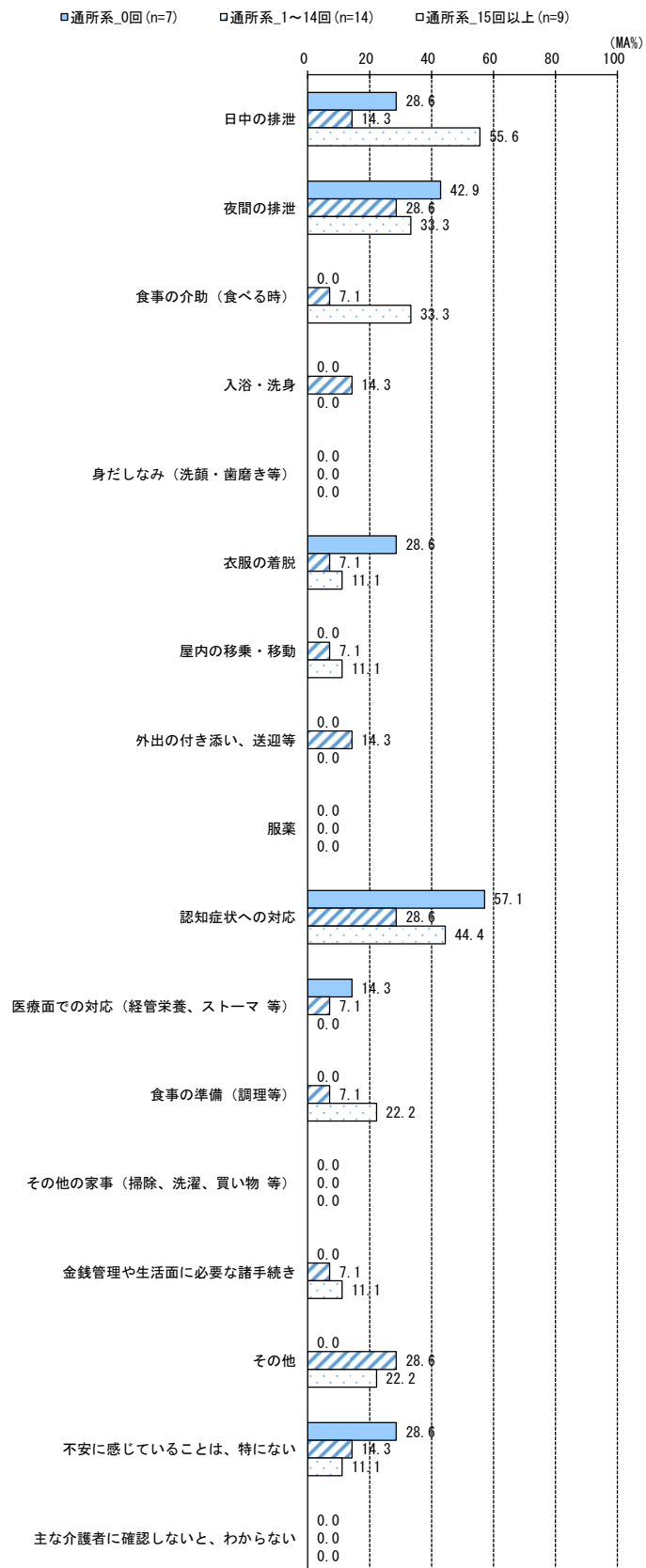
○ 要介護3以上では、通所系のサービス利用回数が多いほど、「認知症への対応」に対して不安を感じる割合が低くなっています。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、要介護3以上）】



○ 認知症自立度Ⅲ以上では、通所系のサービスの利用することで、「衣服の着脱」「認知症への対応」「医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）」などの不安を軽減していると考えられます。

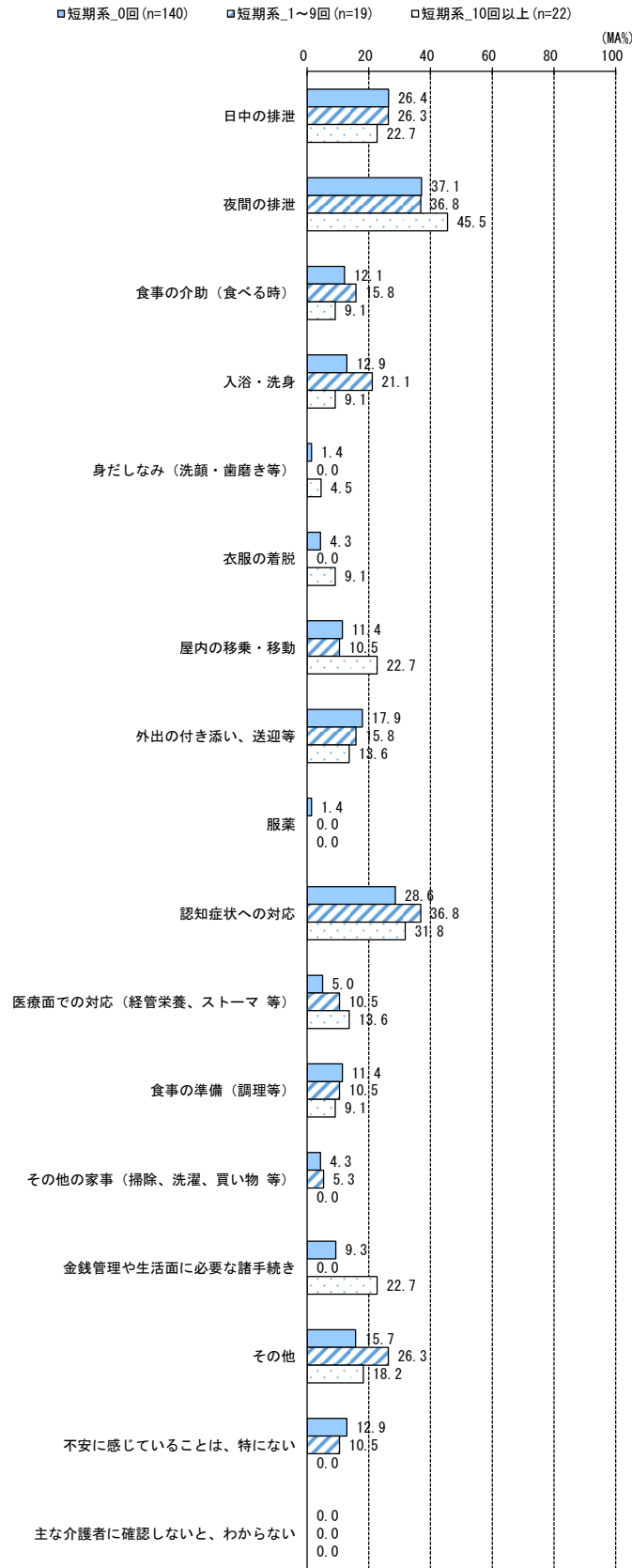
【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（通所系、認知症Ⅲ以上）】



●短期系サービスの利用回数

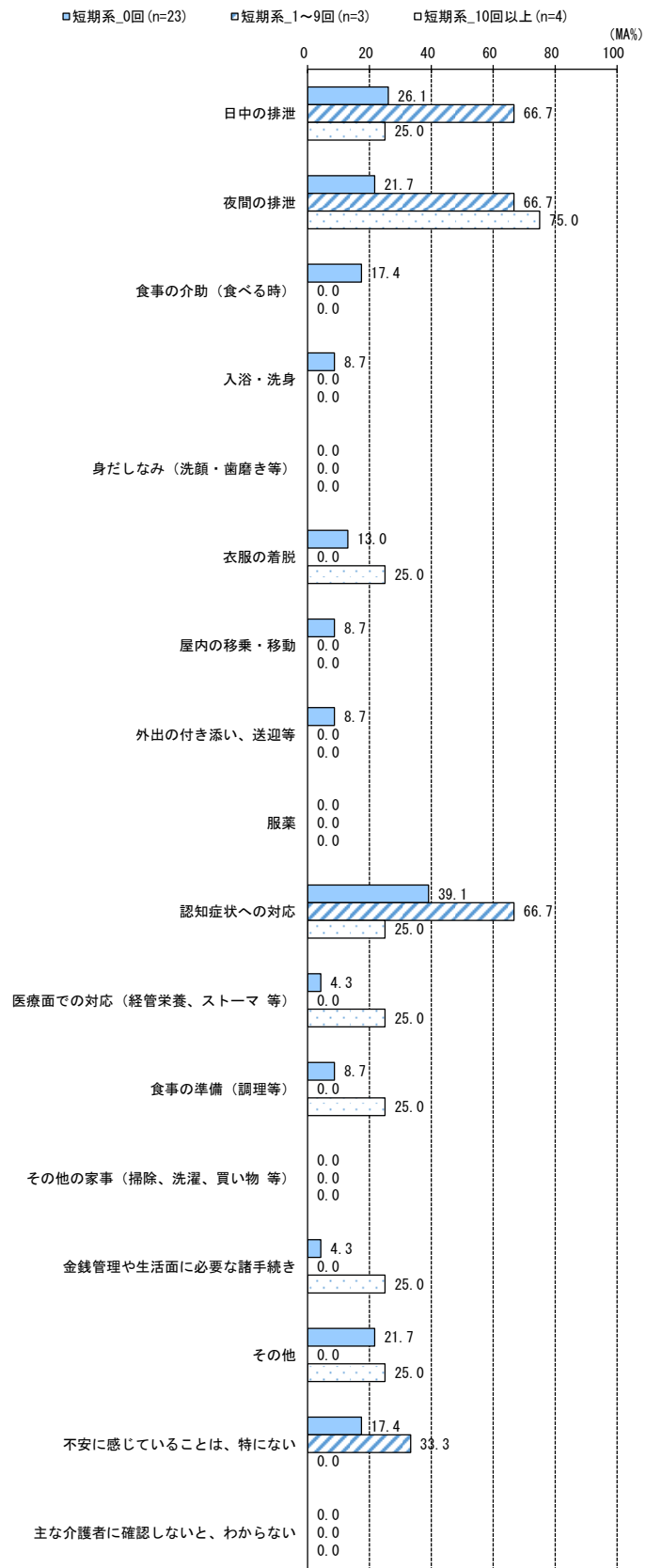
○ 要介護3以上では短期系サービスの利用回数が多いほど、「日中の排泄」や「外出の付き添い、送迎等」「食事の準備（調理等）」など、日中に発生する介護に対する不安を軽減していると考えられます。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、要介護3以上）】



○ 認知症自立度Ⅲ以上では、「夜間の排泄」に不安を持っている人が短期系のサービスを多く使っていると考えられます。

【サービス利用回数別・介護者が不安を感じる介護（短期系、認知症Ⅲ以上）】



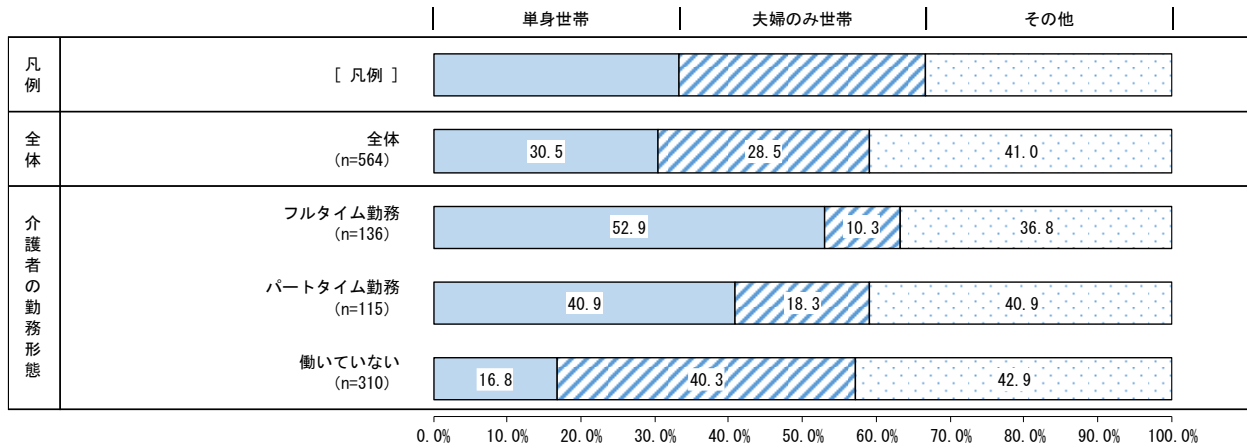
(2) 仕事と介護の両立に向けた支援・サービスの提供体制の検討

① 就労状況

● 世帯類型

○ 主な介護者の勤務時間が長いほど、単身世帯の割合が多くなっています。

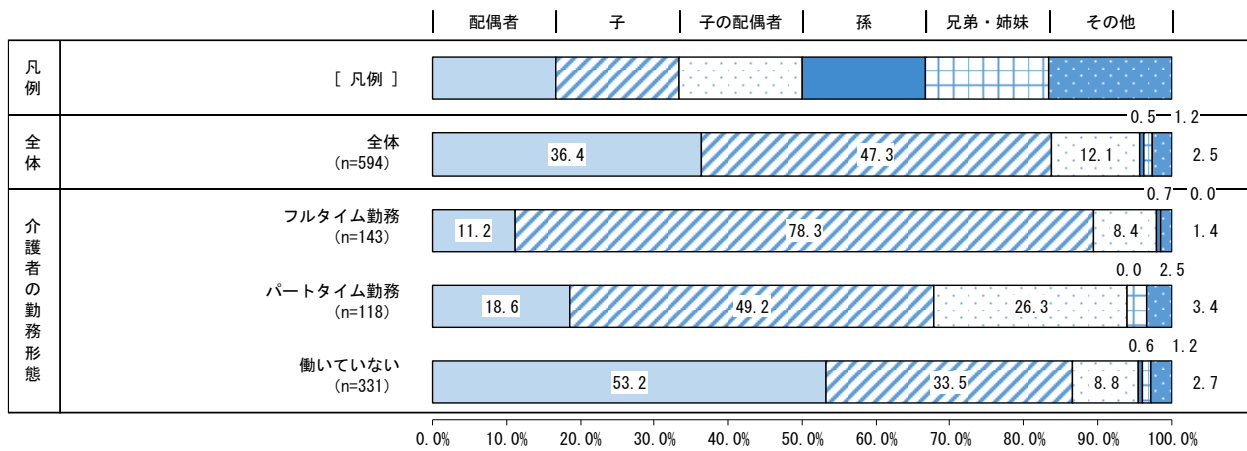
【就労状況別・世帯類型】



● 主な介護者

○ 子や子の配偶者は働きながら介護を行っている割合が高くなっています。

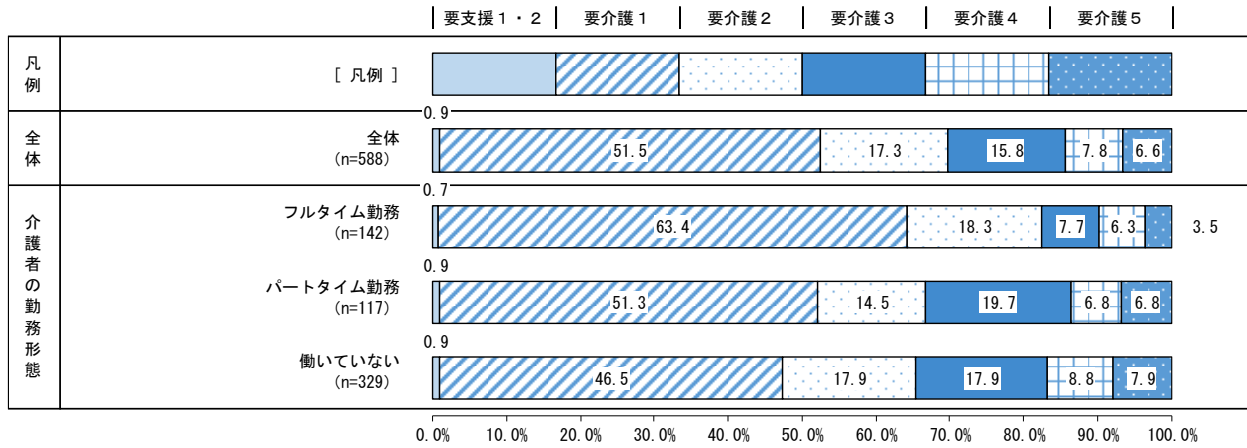
【就労状況別・主な介護者の本人との関係】



●本人の要介護度

○ 介護の負担が大きくなる要介護3以上では、主な介護者はパートタイム勤務や働いていない割合が多くなっていると考えられます。

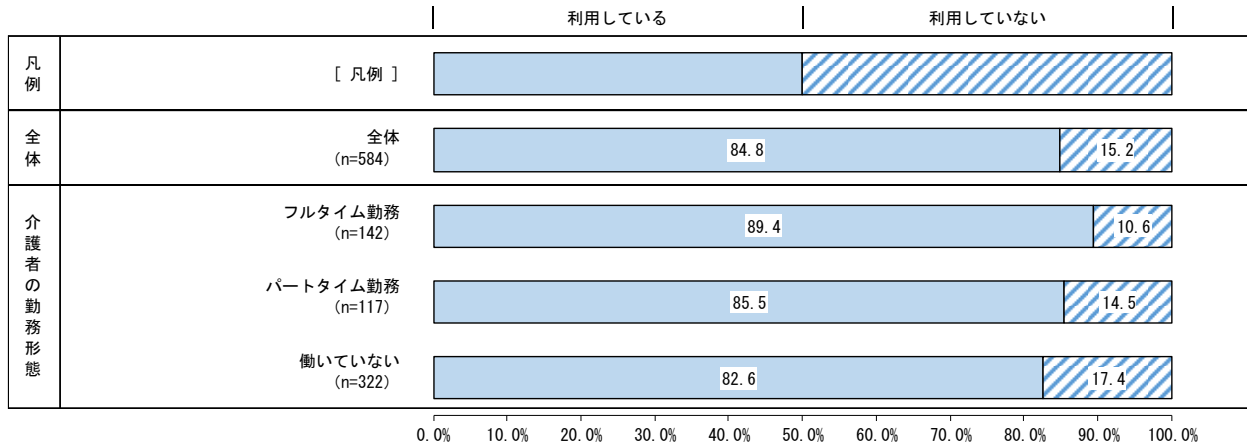
【就労状況別・要介護度】



●介護保険サービスの利用有無

○ 勤務時間が長いほど、介護保険サービスを「利用している」割合が多くなる傾向がみられます。

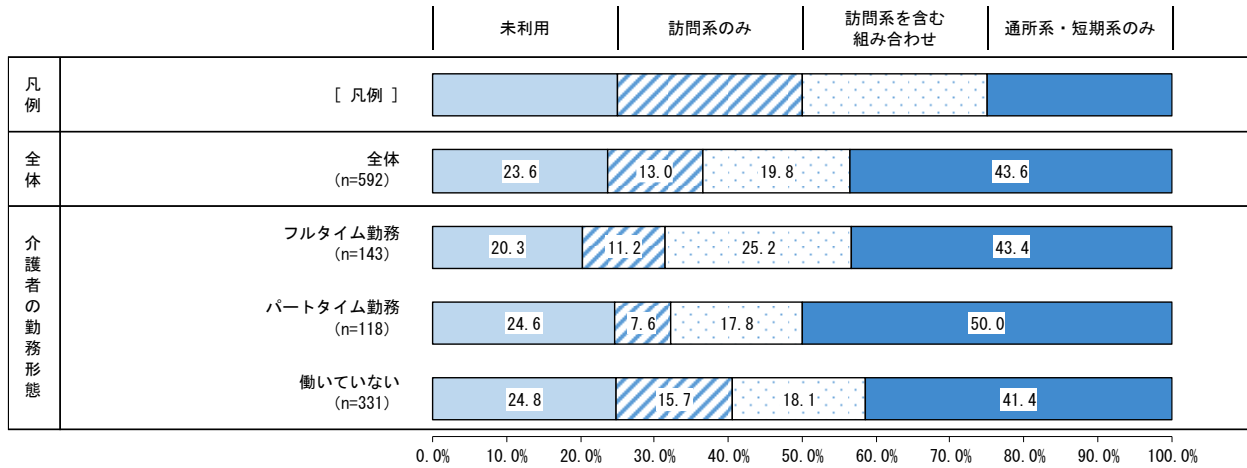
【就労状況別・介護保険サービス利用の有無】



● サービス利用の組み合わせ

○ フルタイム勤務では、「訪問系を含む組み合わせ」のサービス利用をしている割合が高くなっています。

【就労状況別・サービス利用の組み合わせ】

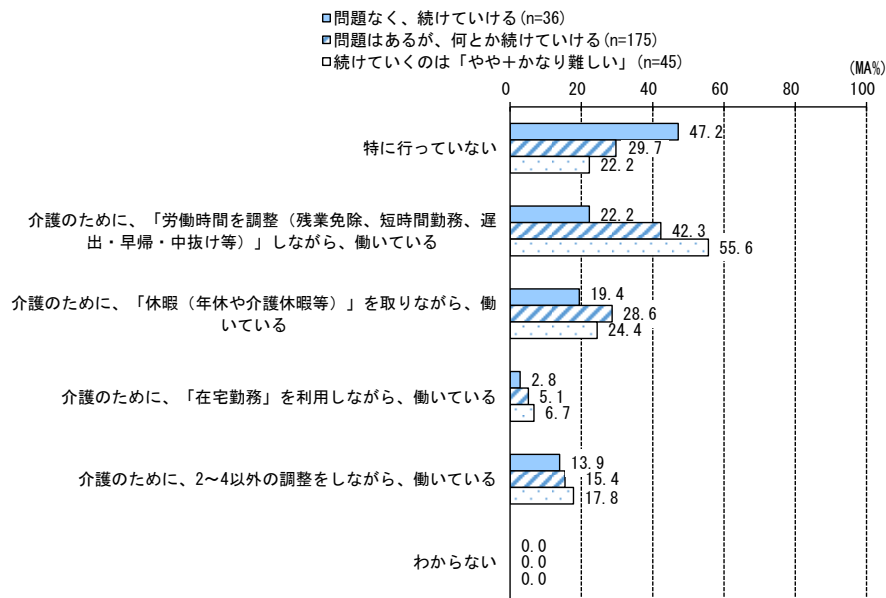


② 就労継続見込み

● 介護のための働き方の調整

○ 介護のために“労働時間の調整（残業免除・短時間勤務等）”や、“休暇（年休や介護休暇）”をとることで就労継続見込みがある介護者も多い一方で、それらを活用しても就労継続について難しさを感じている介護者もいます。

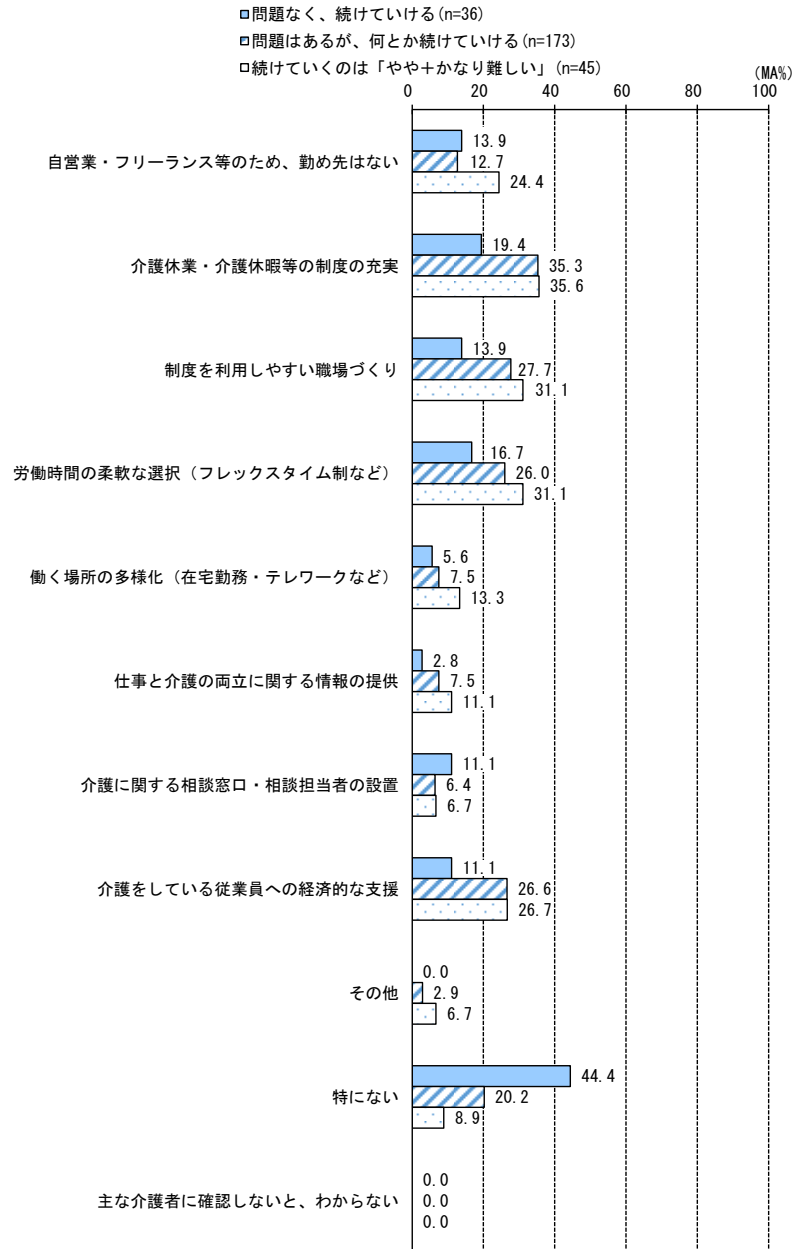
【就労継続見込み別・介護のための働き方の調整（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



●効果的な勤め先からの支援

○ 介護をしながらの就労継続に何らかの問題を感じている介護者では「介護休業・介護休暇等の精度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」などの勤め先からの支援が効果的と考えている割合が多くなっています。

【就労継続見込み別・効果的な勤め先からの支援（フルタイム勤務+パートタイム勤務）】



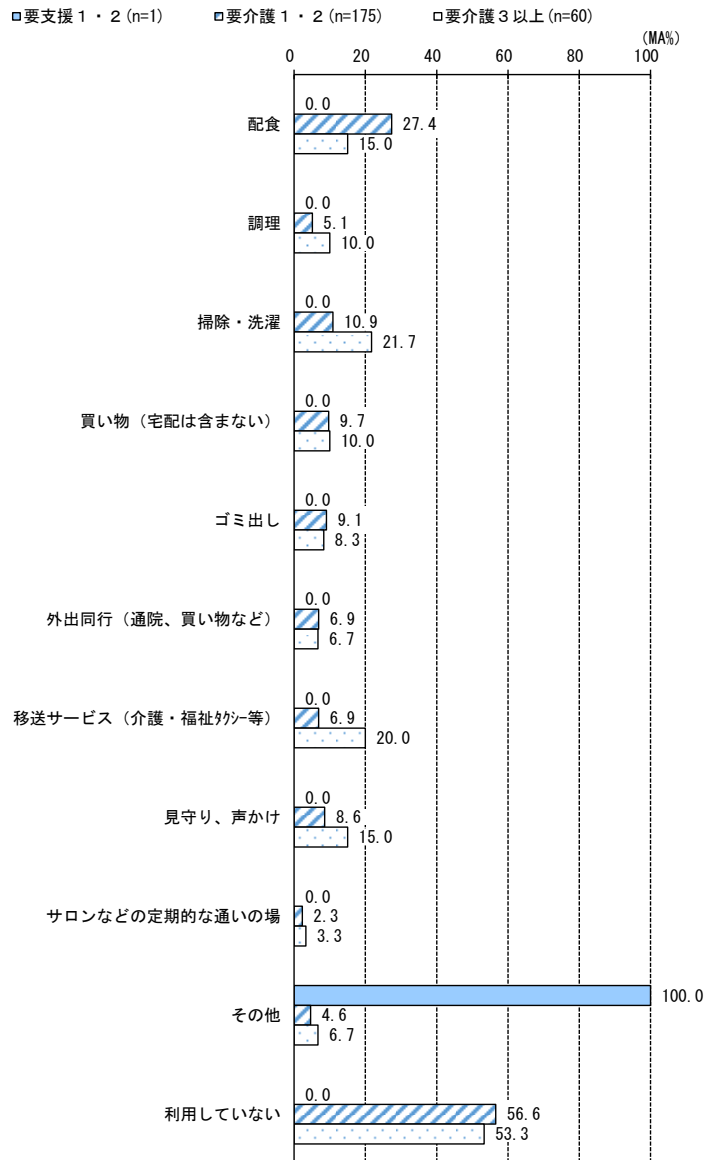
(3) 保険外の支援・サービスを中心とした地域資源の整備の検討

① 保険外の支援・サービスの利用状況

● 要介護度

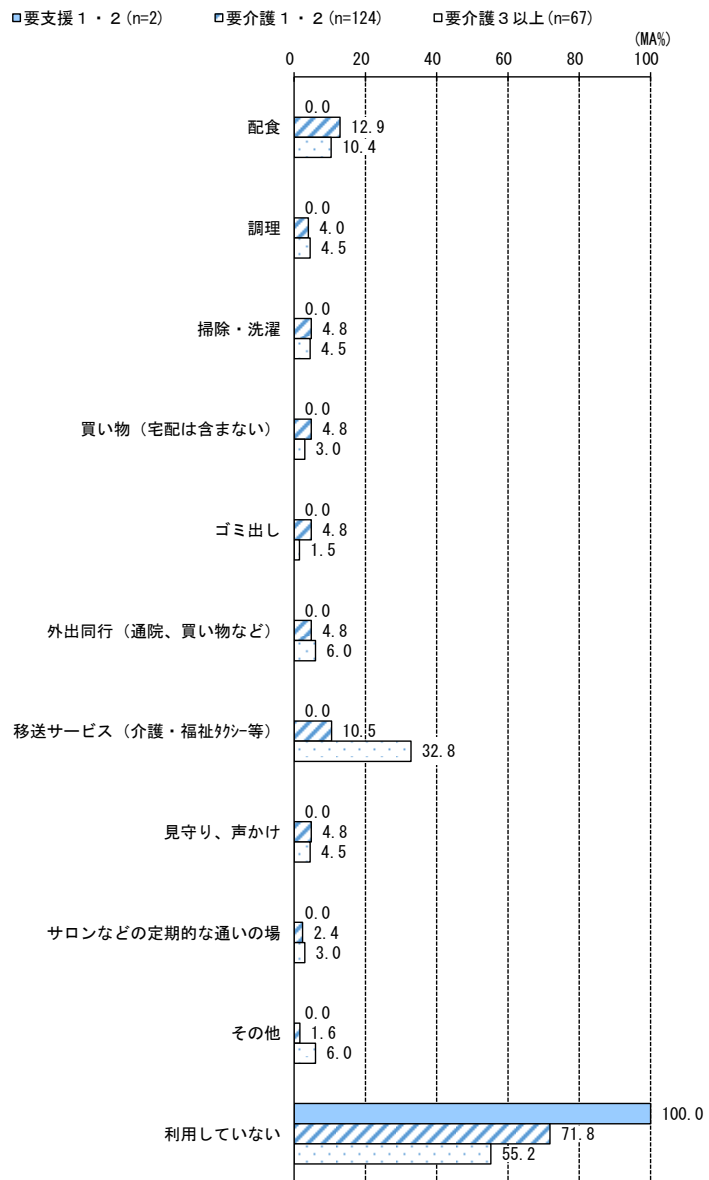
○ 単身世帯について、要介護1以上の人では約半数が保険外のサービスを利用しながら在宅生活を送っています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（単身世帯）】



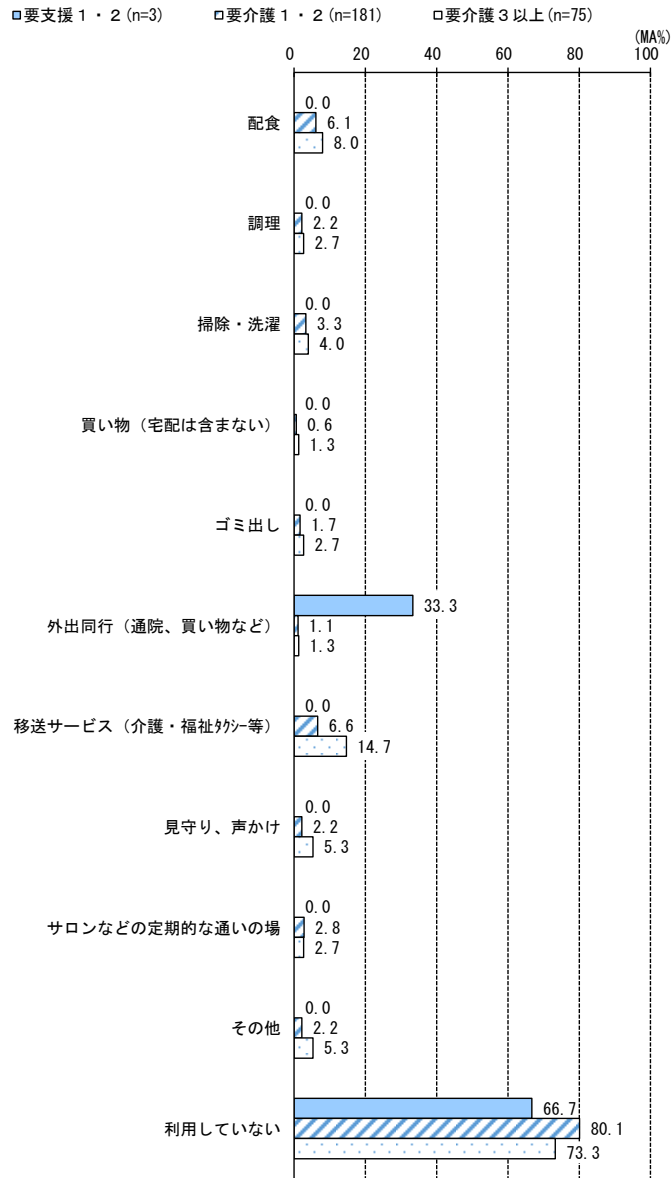
○ 夫婦のみ世帯について、要介護3以上で「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」の利用が多くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（夫婦のみ世帯）】



○ その他世帯について、単身世帯や夫婦のみ世帯と比べると保険外の支援・サービスの利用が介護度によらず低くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの利用状況（その他世帯）】

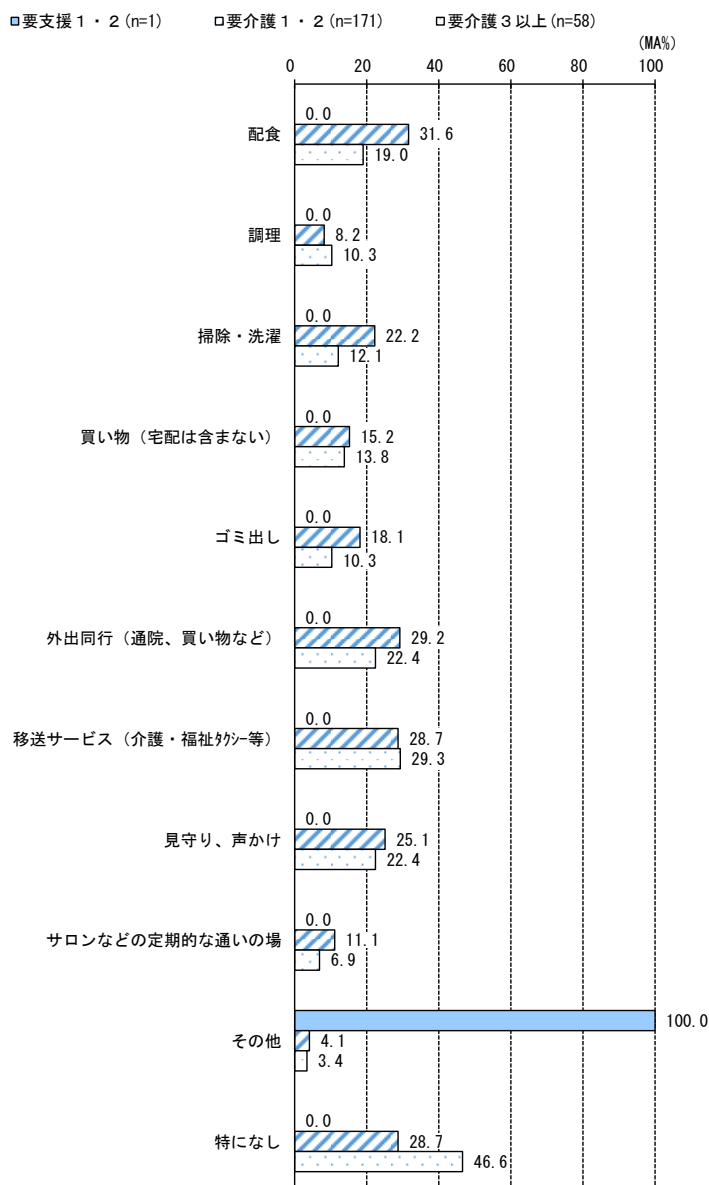


② 在宅生活の継続に必要な支援・サービス

● 要介護度

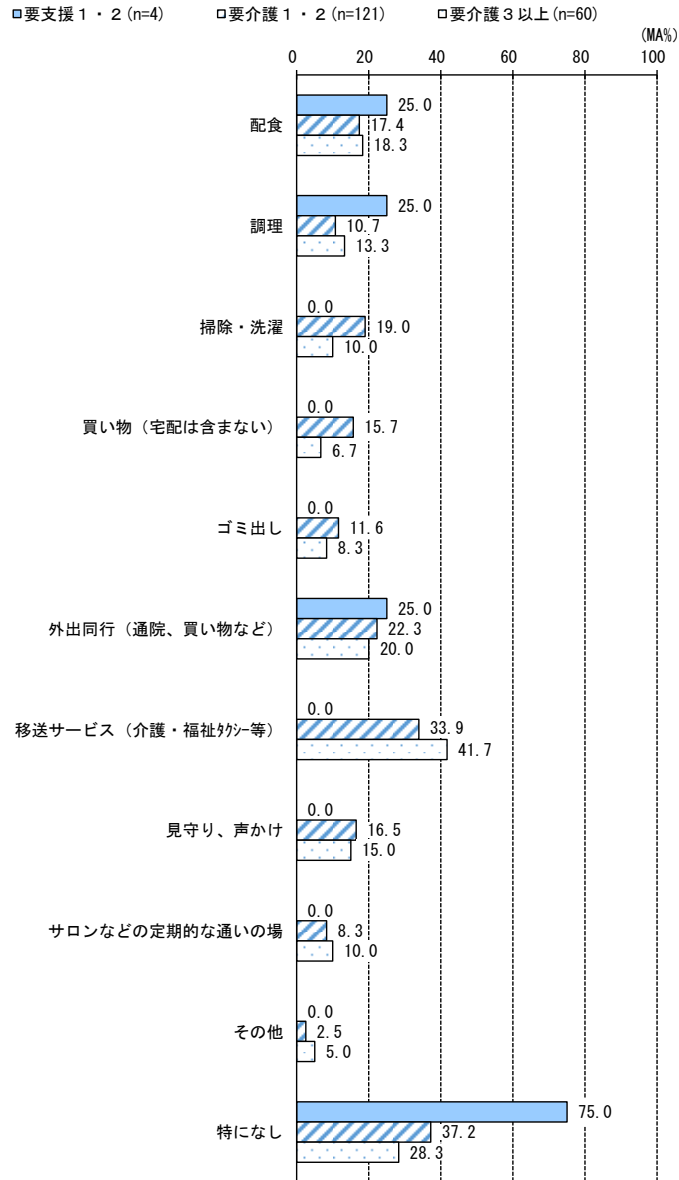
- 単身世帯では、要介護3～5で「特になし」が46.6%と他の要介護度区分に比べて多くなっています。
- 多くのサービスについて実際の利用状況（P63）より、必要性を感じている割合が高くなっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（単身世帯）】



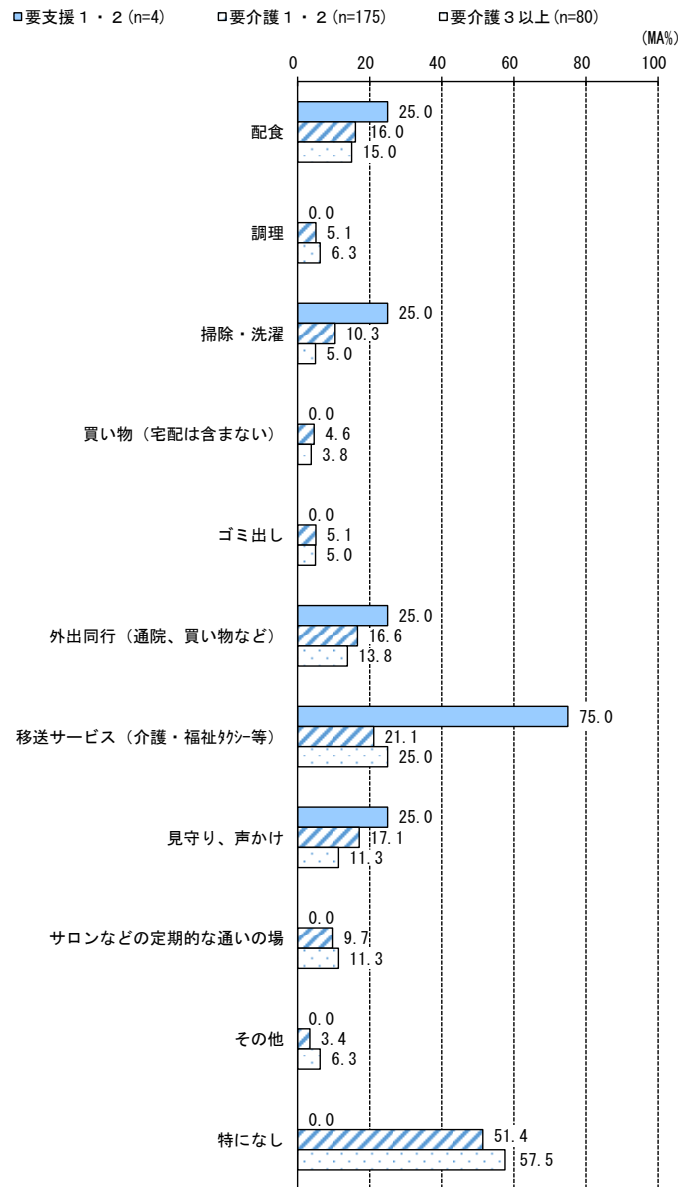
- ほとんどの項目・要介護度区分で、現在利用している割合（P64）を上回っています。
- 要介護1・2では、「移送サービス（介護・福祉タクシー等）」が33.9%で最も多く、次いで「外出同行（通院、買い物など）」が22.3%となっています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性（夫婦のみ世帯）】



○ ほとんどの項目・要介護度区分で、現在利用している割合 (P65) を上回っています。

【要介護度別・保険外の支援・サービスの必要性 (その他世帯)】



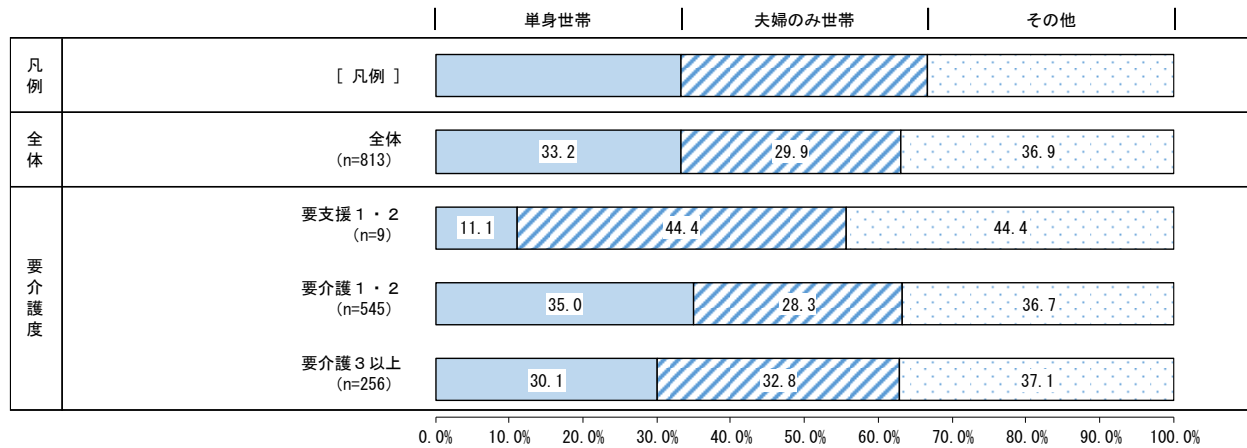
(4) 将来の世帯類型の変化に応じた支援・サービスの提供体制の検討

① 世帯類型

● 要介護度

- 要介護度が上がるほど「単身世帯」が多くなる傾向がみられます。
- 「要介護3～5」は、単身世帯では30.1%、夫婦のみ世帯では32.8%、その他世帯では37.1%となっています。

【要介護度別・世帯類型】

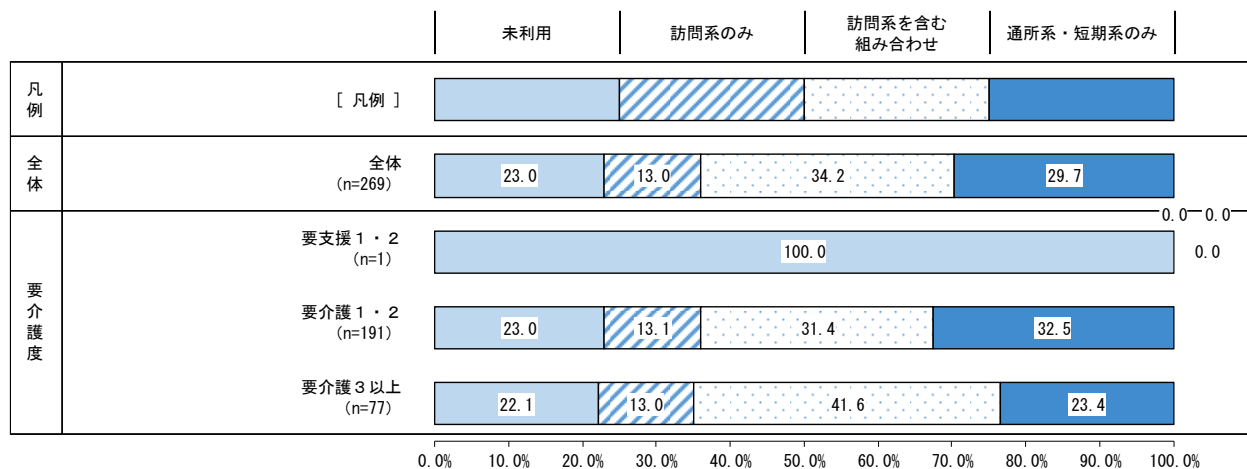


② サービス利用の組み合わせ

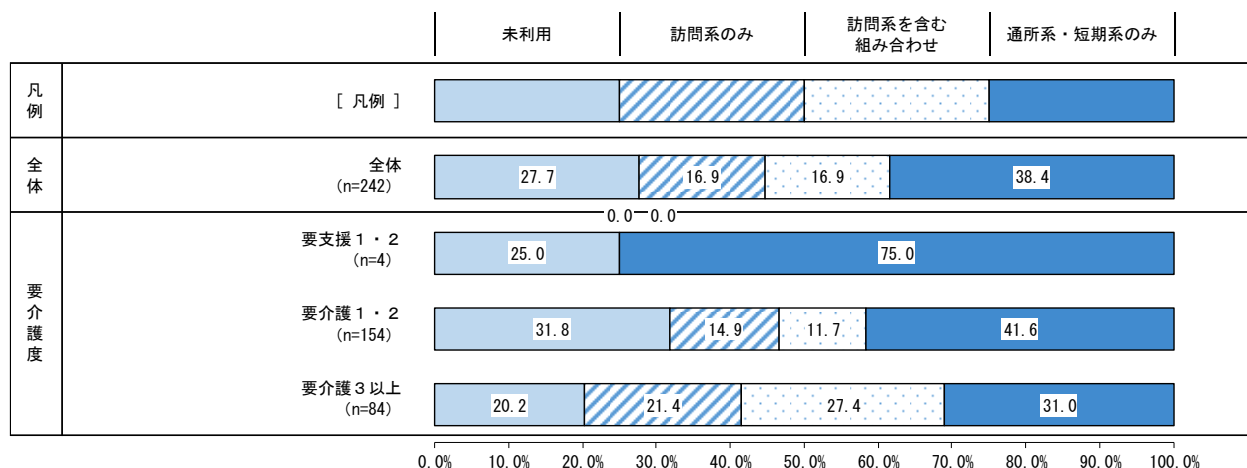
● 要介護度

○ 要介護度が高いほど、「訪問系を含む組み合わせ」が多くなる傾向がみられます。

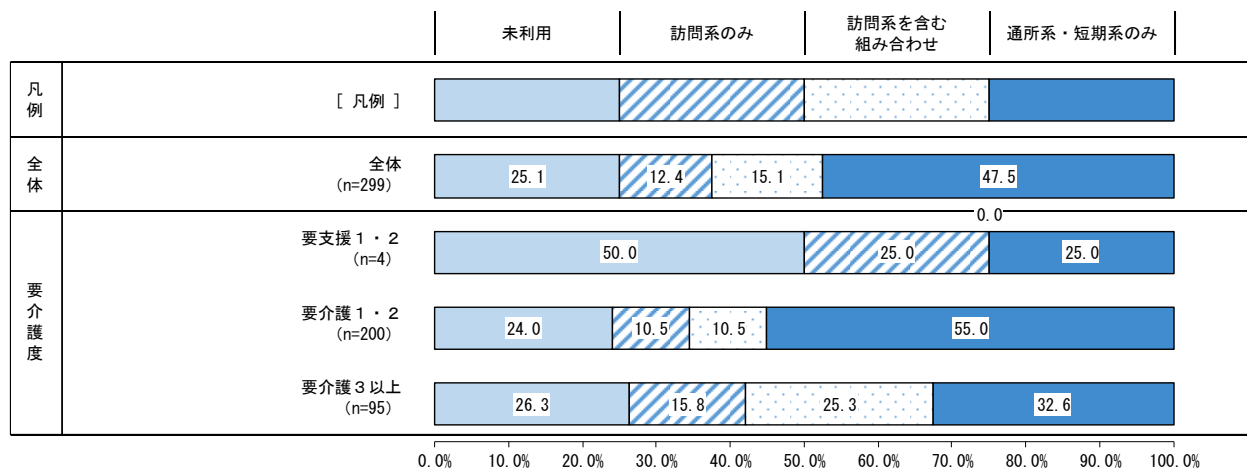
【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（単身世帯）】



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（夫婦のみ世帯）】



【要介護度別・サービス利用の組み合わせ（その他世帯）】

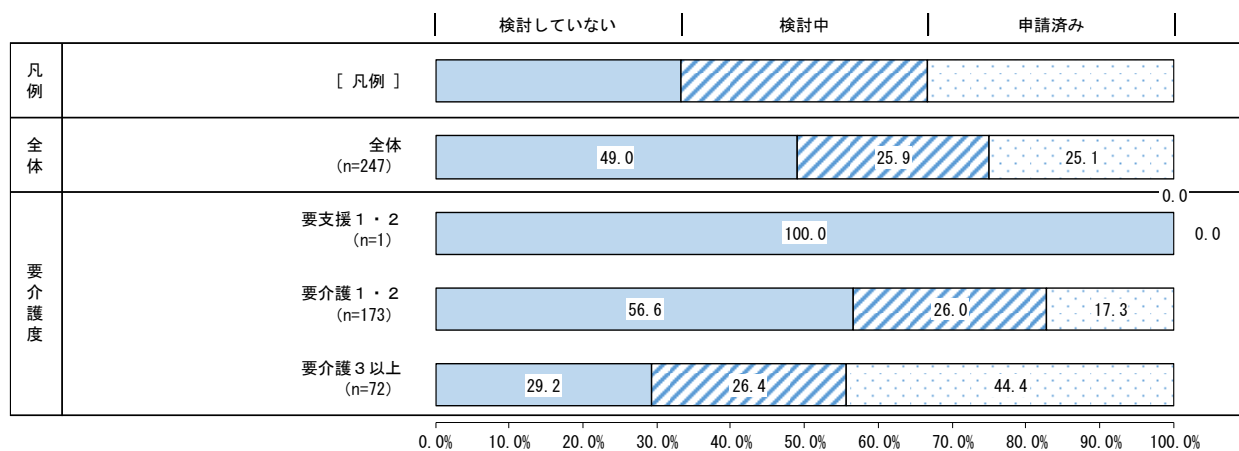


③ 施設等への入所・入居の検討状況

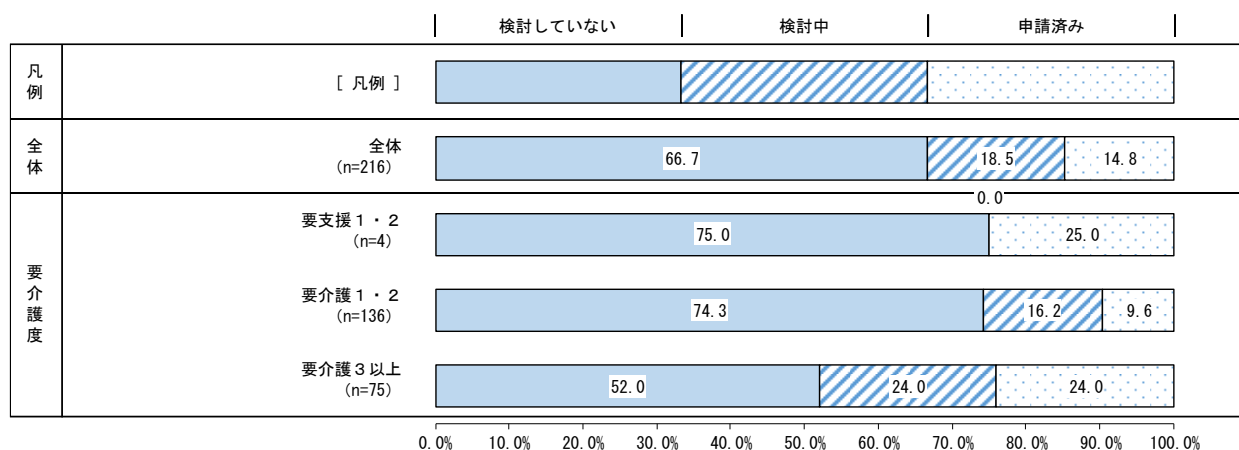
● 要介護度

○ 単身世帯では他の区分よりも施設等へ入所・入居検討をしている割合が多くなっている。

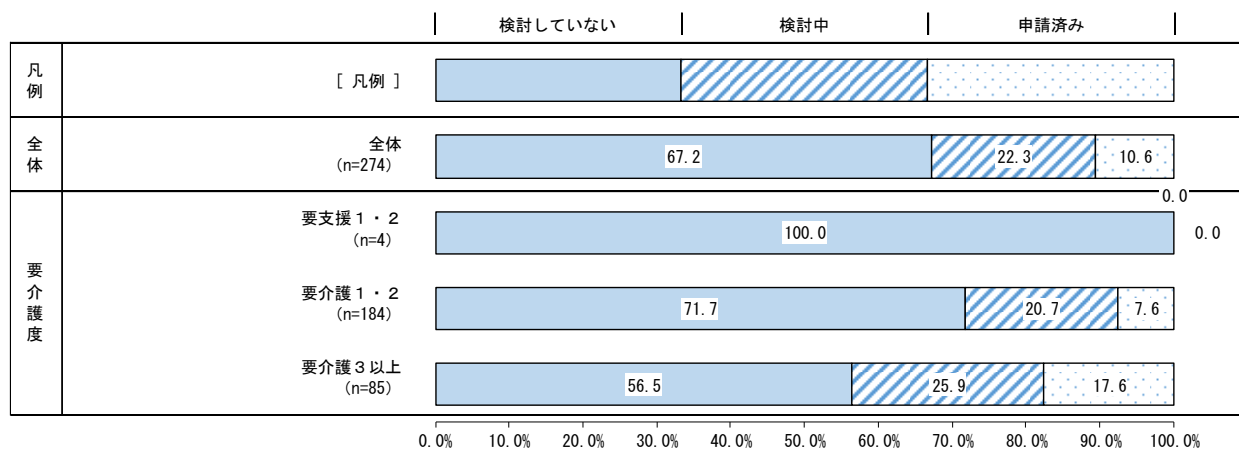
【要介護度別・施設等検討の状況（単身世帯）】



【要介護度別・施設等検討の状況（夫婦のみ世帯）】



【要介護度別・施設等検討の状況（その他世帯）】



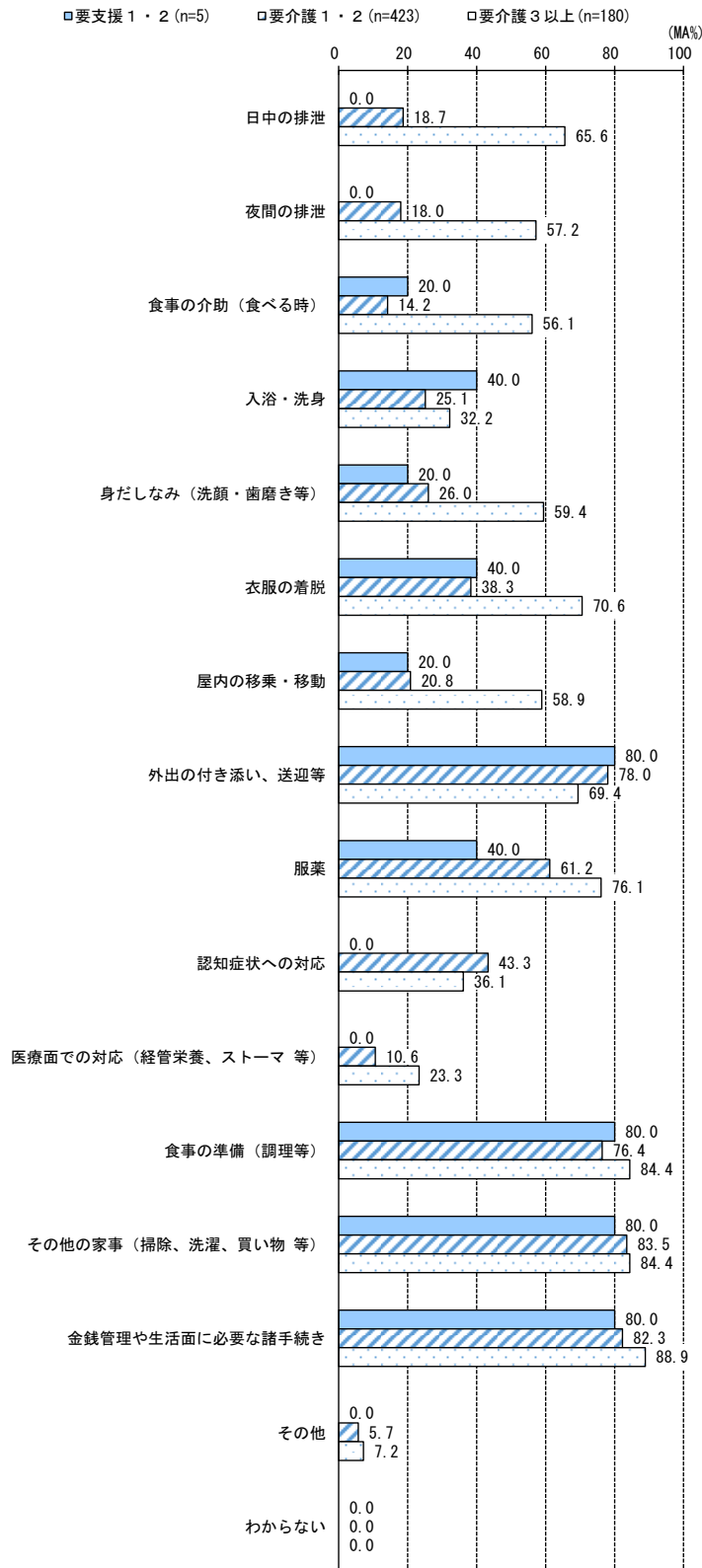
(5) 医療ニーズの高い在宅療養者を支える支援・サービスの提供体制の検討

① 主な介護者が行っている介護（医療面での対応）

● 要介護度

○ 要介護度が高くなるにつれて「服薬」「医療面での対応（経管栄養・ストーマ等）」の割合が高くなっています。

【要介護度別・主な介護者が行っている介護】

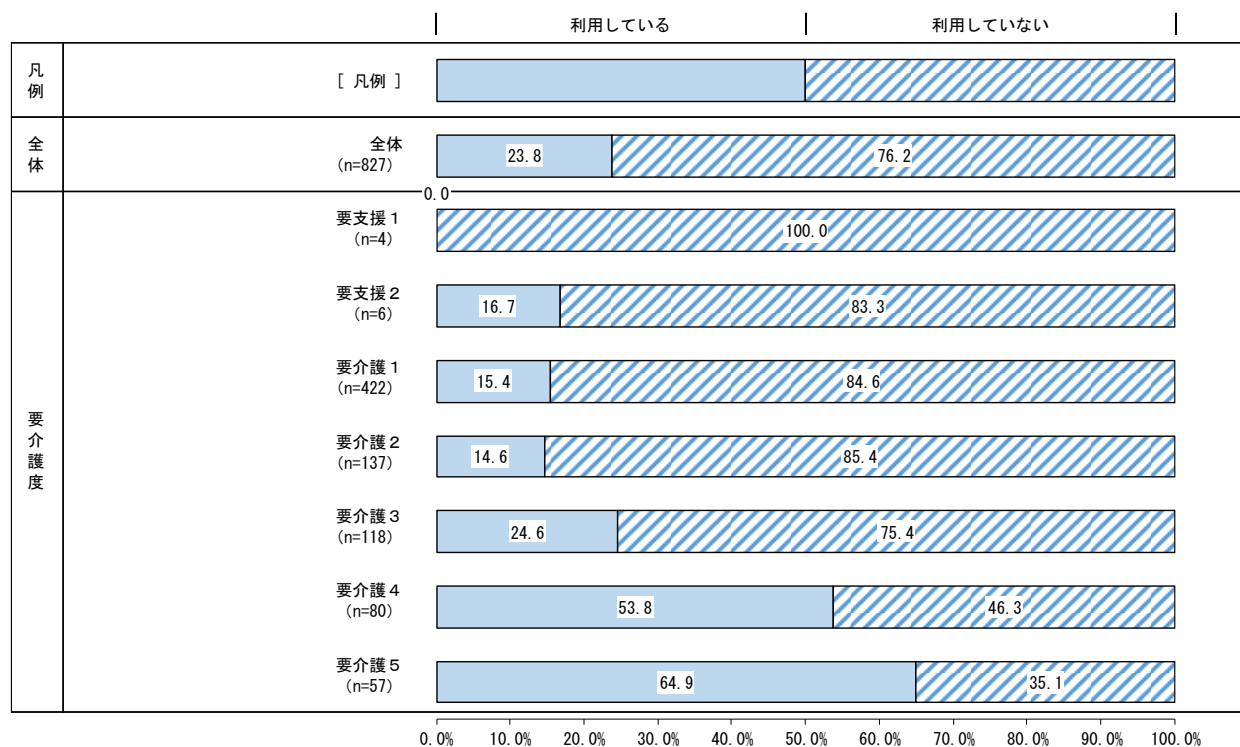


② 訪問診療の有無

● 要介護度

○ 要介護度が高いほど、訪問診療を利用している割合が高くなる傾向がみられます。

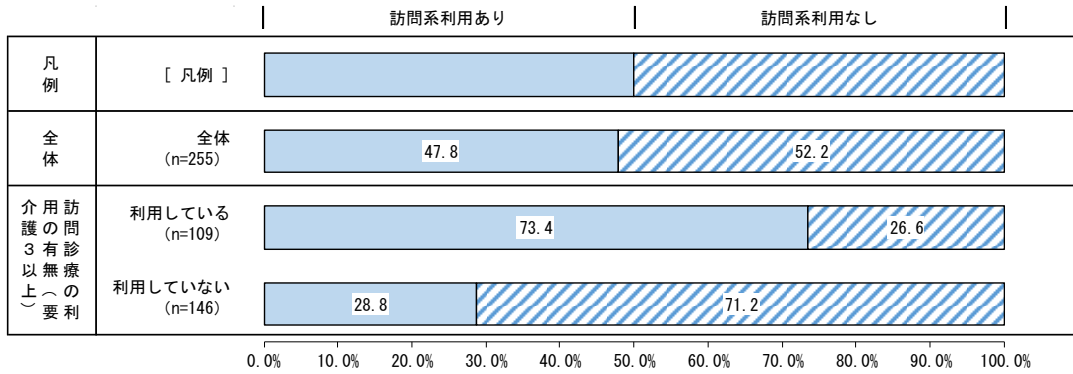
【要介護度別・訪問診療の利用割合】



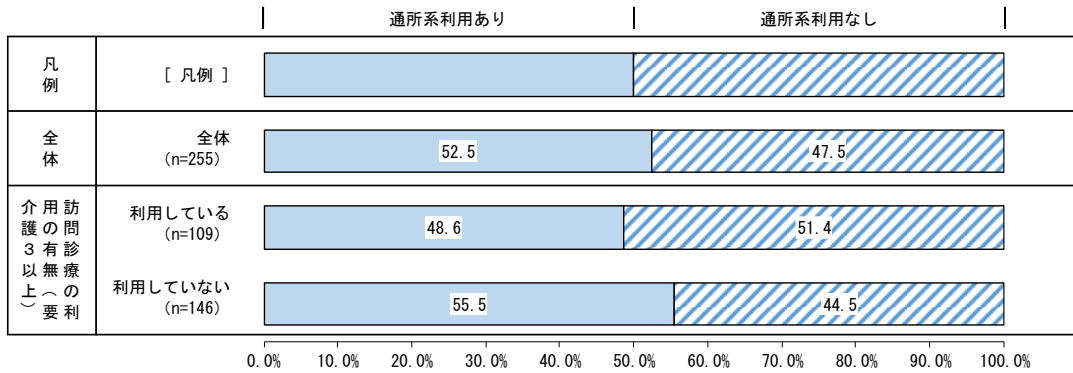
●介護保険サービスの利用有無

○ 訪問診療を利用している人について、「訪問系利用あり」が73.4%となっています。

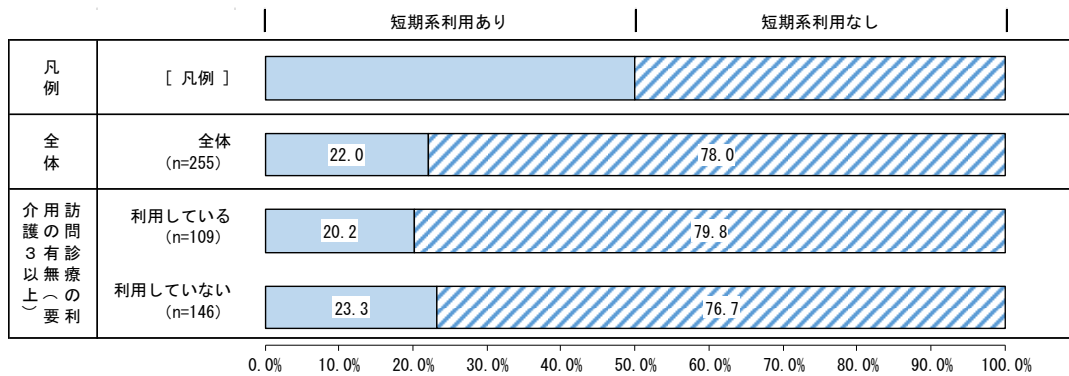
【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（訪問系、要介護3以上）】



【訪問診療の利用の有無別・サービスの利用の有無（通所系、要介護3以上）】



【訪問診療の利用の有無別・サービス利用の有無（短期系、要介護3以上）】



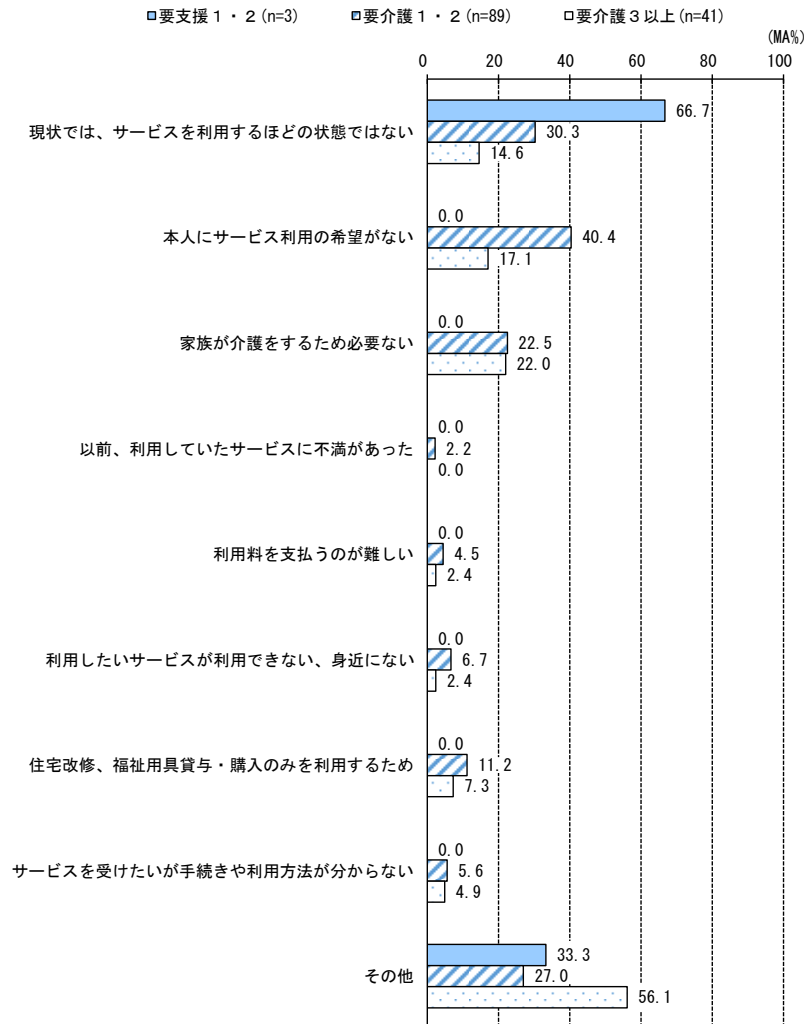
(6) その他

① サービス未利用理由

●要介護度別

- 要介護1・2では「本人にサービス利用の希望がない」が40.4%となっている。
- 要介護3以上においても「家族が介護をするため必要ない」が22.0%となっています。

【要介護度別のサービス未利用の理由】



② 主な介護者の年齢

● 本人の年齢

○ 70歳代では主な介護者が「70歳代」以上の割合が最も高く、高齢者が高齢者を介護している、いわゆる老々介護の割合が高くなっています。

【本人の年齢別・主な介護者の年齢】

